

市勢要覽

昭和 26 年(1951 年)版

広島市

2/2

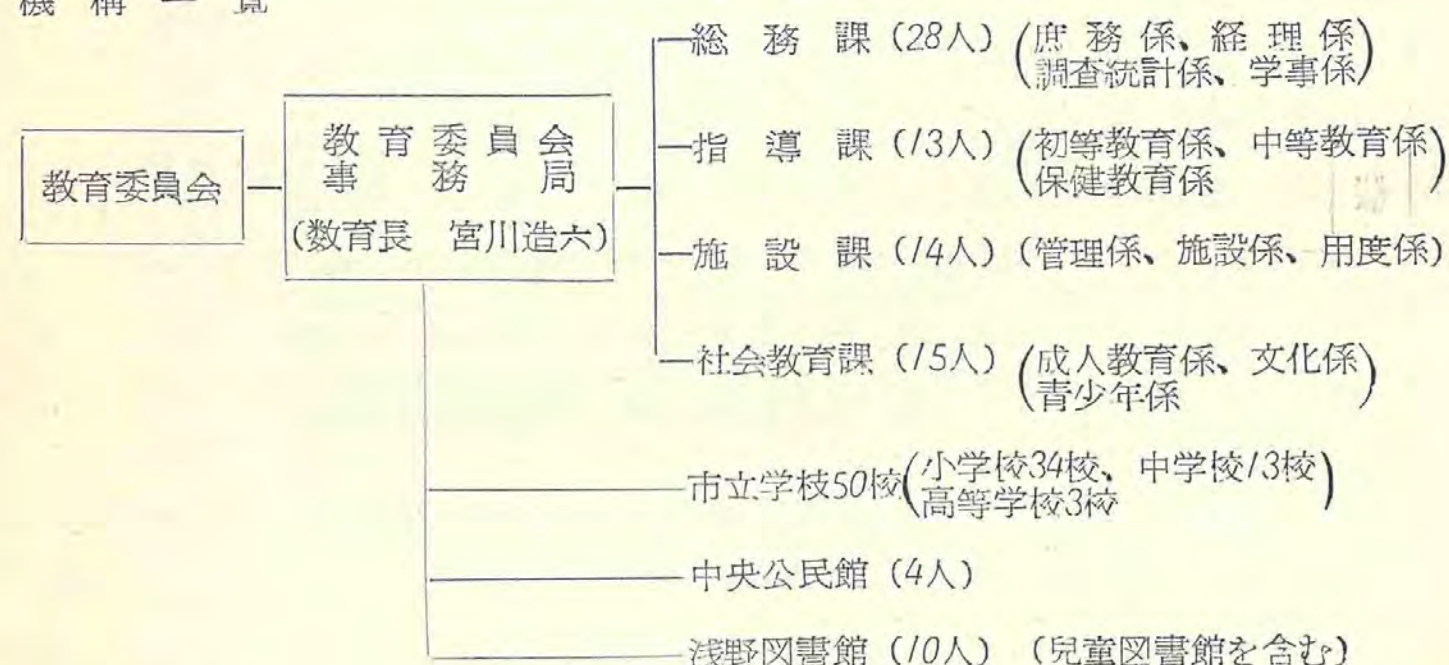
文 教

教育委員会

教育委員会は教育の民主化を図り、自主性を確保し、教育行政の地方分権化を期するため、教育委員会法の制定公布に基き、昭和25年12月1日より発足した。委員会は従来市長の権限に属していた教育、学術、文化に関する事務を管理、執行している。委員及び機構は次の通りである。

委員長	吉本寿一	(市議会選出)	農 業
副委員長	本田亮作	(公 選)	会社支店長
委 員	今田庫吉	(〃)	会社々長
〃	小川早苗	(〃)	書道教授
〃	土谷巖郎	(〃)	医 師

機 構 一 覧



学 校 教 育

本市は、中国地方の政治、教育、文化の中心地として、学制改革直前には官公私立の大学、高等専門学校は10校を数え、教育都市として重要な地位にあつた。殊に終戦後、平和都市として世界の注視をあびる本市においては、教育により真の文化都市を建設し、世界平和と文化に貢献するべく一意まい進している。

戦災により、烏有に帰した学校教育施設の復興、6・3制教育内容の充実、次代を荷なつて立つ人々を、民主的に育成するために、最も緊急を要する問題である。即ち数校に及んで実施されている二部授業、臨時借用校舎の使用、或いは腐朽したバラック校舎の完全解消等は、強く要望されているが、児童生徒の急激な増加は、益々教室の狭あいを告げ、小学校1校当りの児童数は1,040人と言う県下最大の収容率を示している。次に教育施設の問題は最も急を要するものであるが、PTAを中心とする熱烈な要望と市議会の理解と熱意によつて、本年度国庫補助金、起債の他に自己財源により4,262坪(135教室)の学校建築を実施したので、懸案

の二部授業の解消は、今一息という段階にこぎつけることが出来た。また、文部省のモデルスクールとして本川小学校、国泰寺中学校の堂々たる鉄筋コンクリート三階建校舎が、新築されたことは特筆すべきことであつた。

教育内容の充実については、特に本年度より、本市教育努力目標として道徳教育の振興、保健教育の徹底、生産教育の推進の三大綱領を定め、教育実践要綱を掲げてその実行を期している。更に、その促進をはかるため実験学校1校、研究指定校11校が設けられた。

県下5市高、中、小学校生徒及び教職員 (昭和26.4.30現在) (県統計課調)

		学校数			生徒数						教職員数				
					公立		私立		合計		教員数		職員、その他		計
		公立	私立	計	男	女	男	女	男	女	公立	私立	公立	私立	
小 学 校	広島市	34	—	34	17,820	17,554	—	—	17,820	17,554	35,374	87	—	238	1,055
	呉市	30	—	30	12,623	12,263	—	—	12,623	12,263	24,886	585	—	144	729
	三原市	8	—	8	3,210	3,070	—	—	3,210	3,070	6,280	155	—	41	196
	尾道市	8	—	8	4,123	3,991	—	—	4,123	3,991	8,114	173	—	36	209
	福山市	10	—	10	4,552	4,338	—	—	4,552	4,338	8,890	223	—	58	281
	縣總計	673	—	673	140,805	136,056	—	—	140,805	136,056	276,861	7,841	—	963	8,804
中 学 校	広島市	13	12	25	5,475	3,944	2,155	3,124	7,630	7,068	14,698	278	185	61	550
	呉市	13	3	16	5,230	4,976	107	210	5,337	5,186	10,523	311	14	53	378
	三原市	3	1	4	1,230	1,257	90	—	1,320	1,257	2,577	75	4	14	93
	尾道市	4	—	4	1,687	1,540	—	—	1,687	1,540	3,227	90	—	14	104
	福山市	4	4	8	1,626	1,410	240	486	1,866	1,896	3,762	100	30	19	154
	縣總計	236	29	265	58,578	54,914	2,914	5,024	61,492	59,938	121,430	3,967	292	415	42,476
高 等 学 校	広島市	6	12	18	5,715	2,025	3,846	3,248	9,561	5,273	14,834	335	240	123	765
	呉市	4	3	7	4,037	2,326	808	609	4,845	2,935	7,780	239	53	67	374
	三原市	1	1	2	836	717	736	—	1,572	717	2,289	57	25	14	111
	尾道市	4	—	4	1,468	1,309	—	—	1,468	1,309	2,777	104	—	39	143
	福山市	2	3	5	1,812	1,033	852	1,124	2,664	2,157	4,821	124	55	48	241
	縣總計	49	29	78	29,770	19,403	7,601	7,230	37,371	26,633	64,004	2,127	524	788	149,358

公立學校區別、生徒及び教職員

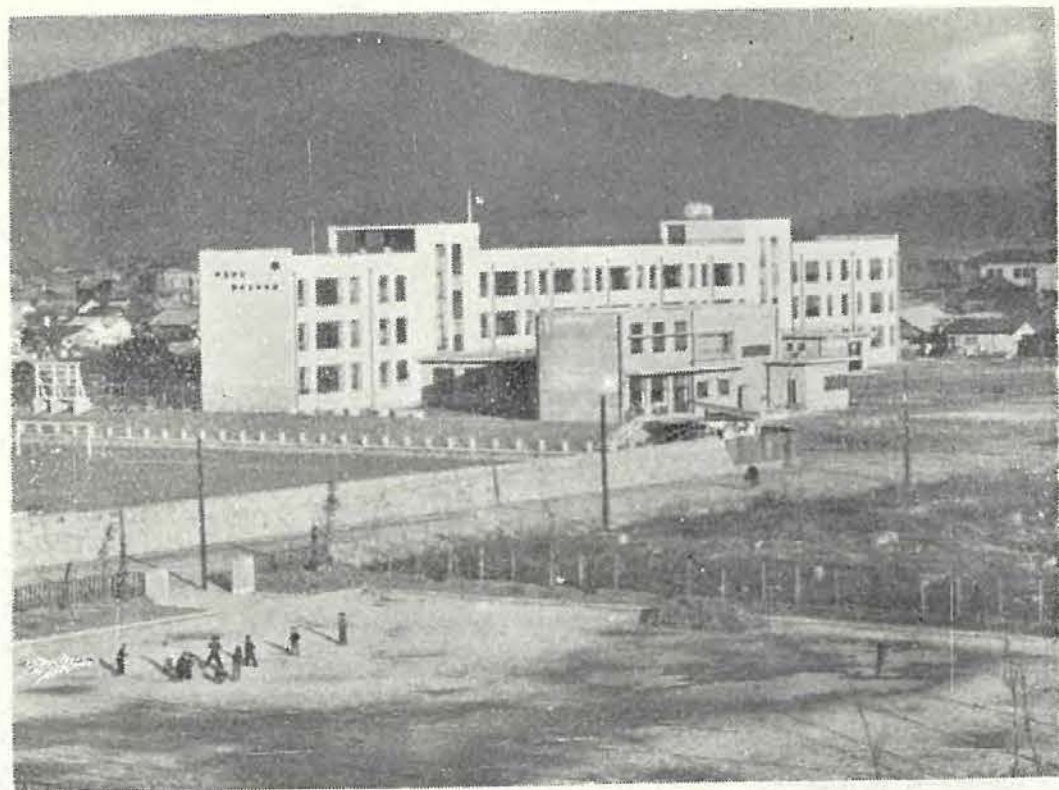
(市教育委員会調)

小 学 校 (昭和27. 1.3/現在)				中 学 校 (昭和27. 1.3/現在)				高 等 学 校 (昭和26. 4.30現在)			
学 校 名	生徒数	教(休を 員職除 数者く)	歳そ の 員他	学 校 名	生徒数	教(休を 員職除 数者く)	歳そ の 員他	学 校 名	生徒数	教(休を 員職除 数者く)	歳そ の 員他
牛田小学校	1,142	27	12	職町中学校	1,312	34	8	市立基町高等学校 (普通、家庭、 商業科)	全日制 935 定時制 239	41	18
職町 〃	1,844	35	14								
白島 〃	1,374	28	12	中込 〃	749	22	7				
三篠 〃	1,175	27	9					市立舟入高等学校	全日制	34	17
大芝 〃	1,181	27	10	江波 〃	900	25	8	(普通、家庭科)	744		
広瀬 〃	452	14	10								
本川 〃	894	20	10	翠町 〃	949	26	8	県立皆実高等学校 (普通、家庭、 工業各科 (但千田小学 校区を含む))	全日制	102	38
江波 〃	1,005	22	13	段原 〃	1,007	29	8		2,084		
舟入 〃	825	19	10	二葉 〃	550	16	7				
神崎 〃	677	16	10	国泰寺 〃	1,125	29	7	県立 国泰寺高等学校	全日制	58	19
中島 〃	954	21	10	宇品 〃	689	20	8	(普通、家庭科)	定時制	523	
皆実 〃	1,768	35	12	似島 〃	122	6	7	(但千田小学 校区を除く)			
大河 〃	808	21	9	似島学園 〃	59	4	8				
楠那 〃	331	12	10	青崎 〃	442	14	7				
比治山 〃	1,963	40	10	観音 〃	959	27	8	県立観音高等学校	全日制	835	45
段原 〃	1,302	27	11	庚午 〃	801	23	8	(普通、家庭、 商業科)	定時制	160	14
仁保 〃	628	19	8								
矢賀 〃	309	10	9					市立千田高等学校 (工業科)	定時制	705	55
尾長 〃	1,082	35	11					盲学校高等部	46	兼務	兼務
荒神町 〃	961	22	10					聾唖学校高等部	10	〃	〃
千田 〃	1,330	27	14					国泰寺高校通信部	5/8	〃	〃
袋町 〃	1,450	30	11								
竹屋 〃	1,004	23	10								
宇品 〃	2,421	51	13								
元宇品 〃	164	8	9								
似島 〃	326	10	9								
似島学園 〃	83	6	9								
青崎 〃	1,532	33	12								
天満 〃	1,185	28	9								
観音 〃	1,089	24	11								
南観音 〃	1,400	32	11								
草津 〃	1,314	28	10								
古田 〃	720	18	10								
己斐 〃	1,218	26	10								
—	—	—	—								
盲学校小学部	49	9	13	盲学校中学部	32	5	小學部 兼務	盲学校高等部	46	兼務	兼務
聾唖学校小学部	187	28	13	聾唖学校中学部	37	5	〃	聾唖学校高等部	10	〃	〃
—	—	—	—	県立国泰寺 高校通信部	35	1	2	国泰寺高校通信部	5/8	〃	〃
合 計	36,147	859	384	合 計	9,768	286	101	合 計	7,740	335	123

備考 官立学校は含まない。



広島大学本館



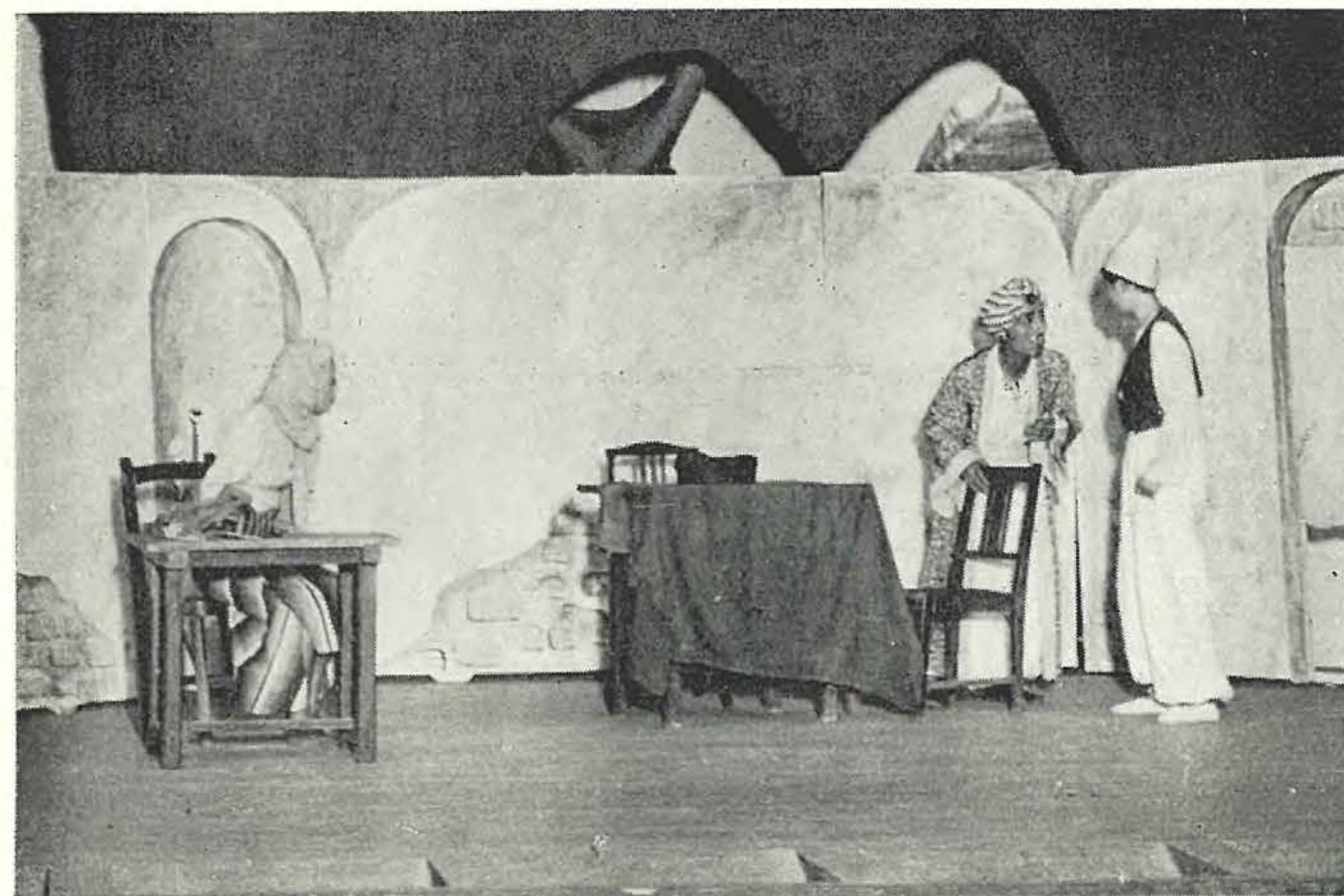
国泰寺中学校 (モデルスクール)



本川小学校 (モデルスクール)



林間学校 (市内小学校の虚弱児)



広島児童劇場の演劇 (アラデンのランプ)

官立學校別生徒及び教職員

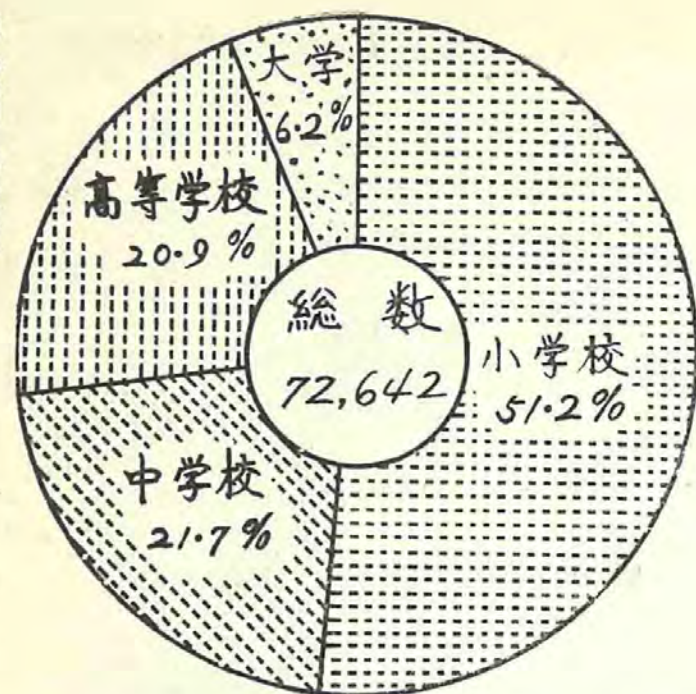
(広島大学事務局調)

小 学 校				中 学 校				高 等 学 校			
学 校 名	生徒数	教員数	職その他	学 校 名	生徒数	教員数	職その他	学 校 名	生徒数	教員数	職その他
高等師範 学校附属 小学校	人 545	人 22	人 兼務10	高等師範 学校附属 中学校	人 481	人 兼務49	人 兼務一	高等師範 学校附属 高等学校	人 510	人 中学校 と兼務	人 兼務一
教育学部 附属東雲 小学校	476	18	〃 6	教育学部 附属東雲 中学校	248	〃 10	〃 一		—	—	—
計	1,021	40	〃 16	計	729	〃 59	〃 一	計	510	—	—

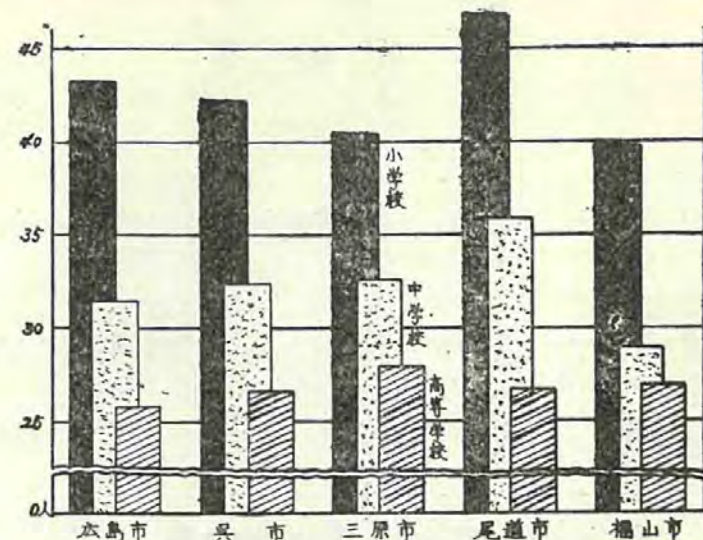
私立学校別生徒及び教職員

(昭和26.4.30現在) (市教育委員会調)

中 学 校				高 等 学 校			
学 校 名	生徒数	教員数 (本務)	職その他 (本務)	学 校 名	生 徒 数	教員数 (本務)	職その他 (本務)
修 道 中 学 校	人 1,064	人 30	人 7	修 道 高 等 学 校	全 日 制 定 時 制	人 919 74	人 25
山 陽 〃	461	14	一	山 陽 〃	全 日 制 定 時 制	670 491	27 11
崇 徳 〃	414	18	一	崇 徳 〃	全 日 制	597	20 9
松 本 〃	135	19	4	松 本 商 業 〃	全 日 制 定 時 制	427 155	28 4
広 陵 〃	80	5	2	広 陵 〃	全 日 制 定 時 制	400 57	16 2
広島女学院 〃	634	28	6	広島女学院 〃	全 日 制	736	32 5
比治山女子 〃	635	18	3	比治山女子 〃	〃	597	16 3
進 徳 女 子 〃	137	10	1	進 徳 女 子 〃	〃	361	14 3
安 田 女 子 〃	279	10	一	安 田 女 子 〃	〃	565	21 8
安 芸 女 子 〃	15	4	一	安 芸 女 子 〃	〃	14	5 2
広島女子商業学校	1,120	23	一	広島女子商業 〃	全 日 制 定 時 制	664 43	22 6
清 心 中 学 校	300	9	3	広 島 音 楽 〃	全 日 制	147	14 7
合 計	5,276	188	26	合 計	全 日 制 定 時 制	6,097 820	240 67



一教員當りの生徒数



市内高等學校課程別、設置別、科別、學年別、生徒

(昭和26.4.30現在) (県統計課調)

区 分		学 年	1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		
		性 別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
課程別・設置別・学科別	通 常 立 学 校	普通科	366	178	345	217	391	307	—	—	1,102	702	1,804
		家庭科	—	102	—	96	—	137	—	—	—	335	335
		商業科	134	29	129	12	116	6	—	—	379	47	426
		機械科	130	—	114	—	112	—	—	—	356	—	356
		電気科	122	—	121	—	147	—	—	—	390	—	390
		建築科	47	—	41	1	65	—	—	—	153	1	154
		土木科	45	—	41	—	70	—	—	—	156	—	156
		化学科	41	—	37	1	64	—	—	—	142	1	143
		造船科	39	—	32	—	25	—	—	—	96	—	96
		計	924	309	860	327	990	450	—	—	2,774	1,086	3,860
市 立 学 校	普通科	217	121	211	133	206	124	—	—	634	378	1,012	
	家庭科	—	71	—	79	—	88	—	—	—	238	238	
	商業科	121	41	120	22	123	2	—	—	364	65	429	
	計	338	233	331	234	329	214	—	—	998	681	1,679	
私 立 学 校	普通科	939	854	672	536	512	477	—	—	2,123	1,867	3,990	
	家庭科	—	198	—	109	—	99	—	—	—	406	406	
	商業科	512	355	204	153	174	60	—	—	890	568	1,458	
	音楽科	25	49	17	19	14	18	—	—	56	86	142	
	計	1,476	1,456	893	817	700	654	—	—	3,069	2,927	5,996	
合 計		2,738	1,998	2,084	1,378	2,019	1,318	—	—	6,841	4,694	11,535	
科 定 時 制	県立	普通科	160	48	182	39	128	12	111	3	581	102	683
		商業科	75	5	60	5	42	1	50	1	227	12	239
	市立	工業科	254	—	198	—	137	—	116	—	705	—	705
		計	329	5	258	5	179	1	166	1	932	12	944
	私立	普通科	151	—	59	—	107	—	137	—	454	—	454
		商業科	111	23	71	9	57	4	84	7	323	43	366
合 計		751	76	570	53	471	17	498	11	2,290	157	2,447	
總 計		3,489	2,074	2,654	1,431	2,490	1,335	498	11	9,131	4,851	13,982	

備考 外国人を含む

昭和25年度卒業者の卒業後の状況

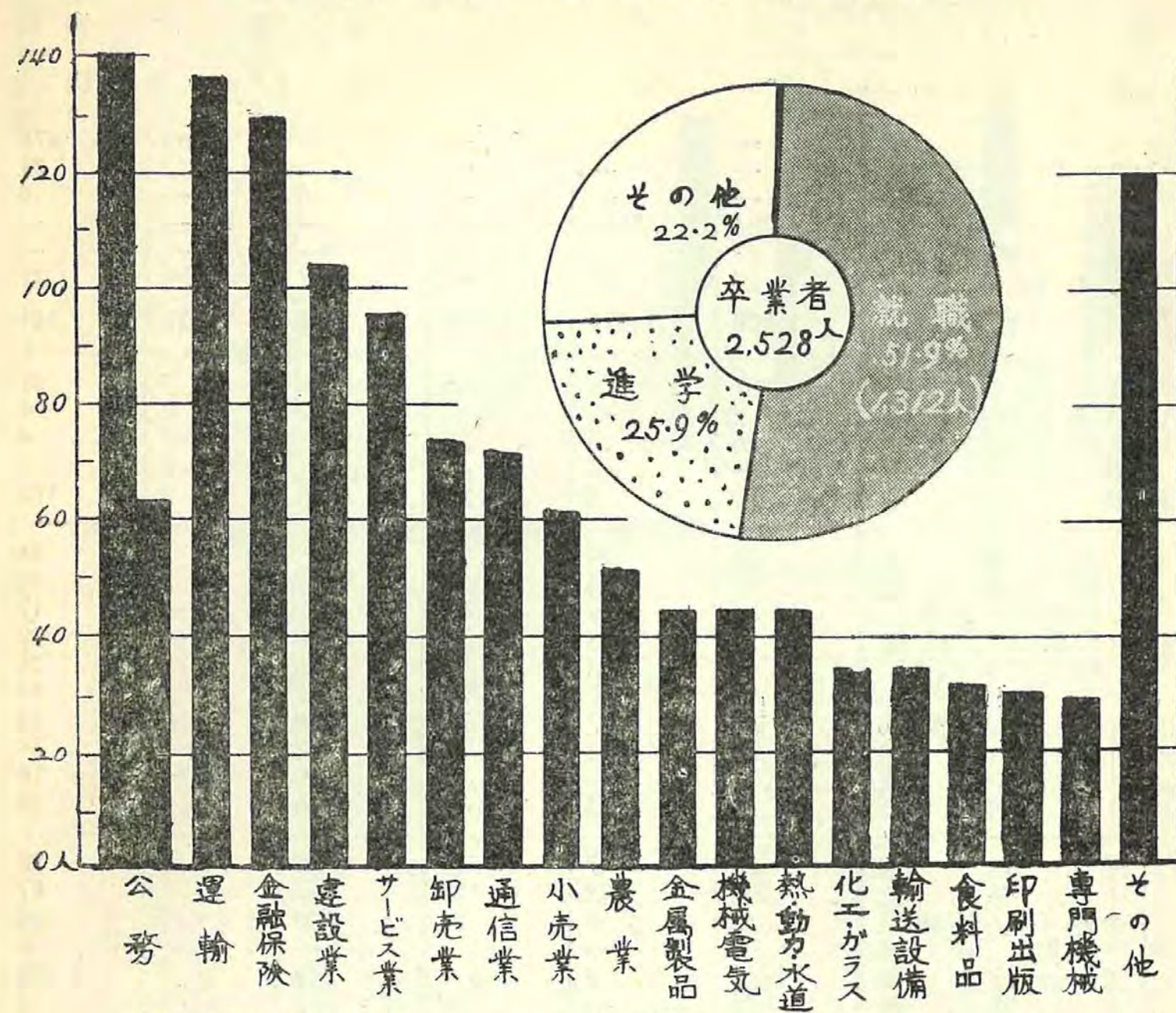
(広島市内の学校)
(昭和26.4.30現在)

(県統計課調)

中 学、高 校 別		中 学 校			高 等 学 校			
性 別		男	女	計	男	女	計	
進 学 した 者	大 専 門 学 校	—	—	—	314	165	479	
	高 校 (専攻科)	—	—	—	4	33	37	
	高 校 (別科)	—	—	—	6	—	6	
	高 校 (他 の 学 校)	1,861	1,600	3,461	—	—	—	
	計	19	7	26	—	—	—	
就 業 した 者	農 業 及 び 狩 猟 業	20	69	89	11	28	39	
	林 業 及 び 水 産 業	1,900	1,676	3,576	335	226	561	
	漁 業 及 び 水 産 業	31	15	46	46	5	51	
	建 設 業	2	—	2	2	2	4	
	計	26	2	28	3	1	4	
職 造 した 者	食 料 品 業	—	—	—	1	2	3	
	紡 績 業	20	3	23	98	5	103	
	木 材 及 び 木 製 品 業	43	49	92	28	3	31	
	印 刷 及 び 出 版 業	—	5	5	8	2	10	
	化 工 及 び ガ ラ ス 土 石 業	38	4	42	12	—	12	
た 者	金 属 製 品 業	18	15	33	20	—	20	
	機 械 電 気 器 具 業	2	3	5	24	10	34	
	輸 送 機 械 業	92	37	129	41	3	44	
	専 門 の 機 械 業	67	7	74	35	8	44	
	計	14	—	14	32	2	34	
そ の 他	卸 売 業 及 保 險 業	8	—	8	19	—	19	
	小 金 融 及 運 輸 業	17	63	80	16	2	18	
	不 動 産 業	28	7	35	54	19	73	
	水 道 業	92	38	130	54	7	61	
	通 信 業	12	9	21	100	29	129	
計	熱 力 業	—	—	—	—	—	—	
	サ ー ビ ス 業	6	3	9	134	2	136	
	分 類 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
計	無 不 詳	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
	計	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73	
	計	92	38	130	54	7	61	
	計	12	9	21	100	29	129	
	計	—	—	—	—	—	—	
	計	6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9	71	
	計	8	1	9	41	3	44	
	計	43	47	90	65	30	95	
計	無 不 詳	4	16	20	154	49	203	
	計	36	32	68	60	6	66	
	計	630	366	996	1,112	200	1,312	
	計	無 不 詳	28	7	35	54	19	73
		計	92	38	130	54	7	61
計		12	9	21	100	29	129	
計		—	—	—	—	—	—	
計		6	3	9	134	2	136	
計	無 不 詳	16	—	16	1	—	1	
	計	3	4	7	1	1	2	
	計	4	6	10	62	9		

備考 1. 大学、専門学校欄は短期大学を含む。 2. 官立学校の卒業者は含まない。

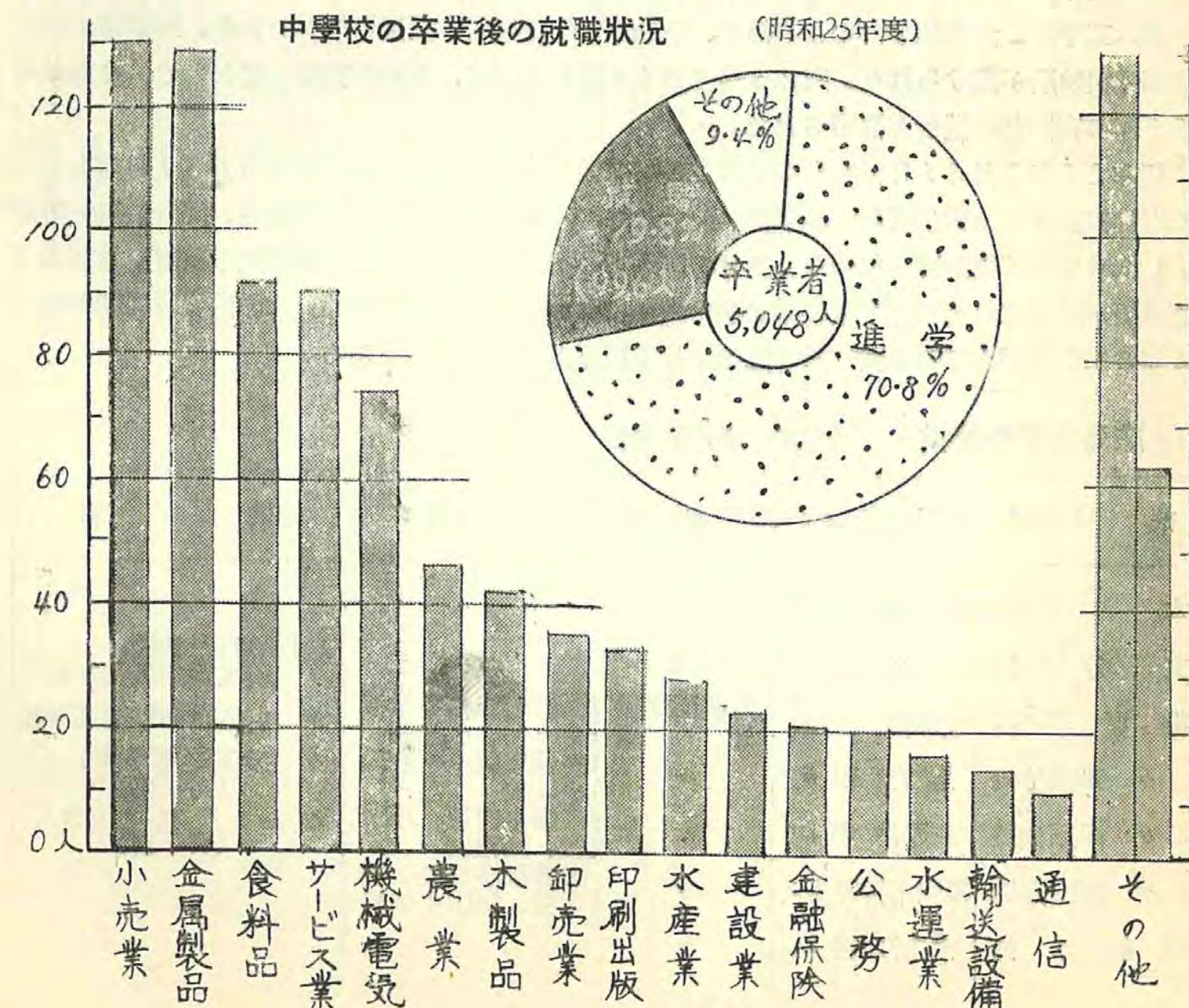
高校卒業後の就職状況 (昭和25年度)



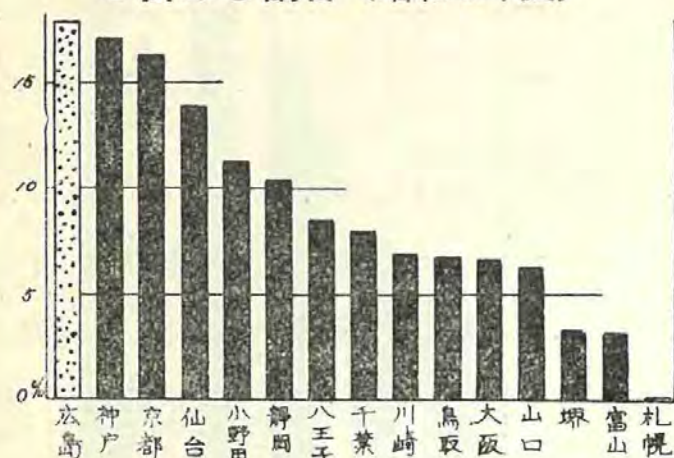
項目	区分	小学校		中学校		高等学校		大学	
		男	女	男	女	男	女	男	女
検査人員 (1-13)		16,328人	16,690人	4,824人	3,463人	1,269人	601人	2,738人	227人
1. 栄養	要注	2.7%	2.5%	1.5%	1.4%	—	—	0.6%	—
2. せき	柱異	1.0%	0.5%	0.6%	0.2%	—	—	0.8%	—
3. 胸部	部異	0.8%	0.4%	0.5%	0.3%	0.3%	—	0.9%	—
4. 屈折	イ、近視	6.3%	7.4%	7.3%	8.8%	10.6%	14.5%	16.3%	16.4%
5. 弱視	ハ、遠視	0.04%	0.02%	—	0.03%	0.1%	—	0.07%	—
6. 色弱	神異	0.3%	0.3%	2.0%	2.5%	0.2%	—	—	1.3%
7. トラ	ホ	2.8%	0.5%	2.2%	0.1%	5.1%	—	3.6%	0.9%
8. 難聴	—	3.7%	4.0%	3.3%	5.0%	1.5%	1.2%	0.7%	—
9. 中耳炎	—	0.6%	0.4%	2.8%	2.4%	0.4%	0.3%	0.2%	—
10. 鼻蓄膿	イ、鼻蓄膿	2.6%	2.0%	2.6%	2.0%	1.4%	1.3%	0.8%	—
11. 皮膚病	イ、皮膚病	10.3%	8.1%	6.3%	5.6%	8.0%	17.5%	3.4%	0.9%
12. 性病	ハ、性病	2.5%	2.4%	3.4%	3.2%	2.3%	3.5%	0.6%	—
13. その他	ニ、その他	0.6%	0.7%	0.2%	0.9%	0.1%	—	1.2%	—
		15.3%	15.1%	13.0%	12.9%	4.3%	7.5%	1.2%	3.5%

11. 伝染性病	3.0	1.6	7.8	6.3	—	0.2	0.4	0.4
12. 皮膚病	0.05	0.1	0.3	0.1	—	—	—	—
13. 性病	0.2	0.3	0.6	0.4	—	—	0.3	0.4
14. その他	0.3	0.3	0.4	0.1	—	—	0.07	—
15. 検査人員	3.4	3.5	0.6	0.4	—	—	—	0.4
16. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
17. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
18. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
19. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
20. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
21. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
22. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
23. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
24. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
25. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
26. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
27. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
28. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
29. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
30. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
31. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
32. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
33. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
34. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
35. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
36. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
37. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
38. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
39. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
40. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
41. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
42. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
43. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
44. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
45. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
46. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
47. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
48. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
49. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
50. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
51. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
52. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
53. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
54. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
55. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
56. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
57. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
58. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
59. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
60. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
61. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
62. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
63. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
64. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
65. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
66. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
67. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
68. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
69. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
70. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
71. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
72. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
73. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
74. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
75. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
76. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
77. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
78. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
79. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
80. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
81. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
82. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
83. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
84. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
85. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
86. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
87. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
88. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
89. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
90. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
91. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
92. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
93. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
94. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
95. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
96. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
97. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
98. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
99. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—
100. 検査人員	—	—	—	—	—	—	—	—

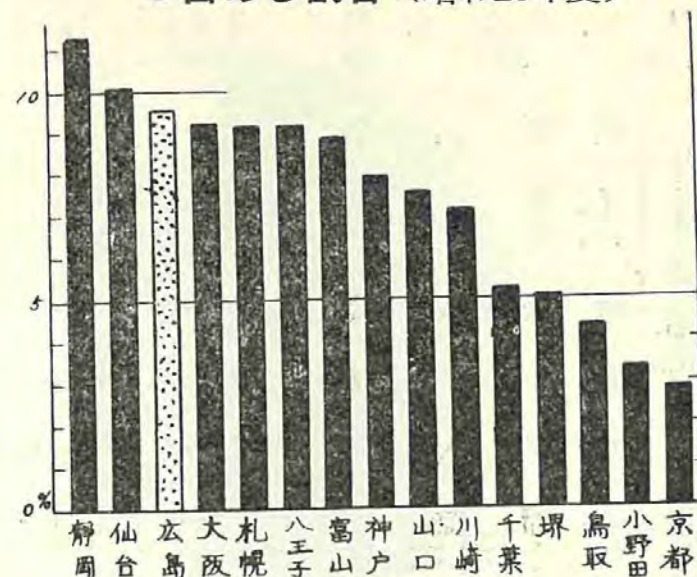
備考 1. 小中学校の13.16項目は調査中である。 2. 小学校は市立34校、中学校は市立13校、高等学校は市立3校、大学は広島大学の調査の結果である。



小學校教育費總額中徴収金の占める割合（昭和25年度）



小學校教育費總額中寄附金の占める割合（昭和25年度）



広島大学

昭和24年5月31日法律第150号により、広島文理科大学、広島高等学校、広島工業専門学校、広島高等師範学校、広島女子高等師範学校、広島師範学校、広島青年師範学校を包括し、広島市立工業専門学校を併合して広島大学が設置され、文学部、教育学部、政経学部、理学部、工学部、水畜産学部の6学部と、理論物理学研究所附属図書館がおかれ、理学部には附属臨海実験所が設けられた。同25年3月1日付をもつて、政経学部第2部として、修業年限5カ年の夜間部の設置が認可された。

昭和25年3月31日付をもつて広島高等学校が廃止され、昭和26年3月31日付をもつて広島師範学校、広島青年師範学校が廃止され、両校の附属学校（中学校3・小学校2・幼稚園1）は教育学部の附属となつた。同日、広島工業専門学校及び広島工業専門学校附設工業教員養成所が廃止された。将来広島県立医科大学を合併して医学部を設け、大学院及び修業年限3カ年の工業短期大学部を設ける予定で、目下関係方面と折衝中である。

広島大学の組織（学長 森戸辰男）

部局	所在地	附属施設	備考
本部	市内東千田町		
文学部	〃		包括された学校 旧文理科大学文科
教育学部	市内出汐町	附属図書館分館	〃 旧広島高等師範学校
〃 東雲分校	市内東雲町	〃	〃 旧広島師範学校（男子部）
〃 三原分校	三原市館町	〃	〃 〃（女子部）
〃 福山分校	福山市沖野上町	〃	〃
政経学部	市内江波町	〃	〃

理学部	市内東千田町	附属臨海実験所	包括された学校 旧文理科大学理科
工学部	市内千田町	附属図書館分館	〃 旧広島工業専門学校 旧広島市立工業専門学校
水畜産学部	深安郡大津野村	〃	〃 旧広島女子高等師範学校 旧広島青年師範学校
皆実分校(教養部)	市内皆実町		〃 旧広島高等学校 (2年制教員養成課程 以外の各学部の一般 教養を当分校で行う 旧文理科大学附属 文学部、理学部以 外の各学部分校に 夫々分館を置く。)
理論物理学研究所	加茂郡竹原町		
附属図書館	市内東千田町		

学生及び教職員

（広島大学事務局調）

学部、学校別	学 生 数												教職員数		
	1 年			2 年			3 年			4 年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	教 員	そ の 他	計
合 計 (市内にある 学部のみ)	1,119	161	1,280	1,046	60	1,106	730	11	741	—	—	—	2,895	232	3,127
大 学 部	106	20	126	97	11	108	91	3	94	—	—	—	294	34	328
教 育 学 部	303	53	356	235	18	253	237	6	243	—	—	—	775	77	852
教 育 学 部 東 雲 分 校	154	78	232	123	22	145	4	—	4	—	—	—	281	100	381
政 経 学 部	109	—	109	124	—	124	91	—	91	—	—	—	324	—	324
政 経 学 部 第 2 部	102	3	105	105	—	105	—	—	—	—	—	—	207	3	210
理 学 部	75	7	82	96	9	105	55	2	57	—	—	—	226	18	244
工 学 部	270	—	270	266	—	266	252	—	252	—	—	—	788	—	788
(包括された 学校)	—	—	—	241	6	247	194	9	203	239	—	239	743	22	765
文 理 科 大 学 〃 文 科	—	—	—	158	4	162	127	6	133	—	—	—	285	10	295
〃 理 科	—	—	—	83	2	85	67	3	70	—	—	—	150	5	155
研 究 科 学 生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	3	62
聴 講 生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	4	14
高 等 師 範 学 校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	239	—	239	239	—	239

広島女子短期大学 (所在地 広島市宇品町 学長 山根邦夫)

本学は、広島女子専門学校として昭和3年設立せられ、女子教育では全国的に知られていた。じ来20余年間に、2千余名の卒業生を送り出したが、昭和22年学校教育法の規定により、昭和25年3月新しく広島女子短期大学として発足し、女子の実際的な専門職業に重点を置く大学教育を施し、良き社会人を育成するとともに、中等学校教員を養成することを目標として鋭意努力がなされているので、今後の発展が期待されている。

学生及び教職員

区 分	学 生 数							教 職 員 数		
	国文科	社会科	数理科	家政科 児童学 専攻	食物学 ク	被服学 ク	計	教員数	職員 その他	計
1 年	41	45	23	40	40	40	229	—	—	—
2 年	26	23	10	36	32	36	163	—	—	—
計	67	68	33	76	72	76	392	37	31	68

学生の疾病異常統計

区 分	栄養 要注意	背柱 異常	胸部 異常	近視	色神 異常	トラ ホーム	鼻炎	蓄の 5症	へん桃 せん炎	結核性 疾患	計
異 常 者	5	2	1	48	1	—	23	4	24	3	111
%	1.3	0.5	0.3	12.1	0.3	—	5.9	1.0	6.1	0.8	28.3

備考 検査人員=392名

広島女学院大学 (所在地 広島市牛田町 学長 広瀬ハマコ)

本学院は明治19年に創設せられ、昭和7年専門学校令により 広島女学院専門学校としての認可を受け、昭和24年2月学校教育法による広島女学院大学の設置が認可された。次いで、翌25年3月短期大学部併設の認可を受け、専門学校は昭和27年3月をもつて廃校の運びとなっている。

学生及び教職員

区 分	学 生 数					教 職 員 数		
	1 年	2 年	3 年	4 年	計	教 員	職 員 その他	計
英 文 学 部	55	39	33	—	127	21	4	25
短 期 大 学 部	82	41	—	—	123	17	4	21
計	137	80	33	—	250	38	8	46

市内各種学校一覧 (昭和26.4.30現在)

(市教育委員会調)

学 校 名	所 在 地	課 程	学 科 別	学 校 名	所 在 地	課 程	学 科 別
広島高等洋裁女学院	八 丁 堀	昼 夜	洋 裁	蔵田文化洋装学院	牛 田 町	昼 夜	洋 裁
土井手洋裁女学院	段原山崎町	ク	ク	くれない服装学院	尾長町片河	ク	ク
広島キスター 高等洋裁女学院	己斐東本町	ク	ク	進徳女子被服専門学校	比治山本町	昼	ク
広島技芸専門学校	庚午北町	ク	ク	炭本洋裁女学院	牛 田 町	昼 夜	ク
広島文化高等洋裁学校	三篠本町 3 丁 目	ク	ク	牧里服装女学校	広瀬元町	ク	ク
アロハ洋服専門学校	愛 宕 町	ク	ク	広島高等計理学校	猫 屋 町	ク	簿記 算珠
川本ドレスメーカー 女学院	八 丁 堀	ク	ク	広島看護婦助産婦学校	旭町4ノ割	昼	看護婦 助産婦
平原高等洋裁女学院	仁保町青崎	ク	ク	広島音楽学校	幟 町	昼 夜	音 楽
やよい洋裁研究所	上流川町	ク	ク	広島県自動車学校	大 芝 町	昼	自動車
清水洋裁専門学校	西白島町	ク	ク	西日本重工広島造船 工業学校	南 観 音 町 昭 和 新 開	ク	工 業
織田高等洋裁学院	薬研堀町	ク	ク	広島県理容専門学校	己斐本町	ク	理 容
ミワ洋裁女学院	段原新町	ク	ク	千田英語学校	千 田 町 3 丁 目	夜	英 語
向井洋裁女学院	東蟹屋町	ク	ク	広島ウエスレー 英語学校	上流川町	昼 夜	和洋裁、 タイピスト 語学、栄養
セタ洋裁研究所	宇 品 町 3 丁 目	ク	ク	広島英語学校	皆 実 町 2 丁 目	夜	英 語
土井田洋裁専門学校	国泰寺町	ク	ク	広島速記学校	ク	ク	速 記
広島ドレスメーカー 女学院	皆 実 町 3 丁 目	ク	ク	広島赤十字高等 看護婦学校	千 田 町 1 丁 目	昼	看 護
文化服装学院	宇 品 町 通 神 田	ク	ク	広島税計専門学校	尾 長 町	夜	商業・簿記 算珠
広島Y.D.M.カレッジ	白島中町	昼	和洋裁	広島マエダ編物学院	研 屋 町	昼 夜	編 物
三木洋裁研究所	橋 本 町	ク	洋 裁	中田タイピスト学院	堀 川 町	ク	タイピス ト、英語

社 會 教 育

平和記念都市である本市の社会教育は、平和都市にふさわしい市民の教養と、文化の向上をはかる部面を担当している。その重要性は次第に認識されつつあるが、容易に克服し難い各種の悪条件のため、未だ十分この要請にこたえ得るに至っていない。

社会教育の対象を大別して、成人と青少年とに分け、成人教育は成人学校の開設、同和教育の振興、PTA及び婦人団体の自主的活動の促進等に主力を注ぎ各種の行事を実施した。そのうち特に成人学校の開設は、社会教育を具案的計画的な社会教育体制に切り替えるのに相当の効果を収めた。青少年指導は、学校及び団体と連絡しつつ、その生活指導と団体の育成に努力した。また、文化一般の向上普及視覚教育の促進、文化財調査及び保護等をはかった。

社会教育施設の内、市立としては、浅野図書館、中央公民館、原爆資料館、山陽文徳殿等がある。その他CIE図書館、県立児童図書館がある。なお、工事中の児童図書館、児童遊園地と現存の児童文化会館等が一体的に児童センターとして、運営される日は遠い将来ではないだろう。これら施設の利用も逐年増加されつつあり、施設の復旧と拡張が急がれている。

主なる行事 (昭和26年中)

(社会教育課調)

行 事 名	開 催 日	会 場	摘 要
日本現代美術展覧会	自 1月5日 至 1月9日	福屋百貨店	共催 147点出品
成年式(成年祭)	1月15日	児童文化会館	優良成人表彰 成年の意見発表、青年劇場第3回研究発表、地区別青年芸能発表
国際ポスター競技会応募作品展覧会	自 1月20日 至 1月24日	〃	1,203点出品
同和教育講演と研究座談会並びに映画会	2月24日	中央公民館	講師 田中松月氏 映画「破戒」
「大沢寿人と広響」演奏会	3月17日	児童文化会館	共催
第3回広島県美術展覧会	自 4月10日 至 4月15日	中国新聞社ホール外	共催 291点出品
新憲法実施記念行事	自 5月2日 至 5月4日	公民館外	座談会、懇談会、講演会 講師 谷川徹三氏
第3回市民プロナードコンサート	5月3日	縮景園	共催、レコード音楽並びに舞踊
広島邦楽研究会春季大演奏会	〃	児童文化会館	共催
日本歌人全国大会	自 5月3日 至 5月6日	中央公民館外	講演会
子供祭	自 5月4日 至 5月6日	児童文化会館	映画大会、児童演劇大会、「子供の日」ラジオ大会
双三郡、広島市児童交歓会	6月16日	児童文化会館外	ホテル贈呈式、ホテル狩、交歓演芸会
第3回原爆都市青年交歓会	自 6月30日 至 7月1日	広島市役所外	運営協議会、会議、交歓会等
広島フィルハーモニー交響楽団創立演奏会	7月7日	児童文化会館	指揮者 佐藤正二郎氏
俳優座公演	7月14日	〃	ロマンローラン作「愛と死の戯れ」

成人講座	自 7月20日 至 10月14日	市内各中小学校	1校 4回宛
第1回成人学校(前期)	自 7月20日 至 8月3日	幟町小学校	毎週火、金曜日(教養、実用、趣味の各課目) 講師 森加重登氏外
第3回成人教養講座	自 7月21日 至 9月22日	中央公民館	毎週土曜日(文芸を中心) 講師 阿部知二氏外
第4回B.S広島ジャンボリー	自 8月5日 至 8月6日	児童文化会館	
第1回成人学校(後期)	自 8月21日 至 9月6日	幟町小学校	毎週火、金曜日(教養、実用、趣味の各課目) 講師 徳崎好夫氏外
B.S班長講習会	自 8月22日 至 8月24日	佐伯郡観音村	講師 天野誠一氏外
第3回市民音楽会	8月26日	元安川水上	共催 出演 広島フィルハーモニー交響楽団外
講和時局講演会	9月13日	中央公民館	共催「講和と国際連合」 講師 佐藤尚武氏
広島放送交響楽団	9月22日	ザビエル記念館	指揮者 高田信一氏
第7回定期演奏会	自 10月6日 至 10月24日	女子短期大学	毎週土曜日(理科を中心) 講師 大坪サキ教授外
大学開放婦人講座	10月20日	児童文化会館	共催 指揮者 佐藤正二郎氏
広島フィルハーモニー交響楽団研究発表演奏会	自 10月27日 至 11月11日	福屋百貨店	共催 180点出品
日本現代美術展覧会	11月中	C.I.E.図書館	日米学生交換会、記念講演会及びユネスコ青年の歌発表会、ユネスコ普及会
ユネスコ月間行事	11月3日	広島城跡	共催 レコード・コンサート スクエアダンス
第4回市民プロナード、コンサート	11月3日	社会館外	選者 大井静雄氏外
第1回俳句、川柳、短歌大会	自 11月10日 至 12月22日	山陽文徳殿	毎週土曜日(時事問題を中心) 講師 広大教授
成人講座	11月8日	社会館	審査員 山根邦夫氏外
女性弁論大会	自 11月17日 至 12月1日	天満小学校	毎週水、土曜日(教養、実用、レクリエーションを中心) 講師 堀川武夫氏外
第2回成人学校	11月23日	児童文化会館	出演 広島高師演劇研究会外 5団体
第2回演劇祭	11月30日	〃	共催 指揮者 クルト・ウェス氏
NHK交響楽団広島演奏会	自 12月1日 至 12月4日	〃	106点出品
米、加児童、生徒のポスター作品展覧会	自 12月8日 至 12月10日	児童文化会館外	講演会、映画会、講習会、観望、展示会
第1回広島天文大会	年間中	C.I.E.図書館	毎月2回定期的
レコードコンサート	〃	〃	ポスター、ビラ配布、懸垂幕、立看板電車中吊、広告、宣伝車等による啓蒙
市民道徳高揚運動	〃	〃	〃

重要文化財名稱及び所在地

指 定 別	種 類	名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日
重要文化財 (国指定)	建 物	不 動 院 金 堂	牛 田 町	不 動 院	明治33年 4月 7日
〃	彫 刻	木造薬師如来	〃	〃	大正 6年 8月/3日
〃	工芸品	銅 製 ぼ ん 鐘	〃	〃	明治32年 8月 1日
名勝跡 (国指定)	庭 園	縮 景 園	上流川町	管理者 広島県	昭和/5年 7月/2日
史跡 (国指定)	史 跡	頼山陽居室跡	袋 町	〃	昭和 2年 9月 3日
史跡 (国指定)	城 跡	広島城跡	基 町	管理者 広島市	仮 指 定
史跡 (県指定)	墓	頼家一族之墓	比治山本町 多聞院	〃	昭和/5年 2月27日
〃	〃	植田良背之墓	〃	〃	昭和/7年 6月 9日
〃	〃	浅野長晟之墓	小 町 国泰寺	〃	昭和24年 8月/2日
〃	貝 塚	比 治 山 貝 塚	比治山本町 (元陸軍比治山作業場)	〃	昭和25年 3月22日

備考 これら重要文化財の保存管理については、常に細心の注意を拂い維持保全につとめている。

各種団体別数及び概況

種 別	組 織 別 団 体 数	概 況
P. T. A	小学校 P A T 連 合 会 / 単 位 団 ……33 中学校 P T A 連 合 会 / 単 位 団 ……/3 高等学校 P T A 連 合 会 / 単 位 団 ……/5	戦後市内各学区毎に、従来の学校後援会を母胎として或いは全く別の構想に基いて、新しい社会状況に応じ学校教育の協力団体として結成せられ、学校復興に、体育内容の充実に努めると共に、最も強力な社会教育団体として活動している。
婦 人 団 体	地 域 婦 人 会 38 未 亡 人 〃 33 そ の 他 7 計 78	市内各学区毎に結成され、婦人の教養、文化、社会的方面にそれぞれ婦人の自主的運営により、その特性を生かし健全に発展しつつある。

文化団体	宗 教 関 係 6 教 育 〃 3 文 学 〃 /2 音 楽 〃 /1 美 術 〃 4 芸 能 〃 8 産 業 〃 3 体 育 〃 25 そ の 他 /1 計 83	戦後濫立した各種文化団体は、その後自然淘汰による整理統合の段階を経て、逐次その組織内容を充実し、活動運営について健全な歩みを見せ、地方文化の向上に寄与しつつある。
青 年 団	28	社会状況の推移に伴い、全国的に見て組織の改変と運動方針の再確立をなしつつあり、表面的には余り活発なる動きを見せていないようであるが、ようやく地域単位団体の再整備とグループ制等に切り替えられつつあるのが現状である。また、戦後いち早く青年団体を結成し、活発なる運動をした当時の青年団体の有志が、青年協議会(会員制)を結成したことは注目される現象である。
女 子 青 年 会		昨年会員制として全市一丸として発足し、現在会員数は86名という少数ではあるが、その足跡は一般男子に劣らぬ知性向上のため、活発なる運動を展開した。最近地域的に会員及びグループ制として、単位団体を結成しようという気運にあるのは注目されている。
ボーイスカウト 外に未登録隊	10隊 /隊	ボーイスカウト広島地区連盟においては、昨年9月米国加州中部地区のスカウトより贈られた寄附金を基に、各関係者の協力を得て本年3月プラスバンドを結成し、団体を初め各種行事に協力し、スカウト運動の推進に努めると共に、各単位体の充実に力を注いでいる。
ガールスカウト	3隊	ガールスカウトは、昨年に比べ大した動きはみられない。
青少年赤十字団	3団	本川小学校(908名)、観音高等学校(33名)、国泰寺中学校(702名)等において結成され、活発な運動を展開している。今後更に2～3団体が結成される機運にある。
海 洋 少 年 団		本年7月20日に結成され、海上保安部内(宇品町)に事務所を設けている。現在二葉中学校5班外4班(239名)をもつて構成しているが、結成後日が浅いにも拘らず、各施設の見学、一部団員の巡視艇乗組実習等を行い、海洋に関する知識技術の修得に努めている。

種 別	組 織 別 団 体 数	概 況
	児 童 演 劇 団 2団	少年少女たちの演劇学園として、演劇を通じて児童の育成指導に力を注いでいる。その内広島児童劇場は、昭和23年11月発足以来既に研究発表の公演は7回にわたっている。
	その他の青少年団体 5団	小学校を中心とした小学校少年団(2)、青年団員等の有志が主宰する、児童の校外補導の団体(3)があり、それぞれ活発に運動を展開して世人の注目を浴びている。

図 書 館

図書館は現在市内に6箇所あるが、何れも広く一般に利用されている。広島C.I.E図書館(Hiroshima SCAP CIE Information Center)は、連合軍総司令部民間情報教育局が、日本国民のためにアメリカ式の図書館の在り方を紹介し、併せて民主的教育をサービスする文化センター(公衆集会所)となるよう、全国に設置された23カ所の一つである。本館は特異の存在として、書籍の他にレコード1,500枚、映画フィルム300本、その他時事地図、陳列品等、毎週新しいものを加えている。

県立労働科学研究所附属図書館は、同所の蔵書3,000冊を基礎として、本年11月3日に開設され、目下蔵書整備に努力している。

県立児童図書館は本年11月3日開館され、児童関係の図書記録、視聴覚資料をしゅう集保存して児童の閲覧に供し、教育、研究、調査等リクレーションのセンターを目指して努力している。

図書館別蔵書冊数

(調査課調)

分 類 図書館名	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	その他	合 計
広島大学附属図書館 (市内の分館を含む)	40,352	43,367	51,153	33,001	20,006	8,257	5,691	6,480	18,155	35,354	—	262,816
広島CIE	660	477	2,241	3,624	973	2,694		982	237	700	1,791	14,379
市立浅野	256	308	247	650	385	192	108	240	107	1,434	9,589	13,516
市立児童	177	5	47	77	106	6	9	42	8	187	2,032	2,696
県立児童	9	14	99	96	144	50		48	24	21	710	1,215
労働科学研究所附属	70	150	250	2,000	100	—	—	—	—	200	230	3,000

備考 1. 総記は、新聞、全集、雑誌、辞書、逐次刊行書等である。

2. 社会科学は政治、法律、経済、統計、社会、教育、民族、軍事等である。



C I E 図 書 館



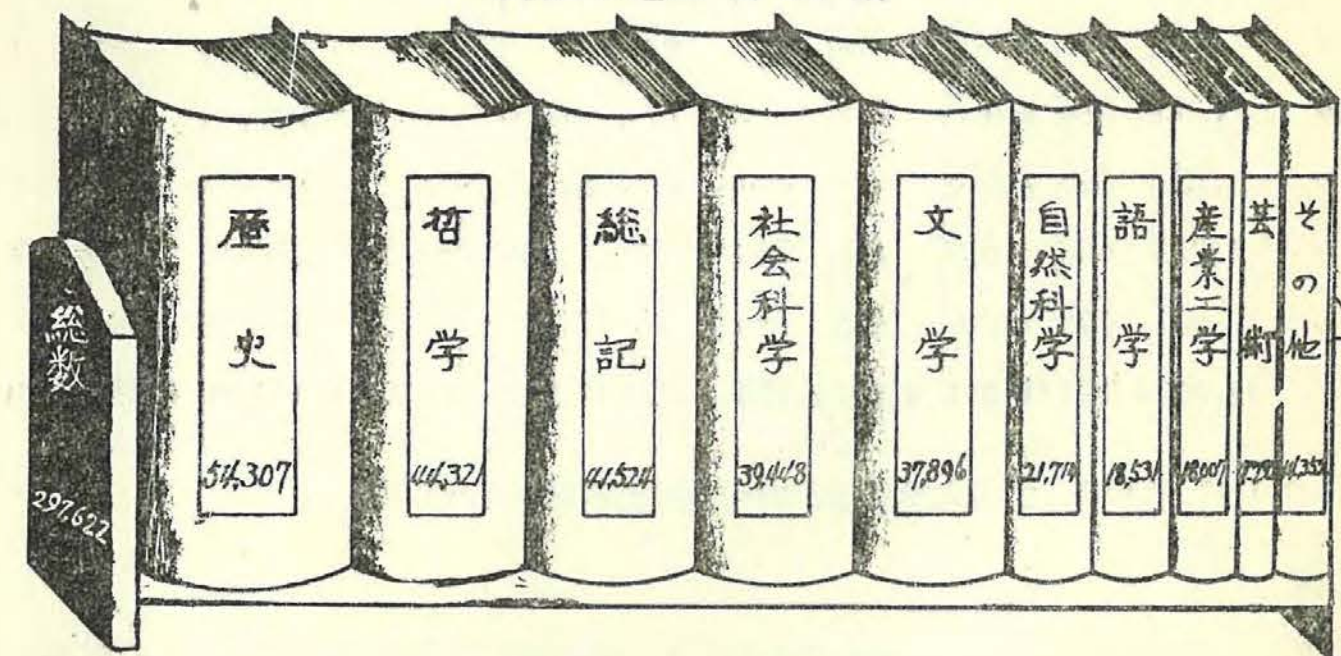
県 立 児 童 図 書 館

職業別閲覧者状況 (昭和26年中)

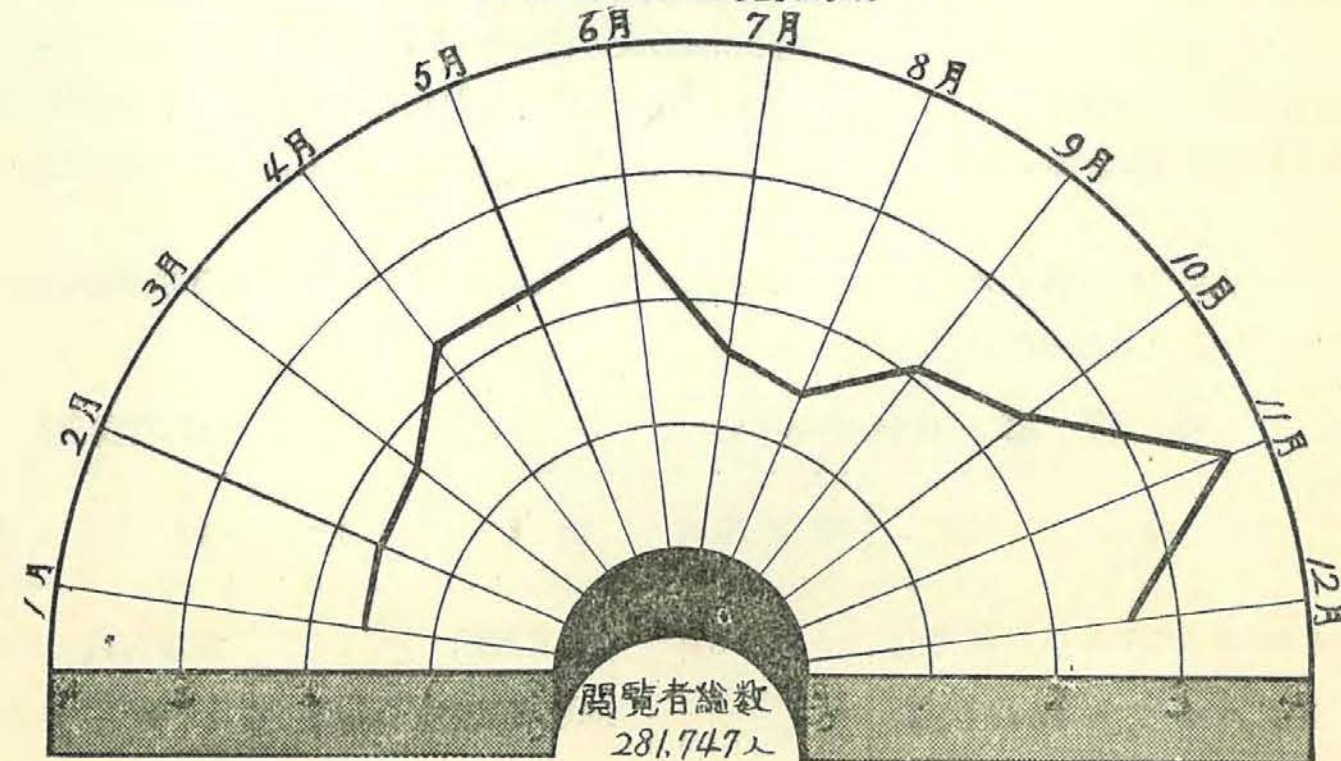
図書館名	農水産業	鉱工業	商業	交通業	教育宗教	官公吏	学生	児童	無職	その他	合計
大 大	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
浅 野	99	312	505	118	—	1,720	14,051	280	1,348	222	18,691
C.I.E.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62,550
市立児童	—	—	—	—	—	—	1,919	4,703	—	—	6,622
県立児童	—	—	—	—	—	—	—	10,387	—	—	10,387
労 研	〔		197		〕	211	800	—	121		1,329

備考 労研には、昭和27年1月の閲覧者251人を含んでいる。

分類別蔵書総数



月別圖書閲覧者数



図書館月別閲覧者

館名 性別 月別	浅野図書館			市立児童図書館			C.I.E.	県立児童図書館			労研附属図書館			広大附属図書館
	男	女	計	男	女	計	計	男	女	計	男	女	計	計
1 月	526	318	844	130	115	245	674	—	—	—	—	—	—	13,751
2 月	777	433	1,210	187	132	319	375	—	—	—	—	—	—	14,392
3 月	644	228	872	244	117	361	1,563	—	—	—	—	—	—	14,315
4 月	597	279	876	283	219	502	3,377	—	—	—	—	—	—	7,464
5 月	1,368	451	1,819	356	200	556	4,631	—	—	—	—	—	—	15,958
6 月	1,702	711	2,413	390	275	665	4,540	—	—	—	—	—	—	17,684
7 月	1,131	346	1,477	413	224	637	4,262	—	—	—	—	—	—	10,063
8 月	1,649	688	2,337	490	408	898	4,129	—	—	—	—	—	—	7,718
9 月	1,743	674	2,417	389	316	705	5,572	—	—	—	—	—	—	12,235
10 月	1,132	546	1,678	419	300	719	6,738	—	—	—	—	—	—	15,036
11 月	1,247	452	1,699	331	263	594	13,546	—	—	5,176	365	32	397	15,795
12 月	804	245	1,049	235	186	421	13,145	—	—	5,211	618	63	681	12,155
計	13,320	5,371	18,691	3,867	2,755	6,622	62,552	—	—	10,387	983	95	1,078	156,026

備考 C.I.E.図書館、広島大学附属図書館は性別に区分していない。

体 育

戦後国内の道徳はたい廃し、社会はびん乱して一時は混乱の極に達したが、その対策の一つとして明朗かつ達なスポーツを通じ、この状態を逸早く回復することが痛切に叫ばれて来たのである。この秋、幸いにも本市において我が国最大の体育行事である第6回国民体育大会が開催せられ、本大会を契機としてあらゆる体育施設が整備せられたことは、今後市民の体位向上に寄与する所多大である。更に、往年の体育都市の性格を回復したことは、誠に喜ばしいことであつた。

なお、本年は下記の如くスエーデン対全広島サッカー国際試合、第4回全日本東西対抗大会等が開催され盛況であつた。

主 な る 行 事 (昭和26年中)

(体育課調)

行 事 名	開 催 月 日	場 所	摘 要
ラジオ体操指導者伝達講習会	5月8日	中央公民館	参加人員 580名
第4回ジュニア—競技大会	自 5月26日 至 6月10日	中央庭球場外 6カ所	〃 1,780〃

第7回市民体育大会兼国体広島市予選	6月7.8日	〃 外13カ所	〃 2,630〃
国体オリンピックデー	6月30日	市民グラウンド及び児童文化会館	〃 8,400〃
第6回職域体育大会	7月7.8日	中央庭球場外11カ所	〃 1,350〃
第4回全日本東西対抗体操大会	10月4日	広大附属小学校	〃 28〃
第6回国民体育大会	自10月27日 至10月31日	別表の通り	〃 9,369〃
第5回ジュニア—競技大会	自11月23日 至11月25日	中央庭球場 6カ所	〃 1,780〃
スエーデン対全広島サッカー国際試合	11月28日	国泰寺高校運動場	〃 60〃
第6回市内一周継走大会	12月9日	市内一円	〃 360〃

第6回国民体育大会概況

本大会は夏季、秋季大会及び冬季大会に分れ、夏季大会は9月21日より24日迄4日間を、水泳は呉市で、ヨットは日本三大景勝の地宮島の包ヶ浦沖で開催された。秋季大会は、登山が鳥取県大山で、自転車競技が山口県防府市で行われ、その他は広島市を中心として県下5市において、競技種目28、会場36、参加人員15,000人に及ぶ大総巻が10月27日より31日迄華々しく展開された。

天皇、皇后両陛下には御そろいにて総合グラウンドの開会式に御成り遊ばされ、第1日には陸上競技、サッカー及びレスリングを、第2日にはそう艇、バレーボールを親しく御観覧遊ばされたのを初め、秩父宮妃殿下には28、29両日にわたり陸上競技外10種目を、三笠宮殿下には開会式に御臨席の後、引続いて3日間にわたり10種目を、高松宮殿下には31日閉会式に御臨席され、親しく天皇杯、皇后杯を授与せられ、5日間にわたる秋季大会は盛会裡に有終の美を飾つたのである。

主なる試合成績は次の通りである。

男子、女子共東京都が優勝し、天皇杯及び皇后杯を獲得した。

男子—2位 福岡県 3位 神奈川県 8位 広島県

女子—2位 岡山県 3位 愛知県 5位 広島県

優 秀 記 録

高橋 進 (広島)	3,000米障害	9分14秒2	日本新記録
岡野栄太郎 (岡山)	400米ハードル	53秒6	日本タイ記録
吉川 綾子 (大阪)	100米	12秒0	〃
宮下 美代 (京都)	80米ハードル	12秒1	〃

大会選手及び役員

種 目	選 手 数	役 員 数	計	摘 要
陸 上	1,288	315	1,603	広島県担当会場
ラグビー	336	165	501	
サッカー	565	105	670	
バドミントン	350	78	428	
	300	98	398	
排球	1,248	532	1,780	広島市担当会場
ソフトボール	360	244	604	
ハンドボール	396	90	486	
バレーボール	628	183	811	
バスケットボール	184	193	377	
レスリング	514	138	652	
柔道	216	137	353	
剣道	518	188	706	
合 計	6,903	2,466	9,369	

備考 入場券は50,219枚であつた。

第6回国民体育大会種目別競技施設一覧

種 目	競 技 場	収容 人員	施 設 工 事 内 容		摘 要
			施 設 名	施設 区分	
陸 上	広島市南観音町 県総合グランド陸 上競技場	20,000	走路、フィールド、張芝、給水、撒水 施設、サーブトラック、更衣室、役員 席、貴賓席、本部	補修	県にお いて施 行
野 球	〃 野球場	25,000	グラウンド整地、バックネット、スコア ーボード、役員席、外柵、周壁塗装	〃	
ラグビー	〃 ラグビー場	3,500	整地、スタンド、外柵	〃	
サッカー	国泰寺高校運動場	6,000	コート1面、浴室、土盛スタンド、本 部室外	新設	市にお いて施 行
〃	基町高校	4,000	コート1面、土盛スタンド、本部室外	〃	
排 球	基町 城跡中央排球場	8,000	コート6面、仮設コート4面、更衣室、 管理所、土盛スタンド、本部室、その 他	補修	
ホッケー	山陽高校運動場	3,000	コート1面、土盛スタンド、本部室外	新設	
体 操	広大附小運動場	2,000	起路補修	補修	
庭 球	基町中央排球場	10,000	アンツーカーコート2面、クレイコート 8面、管理所、脱衣場、スタンド外	〃	
弓 道	広大本校弓道場	1,000	近的射場、遠的射場、管理所外	新設	
レスリング	本川小学校体育館	500		補修	
ハンドボール	広大皆実分校 運動場	3,000	コート2面、土盛スタンド外	〃	
ホッケー	皆実高校運動場	2,000	コート1面、土盛スタンド外	〃	

第六回国民体育大会秋季大会

於 廣 島



入 場 式



競 技 (バレー)



閉会式に臨まれた高松佐郎下



競 技 (弓道)



精薄兒施設六方学園に行幸啓の両陛下



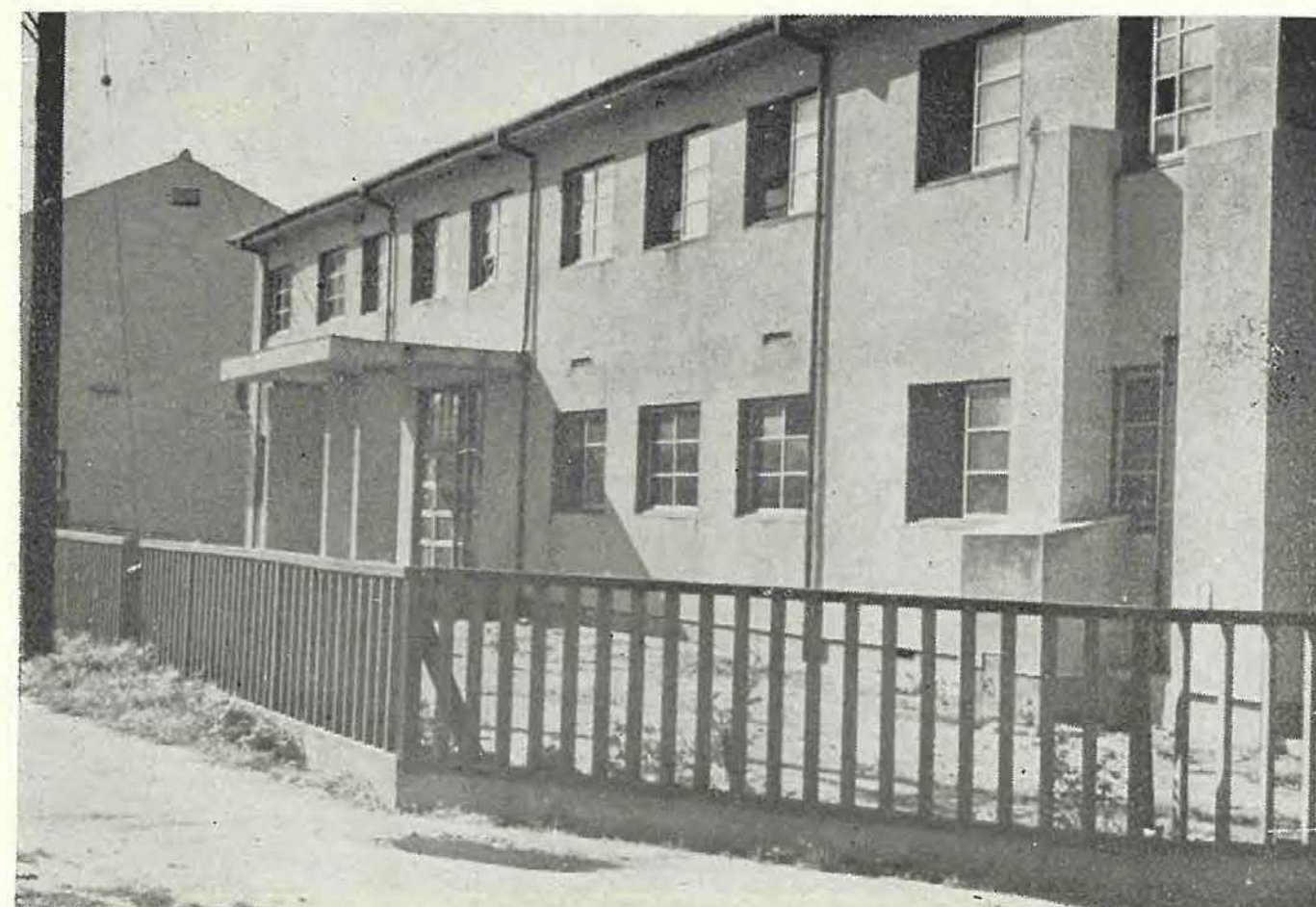
国体歓迎の市内デコレーション



市立養老院で孤老を慰められる両陛下



市立産院（宇品町）



市立母子寮（基町）

社会事業

戦災により壊滅した本市の社会事業施設は、最近漸く復旧し、現在児童保育所は（市営17、私営19）、母子寮（市営1、私営2）、児童養護施設（私営4）、精神薄弱児収容施設（1）、市営の助産院、乳児院、養老院、保養院、東・西隣保館、診療所、東・西公益質屋等がある。特に、ハワイ同胞の温い援助によつて完成された母子寮、養老院は本市の誇りであり、助産院、乳児院は中国地方の模範施設といわれている。しかし、これ等施設も全市的に見れば未だ万全とは言えず、特に最近国民生活の困窮度は上昇しており、今後益々これ等施設の増設が要望されている。

また、生活保護については、市としては社会福祉事務所を設け、福祉吏員を増員すると共に、本年7月改選された民生委員（男子316人、女子52人）の協力を得て、要生活保護者の適援正護に当っているが、年々増加しているので国家財政の確立による社会保障制度の拡充強化が、強く要望されている。なお本市の社会事業費は約1億4千万円（市歳出の7.5%）である。

生活保護法による扶助状況

（昭和26年中）

（福祉事務所調）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
生活扶助	世帯数	2,034	2,117	2,358	2,102	2,151	2,216
	人数	6,013	6,230	6,338	5,915	5,996	6,105
	金額(円)	2,960,389	2,910,802	3,150,297	2,790,946	3,193,371	3,347,525
教育扶助	世帯数	1,166	1,181	1,202	1,138	1,189	1,192
	人数	2,272	2,315	2,421	2,076	2,131	2,137
	金額(円)	322,824	337,045	501,369	109,540	351,322	421,266
住宅扶助	世帯数	715	736	733	844	864	859
	人数	1,856	1,921	1,965	2,386	2,494	2,547
	金額(円)	29,156	17,865	36,716	8,670	44,150	44,475
医療扶助	世帯数	1,185	1,191	1,256	1,423	1,524	1,558
	人数	1,196	1,196	1,273	1,458	1,558	1,597
	金額(円)	6,509,780	6,547,253	8,837,775	4,753,080	5,079,080	5,206,220
出産扶助	世帯数	13	17	7	3	9	2
	人数	13	17	7	3	9	2
	金額(円)	14,400	17,000	7,000	5,406	13,812	4,406
生業扶助	世帯数	2	2	2	—	—	—
	人数	2	2	2	—	—	—
	金額(円)	6,000	6,000	6,000	—	—	—
葬祭扶助	世帯数	23	6	6	11	14	11
	人数	23	6	6	11	14	11
	金額(円)	43,700	11,400	11,400	20,900	26,100	20,900

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
生活扶助世帯数	2,286	2,346	2,354	2,408	2,468	2,492	27,332
世帯員数	6,306	6,435	6,499	6,631	6,774	6,831	76,073
金額(円)	3,551,684	3,691,811	4,177,476	4,064,485	4,338,640	4,511,665	42,689,091
教育扶助世帯数	1,231	1,245	1,292	1,435	1,456	1,468	15,195
世帯員数	2,195	2,219	2,287	3,331	3,367	3,393	30,144
金額(円)	522,229	375,965	528,720	532,599	586,720	563,863	5,153,462
住宅扶助世帯数	879	899	924	1,041	1,132	1,473	11,099
世帯員数	2,645	2,661	2,681	2,729	2,740	2,766	29,391
金額(円)	132,615	133,790	135,640	136,522	153,152	132,482	1,005,238
医療扶助世帯数	1,603	1,705	1,768	1,829	1,838	1,904	18,784
世帯員数	1,669	1,760	1,849	1,913	1,942	1,933	19,344
金額(円)	5,440,940	5,737,600	6,027,740	6,227,434	6,236,380	—	—
出産扶助世帯数	6	4	1	5	3	4	74
世帯員数	6	4	1	5	3	4	74
金額(円)	10,812	7,609	2,203	8,609	4,209	4,000	99,466
生業扶助世帯数	4	4	7	2	4	6	33
世帯員数	4	4	7	2	4	6	33
金額(円)	12,000	12,000	21,000	6,000	12,000	18,000	99,000
葬祭扶助世帯数	16	21	17	11	14	5	155
世帯員数	16	21	17	11	14	5	155
金額(円)	30,400	37,979	32,300	20,900	26,600	9,500	292,579

行路病人、行路死人

(昭和26年中)

種 別	行 路 病 人							行 路 死 亡 人						
	越 人 員	新 人 員	計	内 訳				病 死	い 死	溺 死	凍 死	変 死	そ の 他	計
				解 放	死 亡	引 渡	計							
男	33	33	66	32	4	—	36	1	4	3	—	13	9	30
女	21	15	36	18	3	—	21	—	—	4	—	3	1	8
計	54	48	102	50	7	—	57	1	4	7	—	16	10	38

保 育 事 業

原爆並びに戦没遺家族、戦災家族の多い本市としては、これら、家族児童の福祉対策に重点を置き、保育事業の育成強化に努めている。現在市内に公立17、私立19の保育所があり、3,142名の児童が保育されている。これら保育所は、ほとんどが終戦後新設されたもので、何れも近代的な設備を備え、名実ともにモデル保育所としての運営を期している。

保 育 所 一 覧

(社会課調)

		保 母 数	在 籍 人 員			内 訳				計	定員	所 在 地		
			男	女	計	措置児		自 由 児						
						男	女	男	女					
市	{	三竹古江	2	11	25	36	11	25	—	—	36	60	楠木町3丁目	
		篠屋田	3	34	25	59	34	25	—	—	59	80	昭和町	
		崎波	3	38	32	70	38	32	—	—	70	60	古田高須	
		江波	3	32	30	62	32	30	—	—	62	70	河原町	
		江波	4	36	60	96	36	60	—	—	96	150	江波町	
	{	草津	6	83	75	158	83	75	—	—	158	180	草津東町	
		己斐	5	67	79	146	67	79	—	—	146	150	己斐上町	
		基町	4	47	63	110	47	63	—	—	110	150	基町	
		南観音	3	15	36	51	15	36	—	—	51	90	南観音町2丁目	
		元宇品	3	28	25	53	28	25	—	—	53	90	元宇品町	
立	{	楠大仁青	3	45	34	80	46	34	—	—	80	90	仁保町楠那	
		大河	4	33	30	63	33	30	—	—	63	120	仁保町大河	
		保崎	3	38	43	81	38	43	—	—	81	90	仁保町淵崎	
		崎と	3	36	37	73	36	37	—	—	73	100	仁保町堀越	
		こばと	3	26	25	51	26	25	—	—	51	60	宇品町13丁目	
	{	東隣保館	3	41	53	94	41	53	—	—	94	120	尾長町	
		西隣保館	4	48	49	97	48	49	—	—	97	150	福島町	
	計		59	659	721	1,380	659	721	—	—	1,380	1,810		
	私	{	智恩	6	89	66	155	84	62	5	4	155	150	猫屋町
			若葉	4	41	54	95	36	53	5	1	95	90	東観音町2丁目
まこと			5	54	40	94	54	40	—	—	94	100	皆実町2丁目	
三立山			4	32	28	60	32	28	—	—	60	60	牛田町	
比治山			3	32	22	54	32	22	—	—	54	60	比治山本町	
{		法輪	4	51	48	99	49	45	2	3	99	100	南観音町	
		真和	4	38	56	94	33	47	5	9	94	100	寺町	
		微妙	4	30	26	56	30	26	—	—	56	30	東雲町	
		小百合	6	92	97	189	52	54	40	43	189	120	楠木町4丁目	
		天使	5	31	24	55	31	24	—	—	55	30	〃	
立	{	かりかこ	2	39	36	75	33	34	6	2	75	60	立町	
		ときほ	4	41	38	79	35	28	6	10	79	100	牛田町	
		宇品学	8	116	98	214	108	90	8	8	214	200	宇品町	
		曙光	5	59	43	102	54	38	5	5	102	100	曙町	
		ひかり	5	43	32	75	36	27	7	5	75	70	西観音町	
	{	皆実愛	4	52	46	98	42	35	10	11	98	100	皆実町3丁目	
		さくら	2	13	5	18	13	5	—	—	18	50	草津本町	
		京橋	2	30	30	60	—	—	30	30	60	50	比治山町	
		母子寮	5	54	36	90	45	30	9	6	90	85	基町	
		計		82	937	825	1,762	799	688	138	137	1,762	1,655	

養護施設

	経 営 者	職 員			収 容 児 童 年 令 別 数				
		男	女	計	12才以下	15才	18才	20才	計
似島学園	社会事業協会	16	21	37	13	121	40	5	179
新生学園	同胞援護会	11	11	22	22	23	22	10	77
広島修道院	私 営	6	7	13	59	14	8	1	82
光の園	宗教法人	2	11	13	60	8	—	—	68
合 計		35	50	85	154	166	70	16	406

精神薄弱児収容施設

	経 営 者	職 員			収 容 児 童 年 令 別 数				
		男	女	計	12才以下	15才	18才	20才	計
六方学園	私 営	6	16	22	41	23	22	10	96

母子寮

	所 在 地	市 私 営 別	収 容 人 員																	世 帯 数
			母							子										
			25才 以上	35才 以上	41才 以上	46才 以上	51才 以上	その他	計	7才 以下		16才 以上		17才 以上		計		合 計		
										男	女	男	女	男	女	男	女			
広島市母子寮	基 町	市	人3	人9	人4	人3	人1	人3	人33	人13	人10	人19	人23	人1	人1	人33	人34	人67	30	
広島母子寮	〃	私	32	26	7	1	2	6	66	16	20	40	50	4	2	60	72	132	60	
さくら母子寮	草津東町	私	1	2	10	3	—	2	28	10	6	25	18	1	2	36	26	62	26	
大芝住宅	大芝町	市	1	7	1	1	1	—	12	1	—	8	8	1	1	10	9	19	11	

里親制度

本市の里親制度は昭和23年4月から実施し、現在56名の児童が篤志家の手によつて養育されている。なお養育費とし15才未満の者に対して1日54円95銭、15才以上18才未満は62円79銭を支給している。

委託されている年令別児童数

	1才未満	2才	6才	12才	15才	18才	計
男	—	—	1	14	10	2	27
女	—	—	—	16	9	4	29
計	—	—	1	30	19	6	56

精神養子

米国ニューヨーク市の土曜評論社ノーマン・カズンズ氏の提唱あつ旋による米国の篤志家と戦災孤児との精神養子縁組は、昭和25年1月から結ばれ、本年末現在263名にのぼつてゐる。これら養子に対し心の親達から、養育資金はもとより一般援護資金や温情あふれる品々が贈られている。この精神養子縁組は米国でも好評を博し、昨年は8,000ドル本年は13,680ドルが送られてきた。

施設別縁組決定及び資金配分状況 (昭和26年中)

	収容数	縁 組 決定数	受領金額 ドル	資 金 配 分 額			摘 要
				養育資金	一般資金	計	
光の園	69	15	ドル	483	120	603	
新生学園	78	23		1,051	—	1,051	
広島戦災児育成所	80	72	13,680	3,787	1,903	5,690	
修道院	60	40		1,523	10	1,533	
似島学園	183	102		3,258	20	3,278	
六方学園	96	1		25	—	25	
合 計	566	263	13,680	10,127	2,053	12,180	残 1,500ドル

乳 児 院

本市の乳児院施設は、従来民間経営1カ所のみであつたが本年9月宇品町に市立乳児院を新設し、現在12名の乳児を収容養育している。

乳 児 院 施 設

	経 営	職 員			収 容 数		
		男	女	計	遺 棄	その他	計
乳 児 院	市 立	人2	人5	人7	人2	人10	人12
広島乳児院	私 立	人1	人10	人11	人10	人9	人19
合 計		3	15	18	12	19	31

養 老 院

在米同胞の寄附並びに国庫補助により、本年4月広島県佐伯郡観音村に養老施設として『喜生園』を新設した。現在男22名女54名計76名が收容されている。同施設は近代的設備の料を集め、特に山趣海望の自然環境に恵まれ中国地方におけるモデル養老院となつている。

また本年10月第6回国体に行幸遊ばされた天皇、皇后両陛下には、会場御臨席の途次、態々御車を本園に留めさせられ、施設を御巡視され收容者に御慰問の御言葉を賜わつた。

養 老 院 收 容 者 (昭和26年中)

(喜生園調)

種 別 月 別	前月越人員		入 園		退 園		死 亡		差引現在員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4 月	人1	人1	人10	人13	人1	人1	人1	人1	人10	人13
5 月	10	13	3	3	—	—	—	—	13	16
6 月	13	16	3	11	—	—	—	—	16	27
7 月	16	27	1	1	—	—	—	—	17	28
8 月	17	28	—	10	—	1	—	—	17	37
9 月	17	37	2	6	—	—	—	—	19	43
10 月	19	43	1	—	—	1	—	—	20	42
11 月	20	42	2	7	—	1	1	—	21	48
12 月	21	48	2	8	1	2	—	—	22	54

保養院外來患者利用状況 (昭和26年中)

(保養院調)

	使 用 料 並 び に 手 数 料						患 者 取 扱 数			
	診察料	処置料	注射料	薬価料	手数料	社会保険診療	実 人 員			延人員
件 数	1,936	1,112	3,271	3,684	39	639	人689	人1,117	人1,806	人6,513
金 額	38,720	32,971	145,829	129,392	390	138,621	—	—	—	—

保養院收容患者 (昭和26年中)

	合 計			戦災り災者			外地引揚者			そ の 他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
越 人 員	人13	人26	人39	人4	人8	人12	人3	人6	人9	人6	人12	人18
新 收 容	10	23	33	4	9	13	—	1	1	6	13	19
死 亡	1	8	9	1	4	5	—	—	—	—	4	4
退 院	12	18	30	4	5	9	3	7	10	5	6	11
現 在 員	10	23	33	2	9	11	—	—	—	7	15	22

隣保館利用状況 (昭和26年中)

(隣保館調)

	東 隣 保 館				西 隣 保 館			
	利用回数	利 用 人 員			利用回数	利 用 人 員		
		男	女	計		男	女	計
トラホーム治療	回239	人3,740	人6,179	人9,919	回44	人1,627	人2,106	人3,733
検診並びに予防注射	14	642	1,043	1,685	10	320	330	650
簡易治療その他	272	404	559	963	30	20	10	30
成人教育講座	24	18	514	532	—	—	—	—
青少年指導集会	53	941	1,500	2,441	256	12,348	17,735	30,083
図 書 閱 覧	97	105	199	304	84	1,680	1,848	3,528
生 活 相 談	105	75	42	117	86	35	52	87
音楽会、映写会	5	630	690	1,320	16	3,400	2,450	5,850
保育後援会その他	5	15	255	271	27	240	130	370
町内各種団体及び組合関係集会	32	837	90	927	75	1,600	1,350	2,950
貯 金 奨 励	12	201	243	444	—	—	—	—
合 計	858	7,608	11,315	18,923	628	21,270	26,011	47,281

公 益 質 屋

本市では、庶民対象に現在2カ所を設置している。最近生計難により利用者は激増し、特に短期高利である民営質屋からの、転質利用者が目立つている。現在貸付資金は400万円程度を計上しているが、到底貸付申込に応じられない状態である。貸付額は1口1,000円以内、1世帯5,000円以内、利率月3分、流質期限4カ月である。本年度の貸付状況は次の通りである。

公益質屋貸付並びに弁済状況 (昭和26年中)

(公益質屋調)

東 公 益 質 屋							西 公 益 質 屋						
貸 付			弁 済				貸 付			弁 済			
件数	質物 点数	金 額	件数	点数	金 額		件数	質物 点数	金 額	件数	点数	金 額	
1 月		円			円		10	33	9,250	21	58	19,970	
2 月							9	35	10,200	18	56	21,400	
3 月	休業						41	109	46,500	34	102	43,415	
4 月							貸付中止			23	103	28,900	
5 月										12	47	13,900	
6 月							59	138	48,390	10	33	15,600	
7 月	160	240	73,700	—	—	—	107	277	80,400	11	35	11,700	
8 月	129	200	60,200	3	4	1,600	78	191	53,100	17	37	12,800	
9 月	92	229	70,050	18	55	15,050	80	203	60,750	37	146	25,750	
10 月	116	276	85,800	28	80	22,800	94	270	80,850	65	162	49,890	
11 月	152	336	127,200	92	212	74,650	99	262	102,500	91	222	66,550	
12 月	301	655	250,850	107	256	85,700	132	448	174,000	68	186	59,350	
合 計	950	1,936	667,800	248	607	199,800	709	1,966	665,940	407	1,187	369,225	

更生資金利用状況

(社会課調)

		申 込		決 定	
		件 数	金 額	件 数	金 額
昭和 25 年		322	5,115,000	50	4,285,000
〃 26 〃		391	9,160,000	269	4,850,000

診療所利用状況

(昭和26年中)

(社会課調)

	所在地	診 察 料		注 射 料		薬 価 料		処 置 料		手 数 料		合 計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
東診療所	尾長町	1,088	21,980	4,849	267,451	4,757	149,769	3,003	47,365	228	6,080	13,925	492,645
西 〃	福島町	3,045	71,980	4,144	218,392	7,324	302,095	4,065	77,385	1,365	39,280	19,655	699,092
喜生園〃	佐伯郡 観音村	153	5,922	314	16,977	2,256	45,002	155	3,672	1	20	2,879	71,593

保 健 衛 生

保健衛生の第一線業務を担当している保健所は、昭和25年2月市内中央部の富士見町に完成したが、本年1月不慮の火災により全焼した。しかし、業務は依然停滞することなく活発に行っており、近く現在地に鉄筋コンクリート建の庁舎を建設する。更に、明年度は西保健所を東観音町に建設することになっているので、公衆衛生の中核機関としての役割を積極的に果たことになるだろう。また、全額国庫負担により、市内基町に建設中の社会保険病院は、近く第1期工事を完成し、明春開院の運びとなっているので、文化都市にふさわしい市民の健康管理の確保に一段と役立つことになる。



↑ 国立広島病院

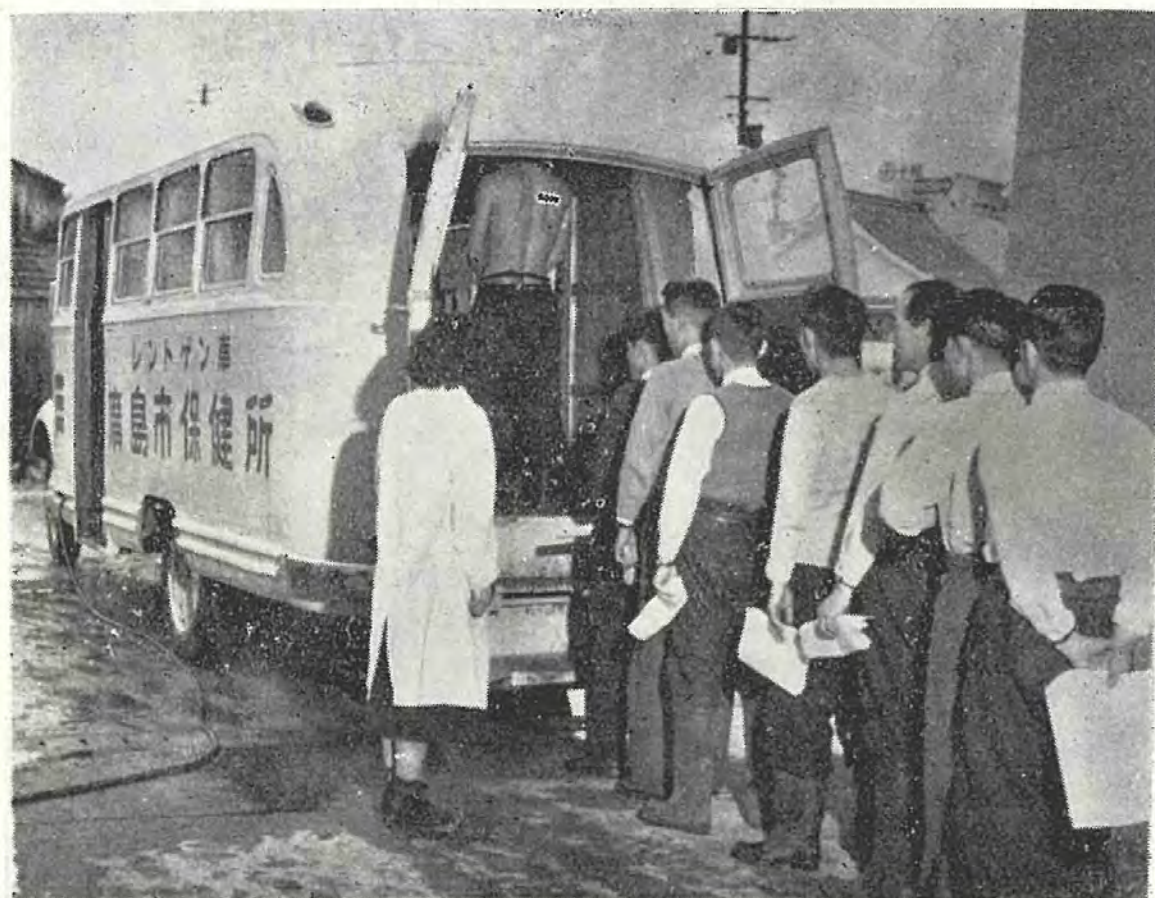


← 県立広島病院

↓ 日赤広島病院



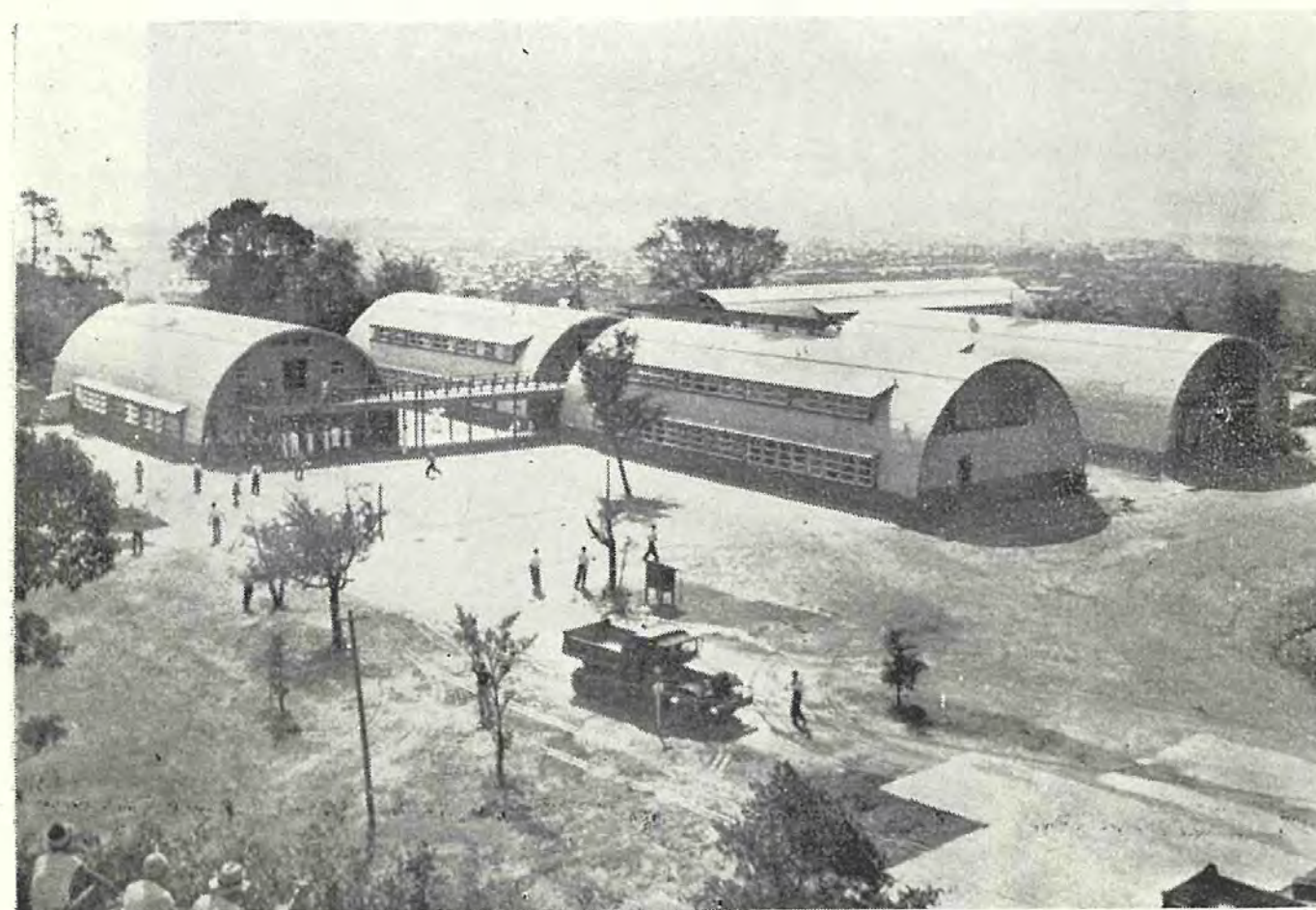
広島通信病院



市保健所のレントゲン車



市清掃車隊

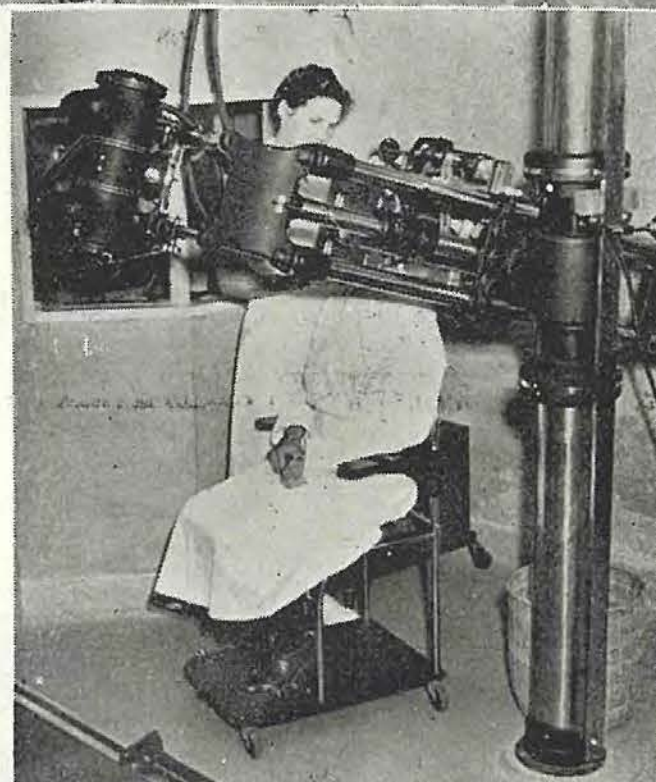
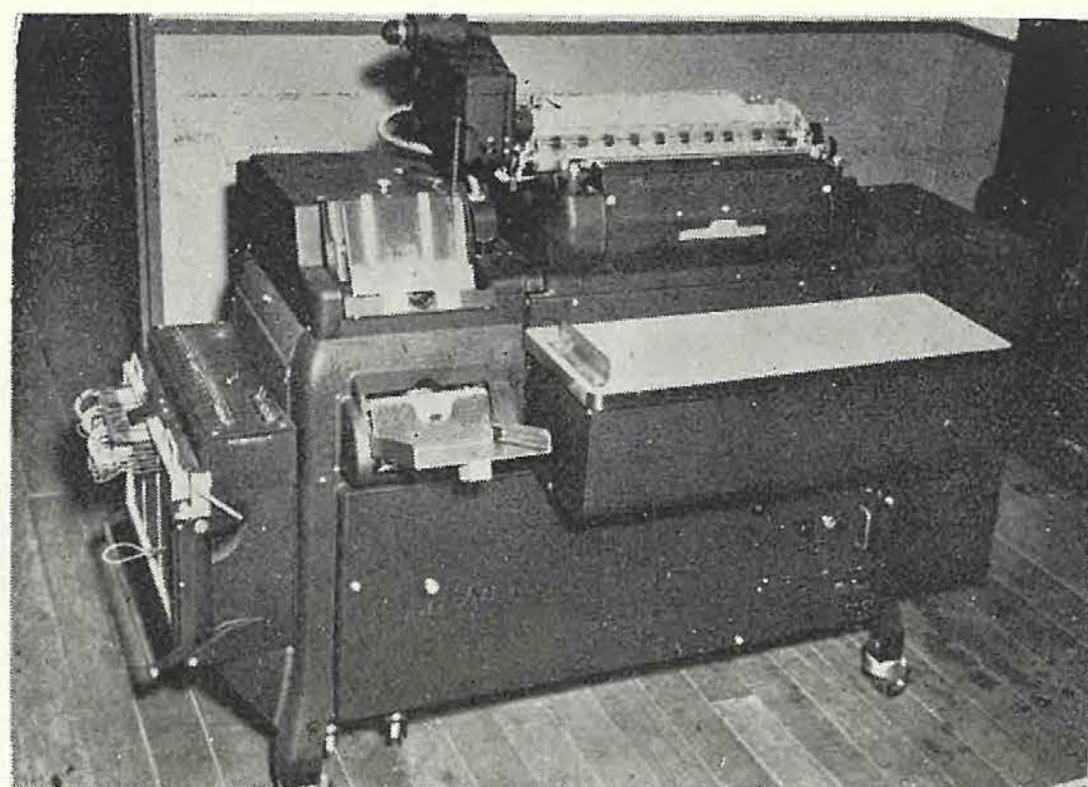


A・B・C・C・全景

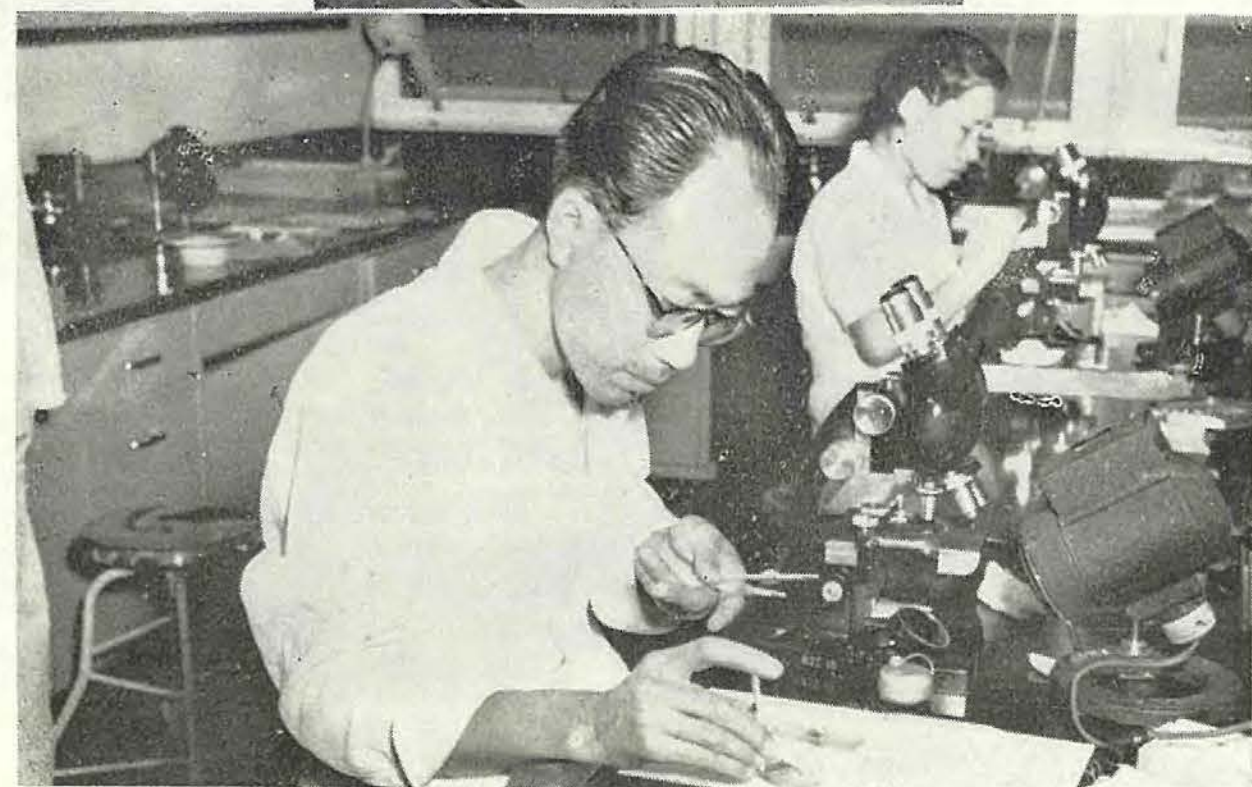


同受付及び待合室

統計機械



頭部のレントゲン撮影機



血液検査室

人口の増加に対処しての、清掃事業の内じんかい処理については、人員、車両を増強して市街の衛生美化に努め、その搬出量は、昨年に比べ2倍の実績を挙げた。また、し尿くみ取りは本年8月より作業を開始して、その拡充をはかっている。なお、伝染病予防、防疫対策として明年度モデル伝染病院を、建設するべく着々計画が進められている。

医療機関

市内医師、薬剤師、その他

医 区	歯科医師	薬剤師	保健婦	助産婦	看護婦	レントゲン技術者	栄養士	医療類似行為者	理容師	美容師
人 493	人 174	人 277	人 109	人 962	人 524	人 62	人 21	人 307	人 688	人 418

市内病院、薬局、その他

病 院	診療所	歯科診療所	薬 局	医薬品販売業者	助産所	施術所	理容所	美容所
43	283	151	125	278	163	307	343	192

主要病院一覧

診療科目	病 院 名	所 在 地	病床数	従 業 者 数							
				計	医師	歯科医師	薬剤師	保健婦	助産婦	看護婦	その他
結 核	県立井ノ口病院	草 津 南 町	57	49	人	3	人	1	人	11	人
伝染病	市立舟入	舟 入 幸 町	86	28	5	2	—	11	—	5	5
精神病	私立広島脳	白 島 西中町	35	8	1	—	—	4	—	1	2
一 般	国立広島	宇品町海岸通	251	147	15	3	—	59	10	29	31
〃	広島逓信	基 町	66	127	17	5	6	40	7	26	26
〃	広島鉄道	尾 長 町	179	181	33	5	1	68	9	29	36
〃	県立広島	宇品町3丁目	300	180	20	3	4	68	7	21	57
〃	広島赤十字	千田町1丁目	318	233	32	6	2	94	14	38	47
〃	記 念	油 屋 町	44	42	8	3	1	12	3	9	6
〃	広島造船所	南 鯉 香 町	75	83	12	3	3	34	9	16	6
〃	中 電	大手町7丁目	33	52	9	2	1	26	3	8	3

健康指導

妊産婦届出状況

(衛生課調)

年月別 区分	昭和 25年	昭和 26年 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
妊 婦 届	7,015	6,371	495	552	602	514	552	491	475	508	574	563	564	481
産 婦 届	37	46	—	—	1	4	9	9	2	10	6	5	—	—
合 計	7,052	6,417	495	552	603	518	561	500	477	518	580	568	564	481

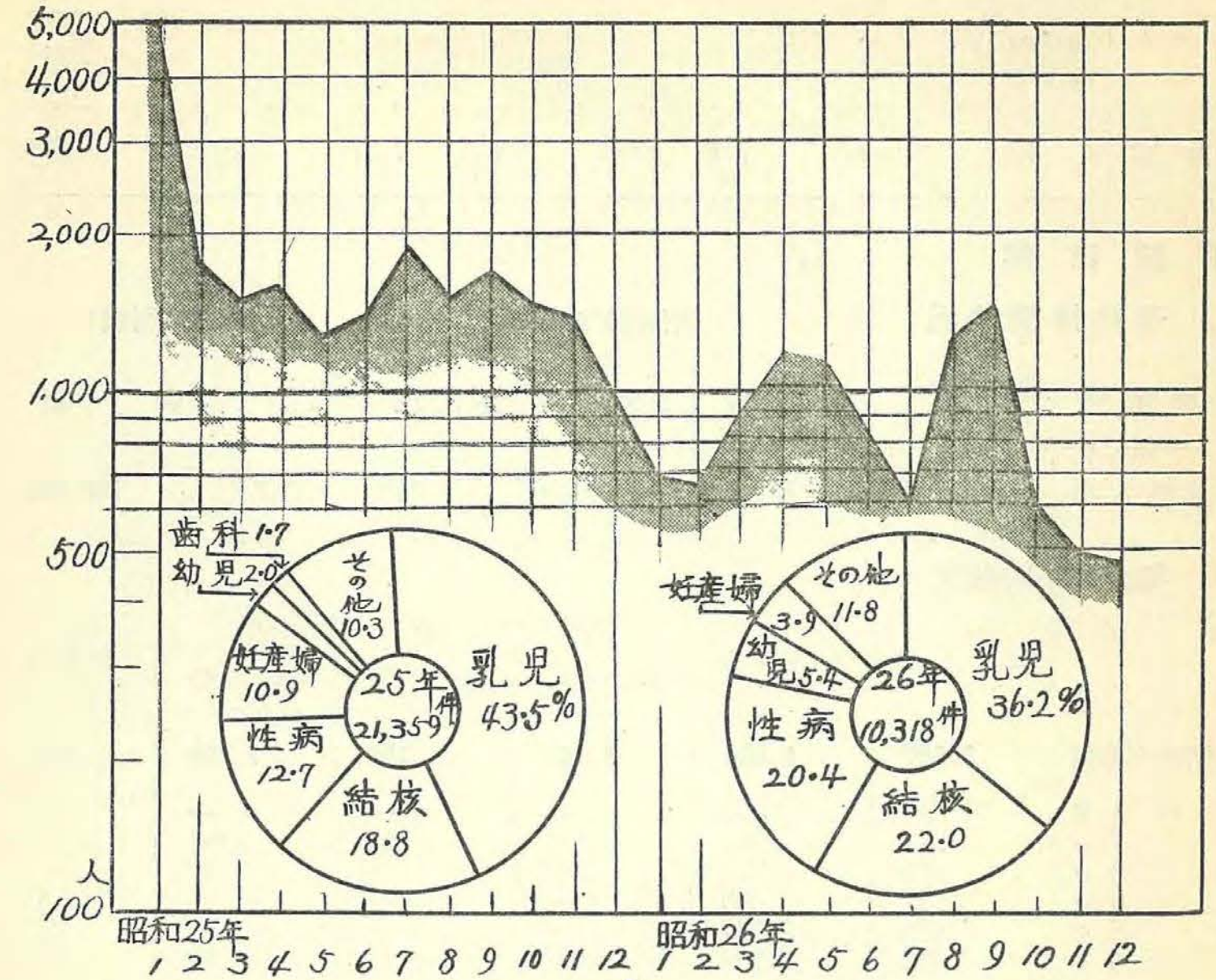
乳幼児検診による栄養状況

級 別 授乳別	合 計	級外	上	中	下	不良	摘 要
母 乳	3,466	461	478	1,022	1,033	472	第1期——25年9月1日より26年3月31日までの出生者1,984人を対象として5月より検診した。 第2期——24年10月1日より26年8月31日までの出生者2,764人を対象として9月より検診した。
混 合	812	51	156	127	287	191	
人 工	470	49	87	63	166	105	
計	4,748	561	721	1,212	1,486	768	
%	100	11.8	15.2	25.5	31.3	16.2	

乳幼児検診による疾病状況

	合 計	内 科	外 科	皮膚科	眼 科	訪問指導件数 (26年中)
疾 病 児 数	304	118	49	110	27	317
検診総数に対する 疾病保有率	6.4%	2.5	1.0	2.3	0.6	

月別健康相談件数



衛生教育

衛生教育実施状況

(保健所調)

	講演会及び映画会	講 習 会	展 示 会	印刷物配布
回 数	68	55	18	21種
参 加 人 員	27,669人	1,269人	190,654人	133,752枚

保健婦取扱件数

	結 核	性 病	歯 科	妊産婦	乳 児	幼 児	その他	計
合 計	33,303	2,324	90	414	4,892	564	1,230	42,817
健康相談件数	2,272	2,139	90	398	3,723	552	1,144	10,318
家庭訪問件数	31,031	185	—	16	1,169	12	86	32,499

医療社会事業取扱件数

	使用料 等減免	生活保護 法適用あ つ旋	社会保 健適用 あつ旋	関係施 設との 連絡	接触者 検診勧 奨	治療継 続勧奨	医療調査 及び生計 指導	合 計
件 数	33	9	1	119	13	72	68	315

予 防 事 業

予 防 接 種 状 況

(昭和26年中)

(保健所調)

接 種 別	腸チフス、 パラチフス	種 痘	ジフテリヤ	百日セキ	発 し ん チ フ ス	合 計
接 種 人 員	90,039 ^人	12,190 ^人	12,829 ^人	8,247 ^人	12,793 ^人	136,098 ^人

狂犬病予防状況

	登 録	予 防 注 射	捕 獲 犬			人的被害
			捕 獲	返 還	処 分	
昭和26年計	6,692	8,056	3,082	709	2,458	226
1 月	521	409	—	—	—	—
2 月	291	301	195	34	161	13
3 月	204	241	218	31	187	—
4 月	117	66	—	—	—	5
5 月	1,986	2,034	—	—	—	27
6 月	1,432	1,509	438	97	280	38
7 月	96	100	58	20	125	27
8 月	264	207	248	75	137	21
9 月	406	387	655	191	427	18
10 月	841	1,945	280	65	310	32
11 月	306	594	435	64	335	25
12 月	228	263	555	132	496	20

食 品 衛 生

食品業種月別営業許可件数

(保健所調)

業種別 年月別	合 計	飲食店	喫茶店	氷菓菓子 製造業	氷 雪 製造業	食 肉 販売業	魚介類 販売業
昭 和 25 年	463	336	53	27	24	12	11
「 26 年 計	1,349	838	196	106	72	33	104
1 月	49	32	2	—	—	4	11
2 月	55	41	—	3	—	5	6
3 月	56	43	1	—	2	3	7
4 月	64	36	9	9	1	2	7
5 月	123	75	25	16	—	4	3

6 月	239	139	27	8	57	—	8
7 月	178	91	42	34	4	2	5
8 月	162	60	70	22	5	4	1
9 月	70	33	5	14	1	2	15
10 月	137	126	3	—	2	1	5
11 月	70	62	4	—	—	3	1
12 月	146	100	8	—	—	3	35

備考 本表は、食品衛生法に基づく営業許可件数で、昭和25年は4月以降の件数である。

食品衛生法に基づく縣知事権限に対する営業取扱件数(昭和26年中)

業 種 別	件 数	業 種 別	件 数	業 種 別	件 数
合 計	422	かん詰食品業	3	魚肉練製品製造業	50
		びん詰食品業	3	加工水産物製造業	2
飲食店(旅館)	139	つくだ煮	8	加工水産物販売業	69
菓子製造業	52	牛乳処理業	5	魚介類行商業	3
清涼飲料水業	26	乳製品製造業	12	かき営業	21
保存飲料水業	12	類似 〃	1	へい獣処理場	1
氷雪採取業	13	魚介類市場営業	2		

食中毒発生状況

(昭和26年中)

発生月日	発生場所	り患 者数	死亡 者数	原 因 食 品	原 因 物 質	摘 要
2 月10日	広島市内	1	—	不明	不明	特異体質?
5 月10日	〃	1	—	アサリ貝?	〃	〃
7 月23日	〃	30	—	焼たい、ハモ(折詰)	サルモネラ菌(?)	
7 月25日	〃	25	—	エビ、マンサク(折詰)	〃 (?)	
8 月7日	〃	26	—	揚半	〃 (?)	

清 除 事 業

じんかい処理状況

(衛生課調)

区 分	しゅう集延人員	しゅう集延戸数	搬 出 量	じんかい箱備付数
昭 和 25 年	9,706 ^人	54,192 ^戸	811,944 ^貫	29,797 ^個
「 26 年	20,969	193,942	1,629,388	34,287

し尿処理状況 (昭和26年8月～12月)

区 分	しゅう集 延 人 費	延 戸 数			延 石 数		
		計	無 料	有 料	計	無 料	有 料
昭和 26 年	人 688	戸 1,629	戸 980	戸 649	石平 3,287.6	石 2,426.0	石 861.6

備考 無料は、公共営造物及び災害浸水家屋の処理を示す。

そ族、こん虫駆除薬剤使用状況 (昭和26年中)

消 毒 箇 所	件 数	面 積	使 用 薬 剤	摘 要
社会事業施設	568	75,925m ²	D.D.T油剤 1,455gal D.D.T粉剤 2,069kg 除虫菊乳剤 6,216 l	指導件数 51,990 指導戸数 37,031 指導人員 45,701 捕そ数 8,634
公衆便所	817	11,873 〃		
下水、沼	1,268,384m	188,196 〃		
じんかい集荷所	—	20,700 〃		
人体さん布	30,380	—		

衛生統計

人工妊娠中絶及び精神傷患者収容取扱件数 (昭和26年中)

月 別	計	1月	2〃	3〃	4〃	5〃	6〃	7〃	8〃	9〃	10〃	11〃	12〃
区 分													
人口妊娠中絶	2,009	50	127	173	162	237	196	189	216	154	159	180	166
精神傷患者	26	—	3	4	3	—	5	2	2	2	3	—	2

年令別死亡者数

性 別	年 令 別 合 計	0才	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	不詳
		4才	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	以上	
男	1,295	217	34	13	34	52	61	43	52	64	76	85	105	109	94	126	66	41	12	11
女	1,091	205	21	19	31	48	54	35	44	48	45	60	76	56	67	85	96	46	50	5
計	2,386	422	55	32	65	100	115	78	96	112	121	145	181	165	161	211	162	87	62	16
%	100	17.7	2.3	1.3	2.7	4.2	4.8	3.3	4.0	4.7	5.1	6.1	7.5	6.9	6.8	8.8	6.8	3.7	2.6	0.7

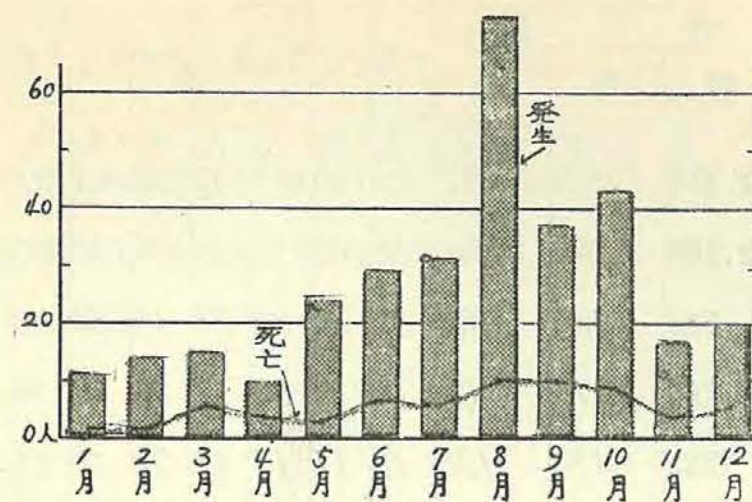
原因別、月別、死亡者数

(昭和26年中)

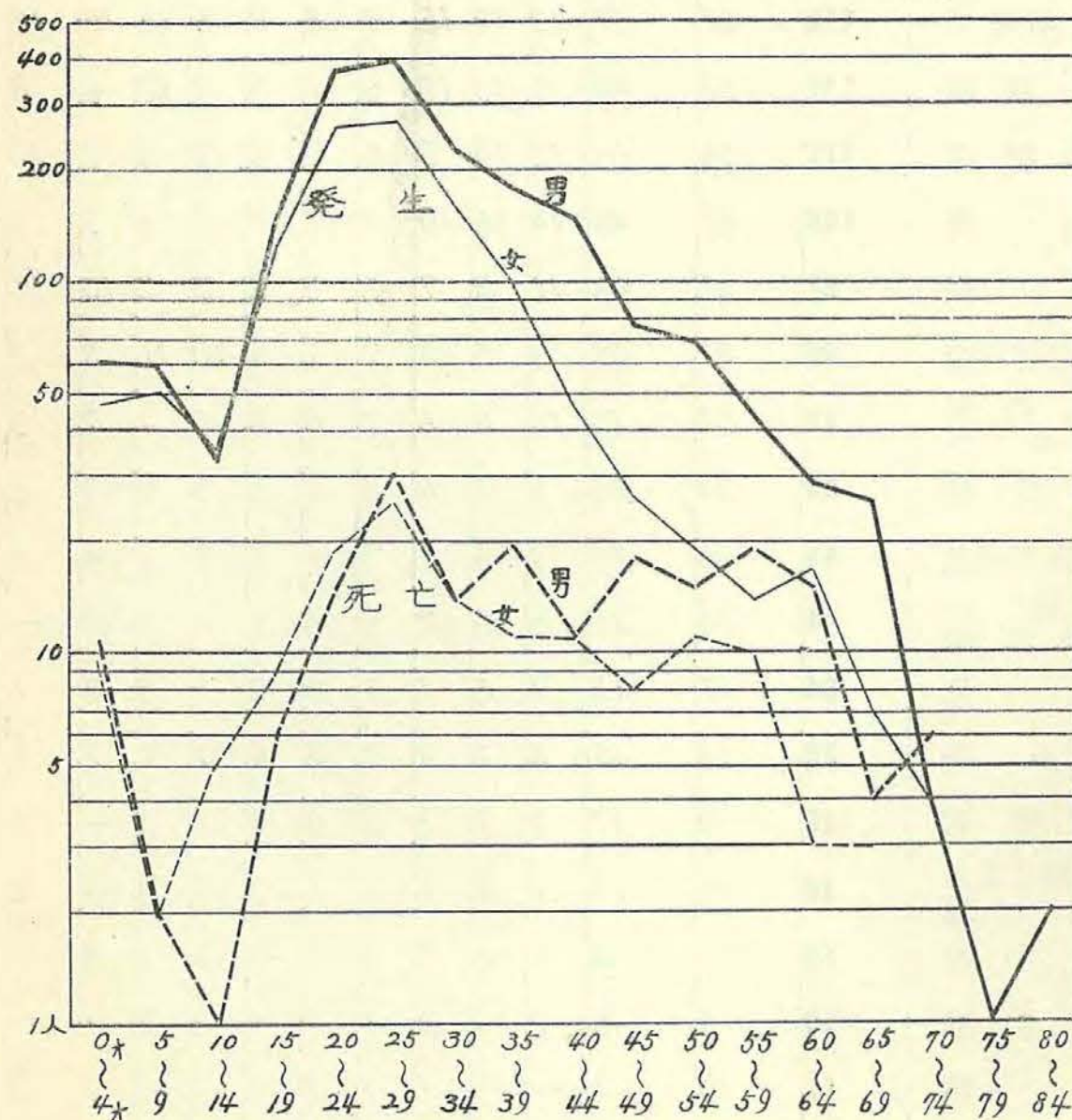
(保健所調)

	合 計			1月	2〃	3〃	4〃	5〃	6〃	7〃	8〃	9〃	10〃	11〃	12〃
	計	男	女												
昭和 25 年	2,310	1,213	1,097	191	190	191	193	188	168	187	187	176	182	195	262
〃 26 〃	2,386	1,295	1,091	236	198	198	185	184	177	202	218	184	197	193	214
全 結 核	333	189	144	31	26	30	23	19	37	30	33	28	23	24	29
不慮の事故、中毒	264	176	88	19	15	30	17	25	18	28	26	13	31	15	27
新 生 物	253	133	120	18	17	13	19	22	19	25	28	25	36	12	19
中枢神経系傷	234	114	120	20	15	19	21	14	14	23	18	17	19	32	22
の血管損傷															
老 衰	152	55	97	21	14	10	16	10	12	9	13	12	8	17	10
胃及び十二指腸炎	118	61	57	10	10	15	8	8	8	6	12	10	10	13	8
循環器の疾患	111	63	48	9	10	10	6	11	5	9	10	8	8	7	18
新生児の疾患	111	56	55	15	14	8	6	9	3	13	5	7	11	7	13
肺 炎	108	62	46	14	16	10	9	9	8	7	6	7	2	10	10
じ ん 炎	91	45	46	11	8	7	6	5	2	3	3	10	11	13	12
診断不適當及び不明	90	47	43	9	5	3	7	7	9	10	11	8	7	8	6
胃反十二指腸	72	57	15	10	8	5	7	6	3	5	4	2	6	9	7
かい よ う															
法定伝染病	56	24	32	1	1	4	3	2	6	5	9	9	8	3	5
その他の神経系疾患	44	26	18	9	4	1	3	1	3	6	5	4	2	3	3
その 他 の	44	19	25	5	3	2	5	6	1	4	6	5	—	3	4
消化器系疾患															
ぜ ん 息	34	21	13	7	5	2	1	5	2	1	3	3	1	2	2
気 管 支 炎	29	16	13	4	3	4	1	3	4	2	1	2	1	2	2
届出伝染病	25	8	17	3	2	3	3	3	4	2	3	—	1	—	1
妊婦分べん産じよく	17	—	17	1	2	1	1	1	3	2	3	—	2	—	1
疾 患															
梅 毒	15	11	4	1	—	1	5	2	—	—	1	3	2	—	—
先 天 性 き 形	15	9	6	2	—	4	1	—	—	3	2	1	—	—	2
糖 尿 病	11	10	1	—	—	1	1	1	1	—	—	1	2	2	2
寄 生 虫	6	4	2	—	2	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1
その他性尿器疾患	5	4	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	1	1	1
その 他 の 疾 患	148	85	63	16	18	13	16	15	15	8	16	8	5	9	9

法定傳染病月別發生



結核はどんな年令に多くどんなに死ぬるか



法定傳染病月別發生患者数

病名別	年月別	昭和25年	昭和26年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		205	324	11	14	15	10	24	29	31	73	37	43	17	20
日 本 脳 炎		16	7	—	—	—	—	—	—	—	2	5	—	—	—
流 脳		6	7	—	—	1	—	2	—	—	1	2	—	1	—
しよゝ紅熱		17	21	—	2	2	—	4	4	1	3	1	—	2	2
ジフテリヤ		29	32	5	7	5	—	3	—	1	—	—	—	4	7
腸チフス		25	31	3	1	—	1	4	12	2	2	2	1	—	3
パラチフス		31	19	1	1	2	4	3	3	—	2	1	—	—	2
赤 痢		59	148	2	—	4	2	8	4	21	54	17	27	5	4
疫 痢		22	59	—	3	1	3	—	6	6	9	9	15	5	2

死亡者埋火葬許可取扱件数

(衛生課調)

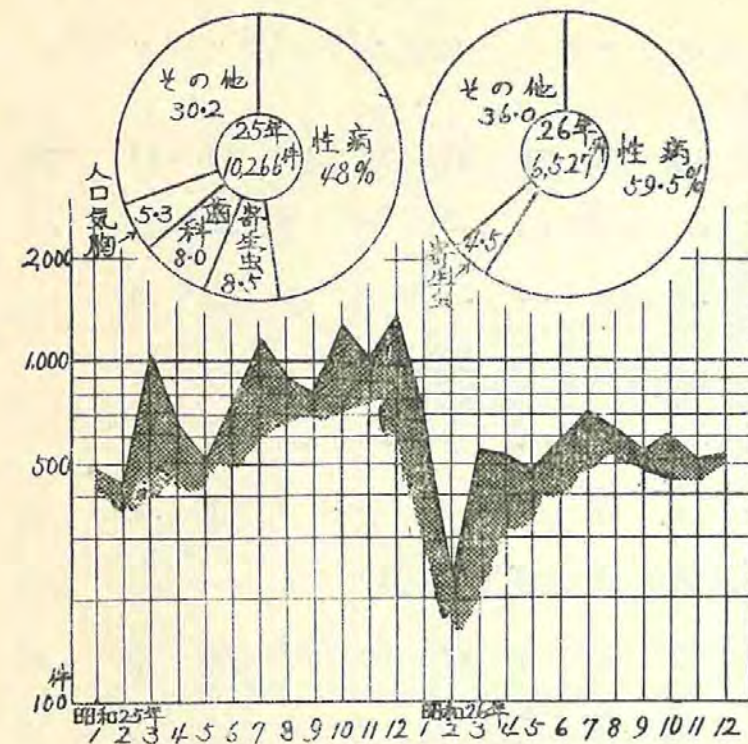
年月別	昭和25年	昭和26年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
区 分														
合 計	3,206	3,241	318	280	270	252	249	240	266	290	250	285	257	284
死 産	916	954	87	85	86	73	85	70	80	80	66	98	74	70
死 亡	2,290	2,287	231	195	184	179	164	170	186	210	184	187	183	214

と 殺 頭 数

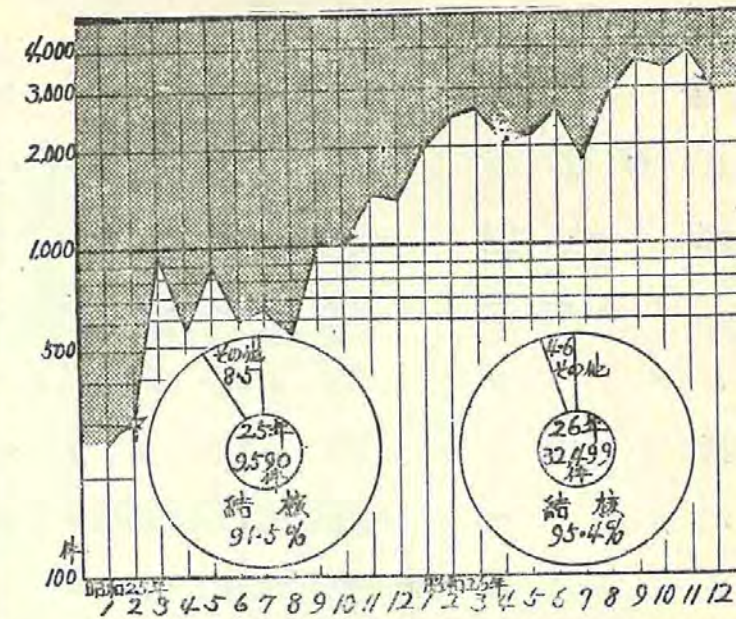
(と場調)

年月別	昭和25年	昭和26年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
区 分														
合 計	15,693	11,111	714	899	1,020	741	614	766	1,011	1,077	873	888	978	1,530
牛	11,773	7,575	511	673	741	504	392	555	724	815	595	588	587	890
こゝし	301	839	20	19	65	45	34	54	79	72	85	96	102	168
馬	426	617	41	52	55	46	45	32	43	54	61	51	70	67
豚	3,193	2,080	142	155	159	146	143	125	165	136	132	153	219	405

患者治療件数



保健婦訪問指導件数



舟入病院収容患者及び轉歸数

(舟入病院調)

区 分	前期より 越 人 員	本 期 中 収 容 人 員	転 帰		未 治	治 療 延 日 数	收容人員 に対する 死 亡 率	1 人平均 治療日数
			治 療	死 亡				
昭和 24 年	8	168	152	16	8	3,660	9.1	20.8
25 年	8	191	174	22	3	3,802	11.1	19.1
26 年	3	296	259	29	11	5,638	9.7	19.0
日本脳炎	—	6	3	3	—	87	50.0	14.5
流行性脳脊髄膜炎	—	7	4	3	—	216	42.8	30.8
ジフテリヤ	—	21	19	1	1	405	4.7	19.2
腸チフス	3	34	29	5	3	555	14.7	15.0
パラチフス	—	34	26	7	1	850	20.5	25.0
赤痢	—	18	15	2	1	445	11.1	22.5
赤痢	—	136	128	4	4	2,459	2.9	18.8
赤痢	—	40	35	4	1	621	10.0	15.5

A. B. C. C. (Atomic Bomb Casualty Commission=原爆傷害調査委員会)

1. 目 的

広島及び長崎両市民の間に、原子爆弾の放射能が果して永年にわたり、人体にどのような影響をもたらすか否かを、科学的に調査研究することを目的としている。

2. 機 構

昭和 21 年 11 月アメリカ大統領の指令により、米国学術研究会議が実地調査団体として設立したものであつて、日本側からは昭和 23 年 1 月厚生省の国立予防衛生研究所が、この事業

に協力しており、費用の大部分は原子力委員会から支出されている。

広島と長崎に調査施設があり、東京に連絡事務所がある。広島の調査施設は暫定的に宇品町に設置していたが、昭和 25 年 12 月以降統計調査関係を除いて比治山のカマボコ型の新館に移転して診療している。なお市内には 5 カ所の連絡出張所を持つている。

職員の構成は昭和 26 年 7 月 10 日現在次表の通りであるが、12 月 10 日現在には広島市に 675 人 (日本人 590、外人 85)、長崎市 245 人、東京連絡所 6 人となつている。

	合 計	日 本 人	外 人
医 師	95	74	21
看 護 婦	66	61	5
技 術 関 係 職 員	62	51	11
事 務 関 係 職 員	729	646	83
合 計	952	832	120

3. 事業内容

調査の対象として診察される者は、予め指定された日時に自動車で送迎されて、現代世界医学の最高設備を有する A. B. C. C. で精密な胸部の立体レントゲン検査、血液検査、尿検査、寄生虫検査等を受けている。また児童の場合には、更に詳細な骨かくのレントゲン検査、口こら検査、身長、体重、その他の計測等も併せ行つている。この総合診察結果は本人にも通知すると共に、かかりつけの医師に連絡をとり治療上の参考に供している。

また随時行われる臨床講演会、研究発表会及び教育プログラムを通じて、市内の各医師との意見交換を行うと共に、15,000 冊に及ぶ医学図書館を開放している。

1 大 人

当市に現在居住している原爆生存者の健康が、現在及び将来どんな影響を受けるか、また調査の正確を期するために、原爆の放射能を全然受けなかつた者に対しても、被爆者と同様の精密な医学的調査を行い比較対照している。

2 子 供

本市で育つている子供の成長、發育状態を調査するために定期的診察を行つている。

3 遺伝学的調査

原爆以後当市で生れた赤子全部につき、医師と看護婦が家庭訪問して診療している。

交 通

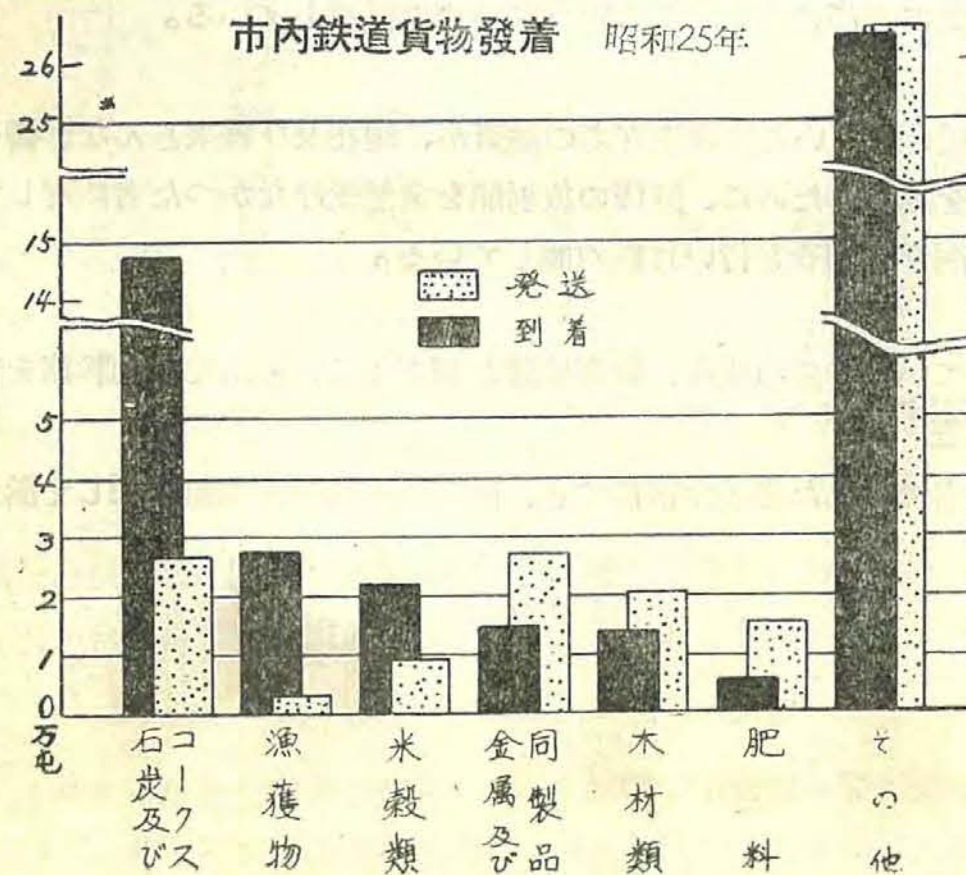
市 内 の 交 通

終戦後の交通不便は、昭和24年頃から著しく改善され、秩序立つて来たが、昭和25年に至り一段と車両の整備、サービスの向上がはかられた。即ち従来の広島電鉄、国鉄においては、運転台数の増加、新車両の配備を行い、新規の交通機関としては広島バス（市内）、一畑バス（広島一松江）、合同バス、防長バス、広島郊外バス、芸陽バス等の運行が開始された。更に本年は呉市営バスの乗り入れがあり、各社の誇る大型快適バスが、猛烈な顧客争奪戦を演じ、まさにバス交通時代を出現している。

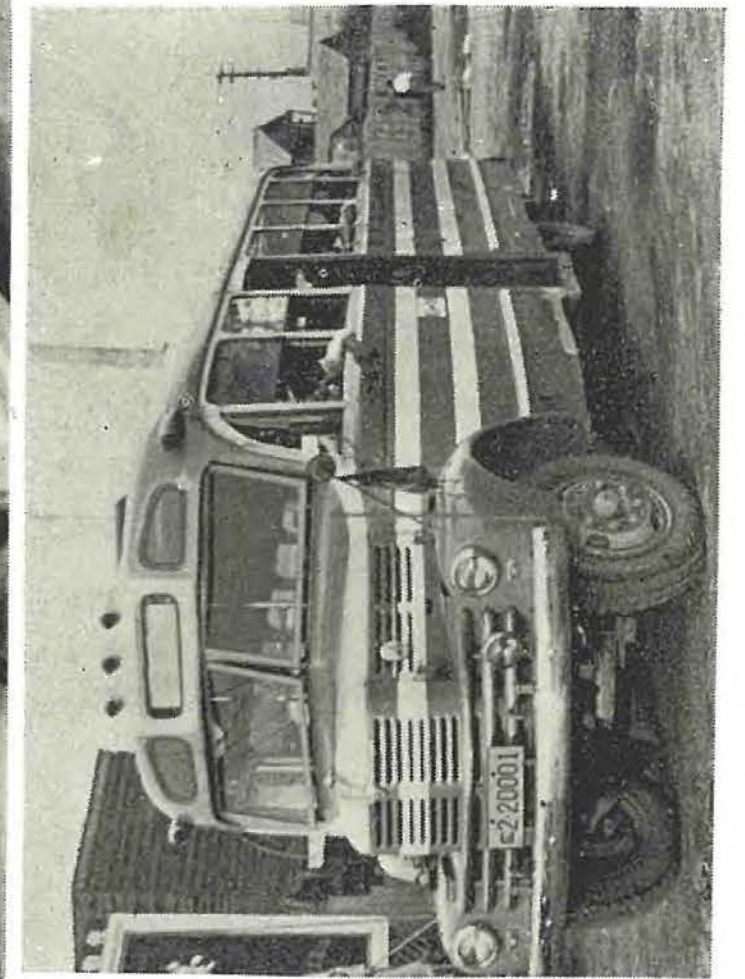
特に、広島一呉間のバスの運行率は、全国一を誇る程の交通量があり、その他、鉄道、電車線に併行して走るバス路線は、何れも乗客をバスに吸収している現状である。

国鉄主要駅別貨物発着トン数 (単位=トン) (国鉄調)

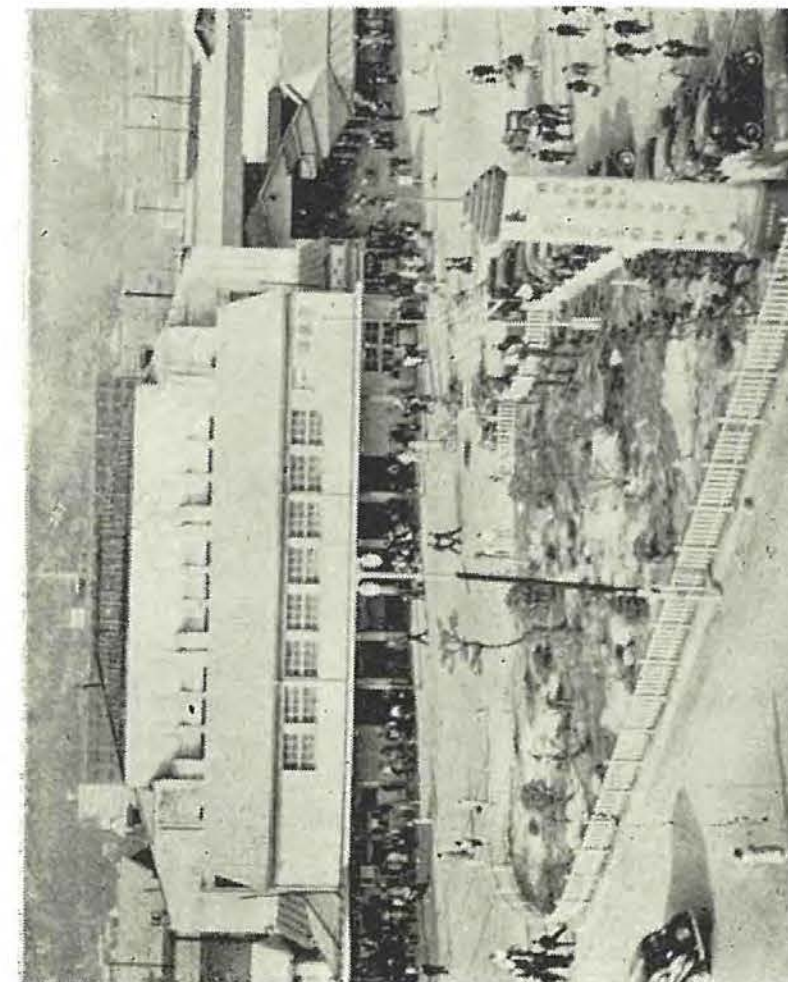
区 分 年度及び月別	発 送 ト ン 数					到 着 ト ン 数				
	広 島	横 川	己 斐	宇 品	計	広 島	横 川	己 斐	宇 品	計
昭和23年度	492,508	30,483	46,097	114,233	683,321	496,621	105,742	58,768	57,516	718,647
〃 24〃	335,187	30,758	50,655	109,141	525,742	516,606	64,351	78,790	55,066	724,813
〃 25〃 ^{4月-12月}	262,838	22,973	37,997	41,455	365,263	380,150	39,633	57,805	45,139	522,727
〃 26〃 ^{4月-12月}	273,604	24,970	47,969	50,022	396,565	398,862	53,299	80,664	29,337	562,162
4月	27,133	2,629	4,462	3,872	38,096	41,466	6,824	9,088	4,625	62,003
5〃	29,286	2,700	4,846	5,739	42,571	43,619	5,889	8,221	4,792	62,521
6〃	29,018	2,711	5,127	5,371	42,227	39,232	5,129	7,398	3,273	55,032
7〃	31,817	2,611	6,142	6,517	47,087	37,554	5,295	7,179	2,370	52,398
8〃	31,235	2,829	5,598	7,653	47,315	42,357	6,026	7,644	2,116	58,143
9〃	30,972	2,729	5,163	7,581	46,445	45,252	5,595	9,206	2,417	62,470
10〃	28,352	2,911	5,861	4,316	41,440	47,147	6,147	11,094	2,333	66,721
11〃	31,767	2,815	5,633	5,672	45,887	52,197	5,790	9,760	3,016	70,763
12〃	34,024	3,035	5,137	3,301	45,497	50,038	6,604	11,074	4,395	72,111



赤バス (広島バスK・K)



青バス (広島電鉄K・K)



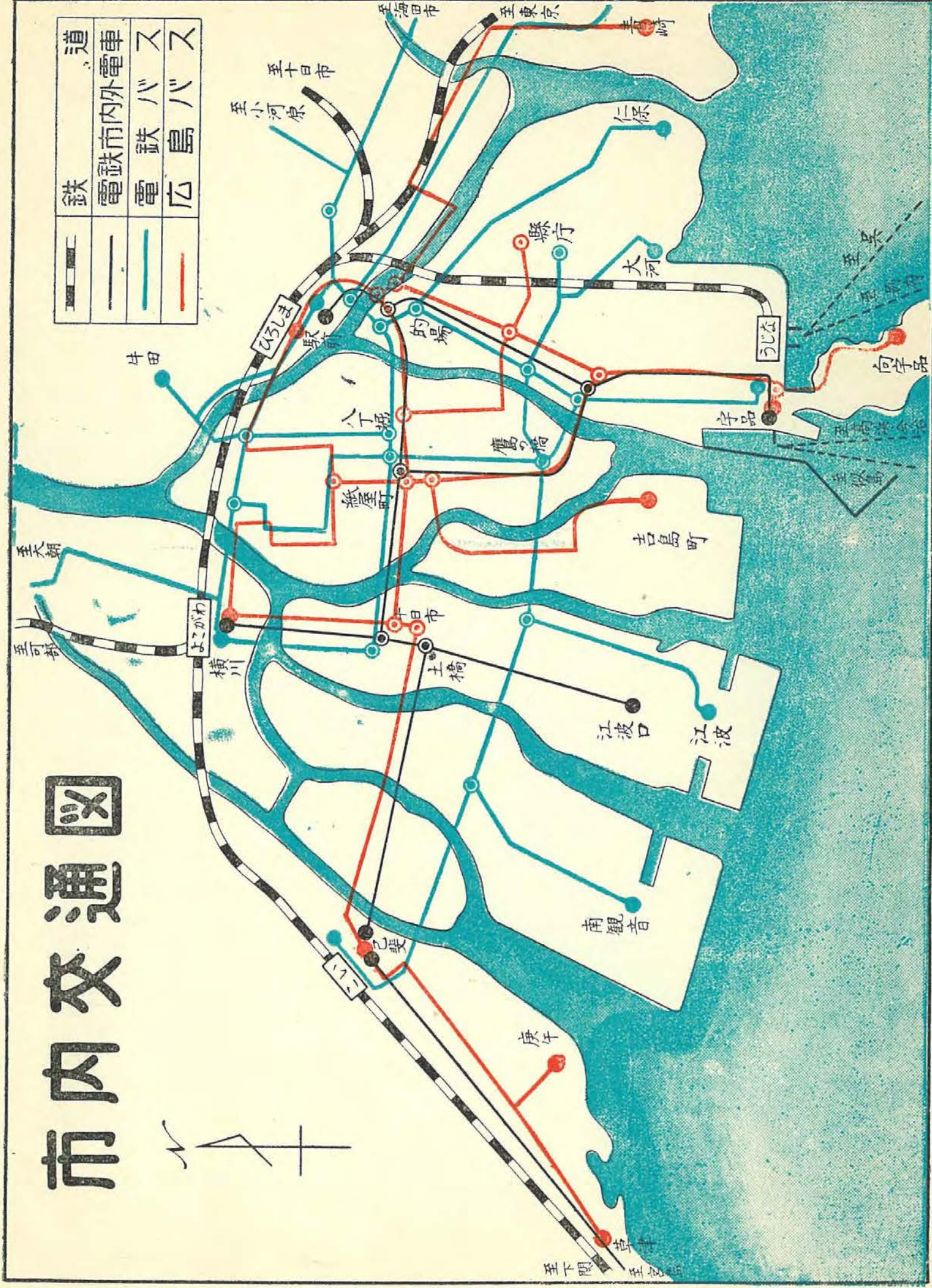
広 島 駅 (国鉄)

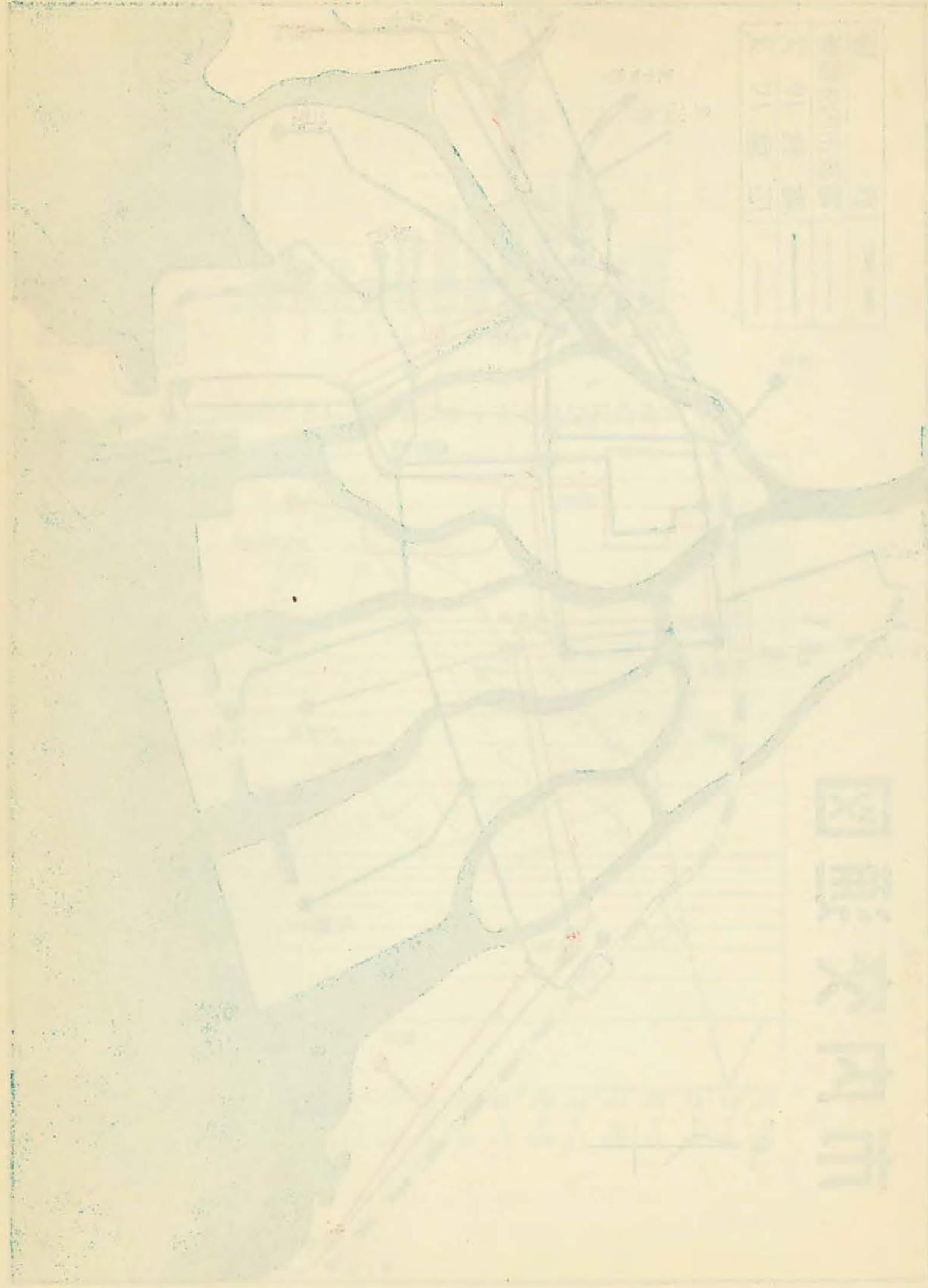


市内路面電車

市内交通図

鐵	道
電	鉄市内外電車
電	鉄バス
広	島バス





國有鐵道市内各駅1日平均乗降客数

年 月 別	各 線 別	山陽本線		可部線		芸備線		宇品線			合 計
		横川	己斐	横川	三滝	矢賀	大須口	南段原	上大河	下大河	
昭和23年	乗	36,781	3,525	422	422	1,640	870	894	7,979	4,505	71,176
"24"	乗	31,469	2,819	389	389	2,134	853	779	7,968	3,805	62,335
"25"	乗	29,402	2,527	290	290	1,511	776	868	4,978	1,108	51,692
"26"	降	27,631	2,357	263	263	927	686	884	4,358	1,022	47,510
"27"	降	24,513	2,415	269	269	901	678	887	4,388	1,046	44,167
1月	乗降	27,157	2,348	243	243	963	631	906	4,269	956	48,651
2月	乗降	23,926	2,402	246	246	952	640	917	4,360	1,018	43,324
3月	乗降	27,567	2,251	261	261	974	619	957	3,996	994	47,013
4月	乗降	24,536	2,305	265	265	961	620	966	4,085	1,032	43,889
5月	乗降	28,667	2,473	275	275	902	626	731	4,574	921	48,724
6月	乗降	25,340	2,527	280	280	880	630	737	4,653	954	45,210
7月	乗降	29,874	2,543	278	278	982	743	876	5,014	1,018	51,482
8月	乗降	26,332	2,576	281	281	953	731	863	5,087	1,043	47,724
9月	乗降	29,383	2,500	264	264	1,005	779	911	4,593	1,038	50,534
10月	乗降	26,978	2,565	274	274	979	772	905	4,626	1,053	47,981
11月	乗降	27,721	2,311	258	258	1,008	750	944	4,651	1,087	48,089
12月	乗降	24,631	2,329	267	267	984	746	970	4,628	1,094	44,708
	乗降	26,705	2,362	289	289	941	709	962	4,709	973	47,048
	乗降	24,142	2,376	295	295	896	697	950	4,628	973	44,071
	乗降	26,538	2,310	269	269	715	716	802	4,029	854	45,496
	乗降	23,030	2,356	271	271	663	687	791	4,028	860	41,592
	乗降	27,131	2,392	262	262	942	705	928	4,379	1,193	47,213
	乗降	23,597	2,407	268	268	905	694	942	4,434	1,220	43,388
	乗降	28,956	2,536	263	263	969	741	921	4,384	1,188	49,557
	乗降	25,364	2,537	268	268	939	723	924	4,404	1,215	45,559
	乗降	25,941	2,266	255	255	862	610	879	4,364	1,082	44,940
	乗降	23,422	2,567	260	260	851	590	871	4,389	1,105	42,500
	乗降	25,931	1,997	237	237	862	601	795	4,186	966	44,264
	乗降	22,863	2,025	246	246	846	596	806	4,203	992	40,935

備考 1. 昭和23.24.25年は乗客数のみである。
2. 定期券利用の乗降者を含む。

広島駅を中心とした定期旅客の乗車人員 (昭和26年5月現在)

発着	広島駅	山陽本線 西条方面	呉線方面	芸備線 方面	宇品線 方面	可部線 方面	山陽本線 岩国方面	廣 合 計
広島駅	—	9,518	5,849	5,865	1,613	1,345	3,627	27,817
山陽本線 西条方面	799	—	44	361	347	319	501	2,371
呉線方面	665	105	—	50	147	85	182	1,234
芸備線方面	172	137	166	—	53	44	96	668
宇品線方面	1,476	2,755	1,616	1,523	—	82	2,164	9,616
可部線方面	48	55	24	59	37	—	148	371
山陽本線 岩国方面	302	501	335	284	130	173	—	1,725
発 合 計	3,462	13,071	8,034	8,142	2,327	2,048	6,718	43,802

電 車 乗 客 数

(広島電鉄株式会社調)

年 月 別	線 別 区 分	市 内 線						市 外 線 (宮島線)					
		運延 台 数	走 延 行 数	乗 客 数		運延 台 数	走 延 行 数	乗 客 数		運延 台 数	走 延 行 数	乗 客 数	
				定 期 外	定 期			定 期 外	定 期			定 期 外	定 期
昭和21年度		8,942	13,357	303,320	23,887,185	4,078,980	4,649	865,767	9,985,533	3,699,750			
22 "		2,294	3,357	212,259	40,083,973	8,749,660	5,406	1,037,912	10,654,439	2,830,596			
23 "		2,549	20,864	3,297	019,355	812,967	15,865,931	5,860	1,176,734	7,645,464	3,423,818		
24 "		2,527	27,764	4,042,681	32,166,497	14,829,780	6,591	1,242,054	5,475,907	4,229,053			
25 "		2,487	27,711	4,042,516	29,957,671	14,564,880	6,715	1,251,695	5,150,737	4,197,232			
26 "		29,827	4,544,822	27,491,826	12,687,300	7,345	1,364,651	5,095,659	3,882,930				
1 月		2,527	379,397	2,244,988	1,281,300	590	113,557	405,024	353,970				
2 "		2,294	344,271	1,947,859	713,100	549	102,843	317,630	300,740				
3 "		2,549	379,935	2,565,152	990,960	604	118,010	432,554	265,080				
4 "		2,527	391,754	2,705,745	1,171,380	612	121,282	505,143	389,080				
5 "		2,576	396,601	2,544,867	1,207,320	633	118,778	451,744	336,300				
6 "		2,500	380,963	2,235,001	1,138,380	599	112,443	367,456	290,640				
7 "		2,541	391,031	2,381,615	1,037,460	626	119,041	568,922	220,740				
8 "		2,487	392,724	2,899,300	1,047,120	615	119,517	437,355	281,340				
9 "		2,415	367,348	2,150,791	1,376,640	599	108,258	409,937	357,780				
10 "		2,503	375,635	2,225,529	1,069,080	645	111,385	453,596	355,320				
11 "		2,412	364,869	1,774,371	821,160	633	106,994	347,351	397,860				
12 "		2,496	380,294	1,815,608	833,400	640	112,543	398,947	334,080				

國鉄バス乗客数

(国鉄調)

年 月 別	線 別 区 分	廣 島 線			安 芸 線		
		運 延 台 数	走 行 延 行 数	乗 客 数	運 延 台 数	走 行 延 行 数	乗 客 数
昭和26年 1 月		611	83,602	104,988	1,054	150,764	424,860
2 "		535	75,120	95,087	919	133,750	379,701
3 "		577	84,122	106,926	1,062	149,722	455,440
4 "		601	82,838	111,077	1,066	150,934	493,529
5 "		626	86,721	108,285	1,032	100,745	493,571
6 "		568	79,742	93,015	1,020	145,821	461,741
7 "		581	82,742	105,822	997	150,534	498,428
8 "		603	84,261	116,612	1,035	150,997	548,160
9 "		579	80,812	112,209	1,106	162,114	526,990
10 "		614	85,946	135,770	1,125	187,396	657,647
11 "		557	84,829	97,843	1,023	170,241	416,048
12 "		593	85,975	102,147	1,126	179,332	472,919
合 計		7,045	996,710	1,289,781	12,565	1,832,340	5,829,034

広島電鉄バス乗客数

(広島電鉄調)

年 月 別	線 別 区 分	市 内 線					市 外 線				
		運 延 台 数	走 行 延 行 数	乗 客 数		運 延 台 数	走 行 延 行 数	乗 客 数			
				定 期 外	定 期			定 期 外	定 期		
昭和21年	台	料	人		台	料	人				
22 ㇿ	2,969	289,617	1,780,908	4,402	1,124,170	1,999,099					
23 ㇿ	3,709	307,983	1,537,439	5,324	1,423,216	2,082,005					
24 ㇿ	2,953	301,904	1,247,843	6,164	1,683,559	2,111,578					
25 ㇿ	5,875	524,654	2,311,418	7,701	2,414,084	3,280,123					
26 ㇿ	17,792	2,196,733	8,074,183	503,250	20,816	2,422,395	2,734,115	75,152			
1 月	22,068	3,158,249	11,814,527	1,910,483	24,814	3,237,784	4,139,924	170,282			
2 ㇿ	1,704	233,740	815,476	114,780	1,984	235,184	273,635	18,427			
3 ㇿ	1,682	217,061	793,433	118,740	1,917	213,071	284,779	12,645			
4 ㇿ	1,681	236,173	925,908	111,060	1,992	253,757	337,197	10,004			
5 ㇿ	1,680	231,425	979,663	145,440	2,034	261,285	365,006	12,480			
6 ㇿ	1,734	241,964	986,375	160,080	2,089	283,455	332,575	14,340			
7 ㇿ	1,705	241,964	986,922	165,360	2,010	278,950	278,950	14,160			
8 ㇿ	1,822	259,127	985,947	173,780	2,120	282,747	350,064	13,020			
9 ㇿ	1,952	279,573	1,224,460	35,383	2,248	303,577	475,524	8,880			
10 ㇿ	1,942	281,737	1,065,932	165,660	2,170	290,347	390,117	17,820			
11 ㇿ	2,072	315,597	1,146,102	215,440	1,970	262,572	372,569	12,700			
12 ㇿ	2,019	308,846	941,083	128,580	2,014	270,390	322,805	23,206			
12 ㇿ	2,075	311,042	1,053,218	376,180	2,266	302,449	356,703	12,600			

備考 バス総数158台

広島電鉄バス市内線路線別距離

線 名	区 間	料 程	線 名	区 間	料 程
淵崎線	広島駅～杵木	4.75	横川線	横川～県庁	6.20
県庁線	〃～県庁	3.20	己斐線	己斐～旭町	7.80
牛田線	〃～牛田	2.60	己斐線	己斐～旭町	4.35
横川線	広島駅～白島	3.00	己斐線	己斐～旭町	4.15
鷹野橋線	鷹野橋～牛田	4.70	己斐線	己斐～旭町	7.90
新庄線	新庄～八丁堀	5.75			

広島電鉄バス市外線路線別距離

線 名	区 間	料 程	線 名	区 間	料 程
呉線	紙屋～呉	31.5	奥畑線	広島～奥畑	20.3
矢野線	〃～矢野	11.0	久日市線	〃～久日市	45.6
府中線	広島駅～府中	4.0	上水内線	〃～本多田	45.3
熊野線	〃～熊野	20.6	打尾谷線	〃～打尾谷	46.3
小河原線	鷹野橋～小河原	17.6	湯来線	〃～湯来	39.8
大朝線	広島～大朝	64.8	三次線	〃～三次	71.2
出羽線	〃～出羽	68.1	三次線	〃～吉田	45.5
南方線	〃～南方	78.9	生田線	〃～生田	74.8
戸山線	南方～上根～大朝	24.3	生田線	吉田～〃	28.9
宇賀線	広島～戸山	30.2	雄ヶ原線	広島～雄ヶ原	80.8
宇賀線	〃～宇賀	28.9	戸河内線	〃～三段峽	68.2
後山線	〃～布	26.2	戸河内線	〃～戸河内	64.0
大塚線	〃～大塚	19.6	都谷線	〃～都谷	52.5
岩国線	〃～岩国	45.4	志路原線	〃～志路原	53.6
岩国線	〃～大竹	34.2	鈴張線	〃～鈴張	29.9
本村線	吉田～本村	16.2	来女木線	吉田～来女木	19.3
阿須那線	〃～阿須那	47.1	舟木線	〃～舟木	20.1
今吉田線	〃～今吉田	15.0	玖島線	廿日市～玖島	18.4
八幡線	布～今吉田	15.0	津田線	〃～津田	25.5
壬生線	加計～樽床	45.5	本郷線	〃～本郷	46.8
坂原線	〃～壬生	51.7	吉和線	〃～吉和	51.9
波佐線	広島～坂原	72.7	浅原線	〃～浅原	30.2
栗谷線	戸河内～波佐	40.1	原線	〃～原	5.0
	廿日市～栗谷	33.6			

広島バス乗客数

(広島バス株式会社調)

年 月 別	区 分	運 転 延 台 数	走 行 延 料 数	乗 客 数	年 月 別	区 分	運 転 延 台 数	走 行 延 料 数	乗 客 数
昭和25年	9 月	630	90,569	142,744	5 月		995	130,913	357,312
	10 〃	682	98,927	218,419	6 〃		978	120,248	323,631
	11 〃	669	88,831	212,967	7 〃		1,019	124,799	336,007
	12 〃	734	102,193	239,406	8 〃		1,074	141,074	403,452
計		2,715	380,520	813,536	9 〃		1,290	167,510	466,673
昭和26年	1 月	790	100,747	265,833	10 〃		1,511	200,230	581,820
	2 〃	765	98,841	262,911	11 〃		1,453	200,008	596,045
	3 〃	988	126,571	330,741	12 〃		1,518	210,520	692,005
	4 〃	982	123,292	345,213	計		13,363	1,744,753	4,961,643

備考 1. 当社は昭和25年9月運行を開始した。

2. バス総数 57台。

広島バス路線別距離

線 名	区 間	距 離	主 な る 経 由 地
宇品線	宇品棧橋～仁保大原	12.50	専売公社、紙屋町、広島駅
基 線	紙屋町～県 庁	5.80	東白島、広島駅、比治山下
横川線	横川駅～広島駅	4.75	十日市、八丁堀
横 線	〃～県 庁	6.10	西白島、基町、八丁堀、富士見町
吉 島線	広島駅～吉島本町	4.90	紙屋町、中央市場、水主町
草 津線	〃～草津町	9.40	紙屋町、十日市、己斐駅
八丁堀線	八丁堀～元宇品町	6.80	富士見町、専売公社

一畑電鉄バス乗客数

(一畑電気鉄道株式会社調)

区分 年月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数	区分 年月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数
昭和25年 10月	118	29,894	8,615	6月	136	28,472	8,367
11月	124	30,195	12,734	7月	140	27,532	8,847
12月	122	28,656	18,009	8月	161	32,619	11,545
計	364	88,745	39,358	9月	160	32,605	8,558
昭和26年 1月	98	30,347	7,905	10月	159	31,983	8,706
2月	73	20,594	5,803	11月	140	29,218	7,658
3月	126	35,348	10,445	12月	210	35,173	8,662
4月	130	28,577	10,046	計	1,690	364,868	106,526
5月	157	32,400	9,984				

- 備考 1. 昭和25年10月1日松江～広島線運行開始 距離20/料 3往復(1日)
2. 昭和26年12月20日広島～宮島線運行開始 距離24料 4往復(1日)
3. バス総数 普通車9台、トレーラーバス2台、トラクター1台 計12台

合同バス乗客数

(合同自動車株式会社調)

区分 月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数	区分 月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数
昭和26年 1月	155	20,503	27,395	8月	217	33,195	68,252
2月	176	22,267	30,814	9月	210	31,929	54,828
3月	217	30,339	44,636	10月	217	35,522	60,027
4月	210	33,620	51,006	11月	210	32,615	48,878
5月	217	33,166	49,840	12月	217	33,992	47,218
6月	210	30,042	35,785	合計	2,473	365,038	566,148
7月	217	27,848	47,469				

- 備考 1. 広島支店管内の統計である。
2. 区間 紙屋町～双三郡三次町、距離 67.1料 6往復(1日)
3. 区間 〃～安佐郡狩野家、〃 20.0料 4往復(1日)
4. バス総数 大型車輛8台

防長バス乗客数

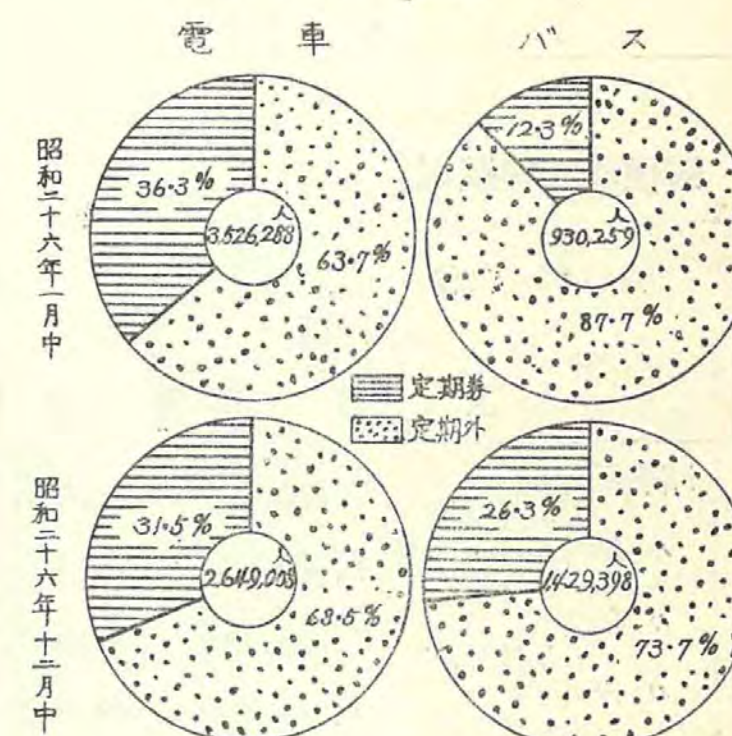
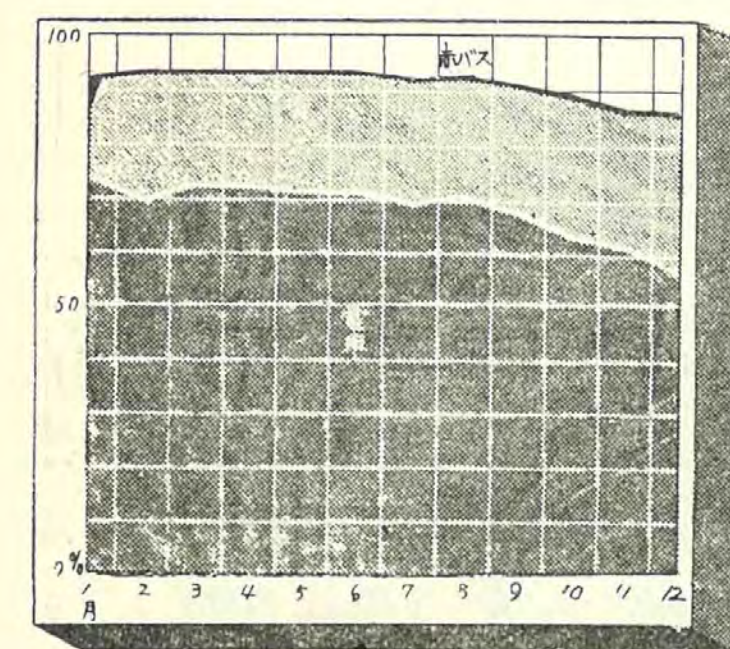
(防長自動車株式会社調)

区分 月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数	区分 月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数
昭和26年 5月	56	156.8	2,240	10月	292	817.6	10,220
6月	248	694.4	9,600	11月	240	672.0	6,000
7月	284	769.2	13,440	12月	336	940.8	12,000
8月	251	701.8	10,160	合計	1,950	5,433.0	75,630
9月	243	680.4	11,970				

- 備考 1. 乗客数は市内乗客の概数である。
2. 昭和26年5月25日より運行開始
3. 区間 広島～山口線 距離(市内のみ) 2.8料
4. 区間 〃～室積線 距離(〃) 2.8料

電車とバスの乗客推移

乗客者内訳



広島市在籍自動車数 (単位=台) (昭和26.2./現在)

(広島陸運局調)

業態別	乗用車						貨物車			特殊車	拂下車	合計
	バス型	普通車	小型3.4輪車	2輪車	単側車	小計	普通車	小型車	小計			
営業用	185	89	125	—	—	399	173	83	256	26	5	686
官公署用	12	119	36	7	24	198	136	107	243	26	60	527
自家用	7	56	82	441	55	641	318	1,306	1,624	—	—	2,265
計	204	264	243	448	79	1,238	627	1,496	2,123	52	65	3,478

通 信

本市の郵便局は、普通局に広島、広島駅前、宇品、鉄道郵便局の4局があり、特定局は昨年より2局を増設して40局がある。電報局は広島、広島駅前、宇品の電報局と、広島、横川、已斐各駅電報取扱所がある。電話局は広島中、西の2局があり、別に草津、似島の2局が設置されている。

これらの各通信機関は、逐年利用度が高まり、本市の復興に併行して諸施設の増設と改善に意を注いでいる。

郵便施設

(広島郵政局調)

郵便局	郵便局数			合計	切手 売さばき所	郵便 ポスト
	特定郵便局	集配局	無集配局			
普通郵便局	4	—	40	44	199	203

郵便物取扱状況

引配別	区分 年次	内 国				外 国		
		通 常		小 包		通 常		小包 (普通のみ)
		普 通	書 留	普 通	書 留	普 通	航 空	
引受	昭和23年度 1ヵ月平均	1,914,341	21,455	3,499	3,303	11,252	6,058	通一
	〃 24年4月～10月 1ヵ月平均	1,984,883	26,395	5,250	3,276	13,996	5,301	38
	〃 25年中 1ヵ月平均	1,404,441	82,673	6,448	3,160	9,931	5,825	?
	〃 26年中 1ヵ月平均	1,624,855	92,329	14,792	6,565	5,832	6,356	470
配達	昭和23年度 1ヵ月平均	1,564,461	47,127	5,105	12,887	8,483	5,578	4,490
	〃 24年4月～10月 1ヵ月平均	1,735,984	44,594	7,291	10,456	12,256	7,309	3,481
	〃 25年中 1ヵ月平均	?	?	?	?	7,583	5,184	3,255
	〃 26年中 1ヵ月平均	1,823,250	111,270	16,080	10,290	6,394	5,888	2,224



広島郵政局



広島電報局

内國電報取扱状況

(広島電気通信管理所調)

	発 信	着 信	中継信	合 計	料 金
昭和24年度 / カ月平均	通 57,281	通 66,548	通 270,147	通 393,976	円 3,744,543
〃 25年4月～12月/カ月平均	98,411	96,142	409,369	603,922	6,991,168
〃 26年4月～12月/カ月平均	66,709	70,768	316,908	454,385	5,055,565
広島駅前、宇品電報局	11,173	4,760	62	15,995	681,312
市内特定郵便局29局	6,964	427	1,468	8,859	365,314
広島、横川、己斐駅取扱所	84,846	75,955	318,438	479,239	6,102,191
計					

国際電報取扱状況

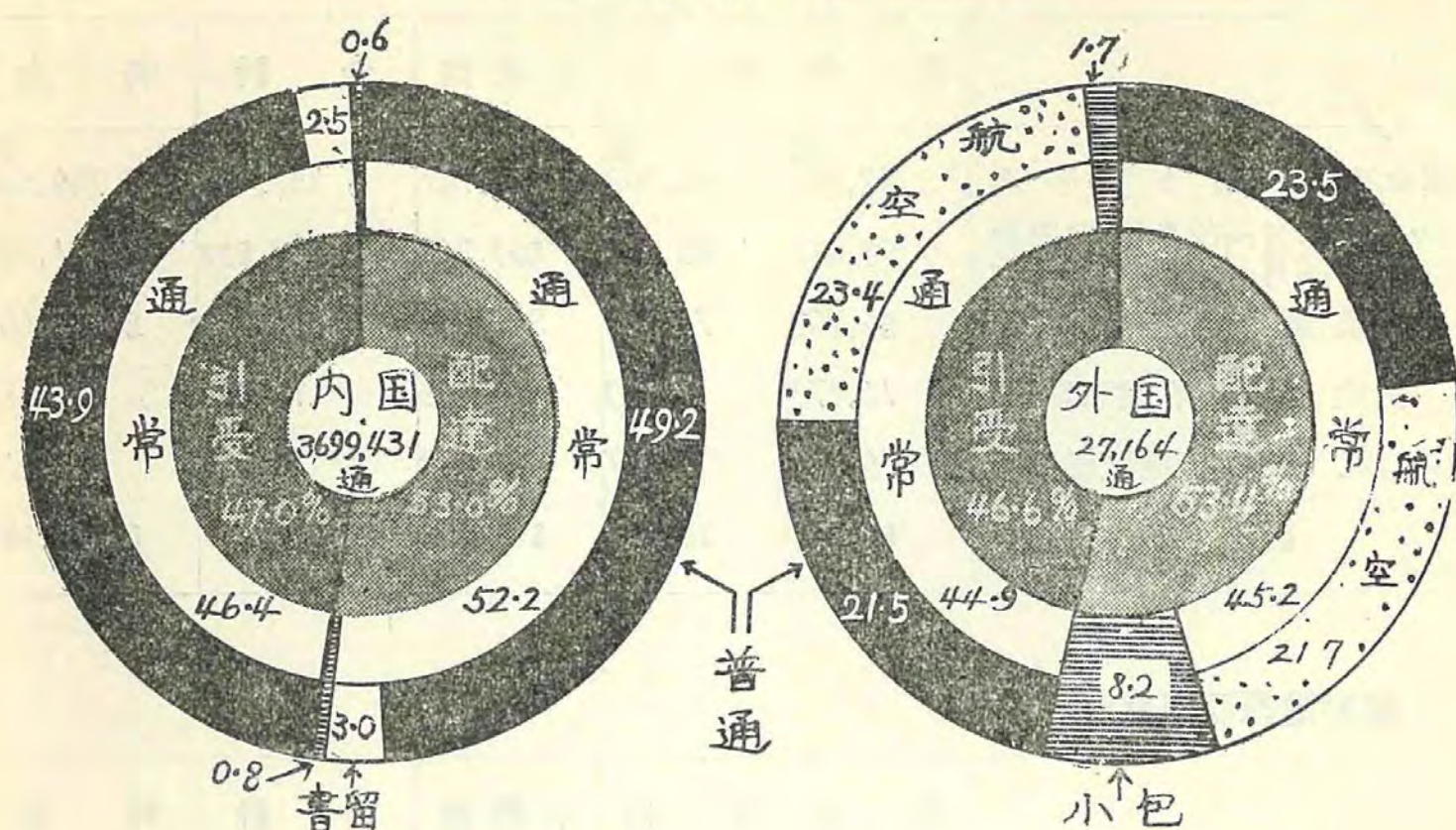
	発 信	着 信	中継信	合 計	料 金
昭和24年度 / カ月平均	通 33	通 29	通 262	通 324	円 11,786
〃 25年4月～12月/カ月平均	160	113	428	701	62,097
〃 26年4月～12月/カ月平均	116	96	682	894	84,855

備考 広島、駅前、宇品電報局の取扱通数である。

本市と主要都市間の電報所要時間(平均)

都市名	至急電報	普通電報	都市名	至急電報	普通電報	都市名	至急電報	普通電報
札幌	時分 1.30	時分 3.20	鹿児島	時分 0.45	時分 1.50	松山	時分 0.50	時分 1.20
青森	1.05	2.10	宮崎	1.15	1.45	長崎	0.45	1.20
横浜	1.00	2.00	徳島、大分	1.10	1.40	岡山	0.40	1.20
熊本	1.15	1.55	金沢	1.05	1.40	山口	0.45	1.15
長野	1.15	1.50	東京、高知	1.00	1.40	下関	0.40	1.15
岐阜	1.20	1.50	福岡	0.50	1.30	高松	0.55	1.10
静岡	1.10	1.50	大阪	0.50	1.25	京都	0.50	1.10
浜松	1.00	1.50	名古屋、 福岡、新潟	0.55	1.20	門司	0.45	1.10
						神戸、鳥取、 松江	0.40	1.10

郵便物取扱状況



局別電話加入数及び通話状況

(昭和27.1.31現在)

	加入電話器数							私設交換機数	通話度数(昭和26年1ヵ月平均)		
	事務用	住宅用	市内専用	公衆	甲種増設	乙種増設	計		市内	市外	計
広島電話局	4,640	28	145	22	3,709	786	9,330	102	599,933	95,812	695,745
広島西電話局	2,586	14	1	9	574	529	3,713	24	553,638	50,684	604,322
草津郵便局	133	24	—	—	—	15	172	—	—	6,043	6,043
似島郵便局	19	—	—	—	—	3	22	—	—	663	663
合計	7,378	66	146	31	4,283	1,333	13,237	126	1,153,571	153,202	1,306,773

国際通話取扱状況

(昭和26.4~12) 1ヵ月平均

着信		発信		料金	信	
通話度数	所要時間	通話度数	所要時間		1通話平均 通話時間	料金
8	54分	50	242分	318,310円	5分	6,366円

広島港

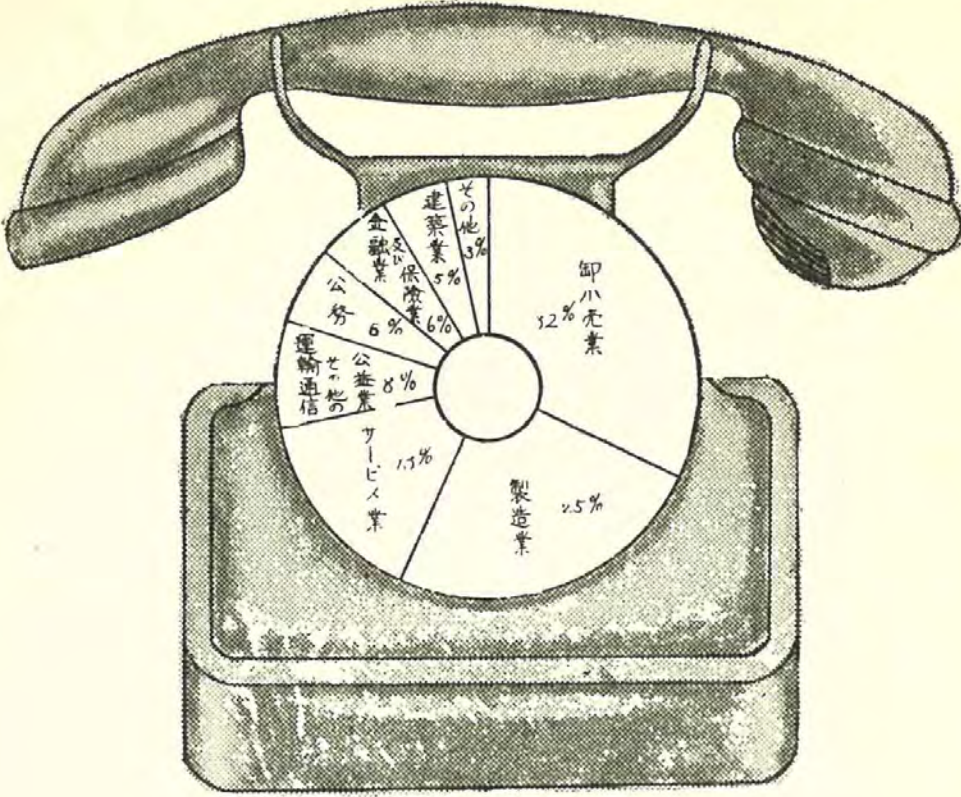


内海航路定期船棧橋



港内荷役風景

産業別電話加入状況 (昭和26年1月)



港 湾

広島港（旧称宇品港）は、昭和23年1月開港場となつてから僅かに4年であるが、過去約60年の永きにわたり、元陸軍船舶運輸総基地として、偉大な存在であつたことは、広く知られている所である。また商港としては、軍港の制約を受けつつも、中四国海陸交通の中心地として、古くから出入船舶も多く、昭和8年1月第二種港湾に編入せられた。昭和23年県において修築5ヵ年計画を樹立し、総額6億余円を以て、荷役取扱予定量年間260万トンを目標に、港湾の機能を近代的に整備するため、鋭意建設中であり、昭和26年1月甲種港湾に指定された。

広島港はその地形、自然的条件に恵まれ、港域面積7,840万平方メートル、その内泊地面積3,600万平方メートルで、水深12～18メートルに及び、年間を通じて荷役不能の日はほとんどなく、これに貿易港としての優秀な諸設備を加え、配するに当地方の活潑な産業経済力と、芸北資源総合開発計画の進行に伴い、当港の将来は洋々たる希望に満ちていると言えよう。

汽船けい留棧橋 (調査課調)

名 称	経 営 者	延長	巾	水深	構 造	けい 船数		主なる取扱貨物
						総ト ン数	船席	
県営うきさん橋	広 島 県	m 110	m 7	m 3	鉄筋コン クリート	トン 300	4	内海貨客船用
市営 〃	広 島 市	50	7	3	〃	500	2	〃
元陸軍 〃	中国財務局	100	5.5	5	鉄 製	500 200	2 1	海上保安本部専用

物揚場（小型船用けい船岸ふ頭）

場 所	經 營 者	延 長	巾	水 深	構 造
元運輸部構内 揚 場	広 島 県	m 150	m 75	m 4	塊
防波堤内	"	1,836	11~17	1~2	方 塊
宇品海岸通	広 島 市	150	10	3	石 造
元運輸部構内	中国財務局	200	26	2	"
海田市元運輸部	"	1,000	10	3	函 塊

力能役荷最大目一

区分	石炭	雑貨	区分	石炭	雑貨
船内荷役	トン 1,500	トン 1,000	海岸荷役	トン 3,000	トン 1,500
はしけ回そう	1,500	3,000			

入港船舶

船別	汽船		機帆		帆船		計	
	隻数		隻数		隻数		隻数	
	トントン	重量トン	トントン	重量トン	トントン	重量トン	トントン	重量トン
昭和25年 (貨客船) 昭和26年 の避難船 合計	7,132	997,321	3,116	130,167	5	28	44	1,127,516
	7,338	878,140	5,263	261,129	210	9,238	18,967	1,148,507
	1	500	1,372	18,862	—	—	—	19,362
	167	26,697	52	1,860	—	—	—	28,557
	15	66,611	—	—	—	—	—	66,611
	7,521	971,948	6,687	281,851	210	9,238	18,967	1,263,037

備考 この表は貨物積載の有無にかかわらず、総トン数5トン以上の入港船舶である。

入港船舶階別トン数

ト ン 別	昭和 2 5 年		昭和 2 6 年						計
	隻 数	総トン数	汽 船		機 帆		帆 船		
			隻 数	総トン数	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数	
10,000トン未満	7	46,974	隻 16	109,472	隻 1	1	ト ン 1	ト ン 1	109,472
5,000 "	213	284,818	29	78,959	1	1	1	1	78,959
1,000 "	81	65,109	53	35,250	1	1	1	1	35,250
500 "	3,140	424,611	3,391	541,741	800	96,851	5	1,300	639,891
100 "	5,484	285,367	3,805	202,842	3,215	148,159	134	6,754	357,754
20 "	1,328	20,637	227	3,684	2,672	36,841	71	1,184	41,709
合 計	10,253	1,127,516	7,521	971,948	6,687	281,851	210	9,238	1,253,038

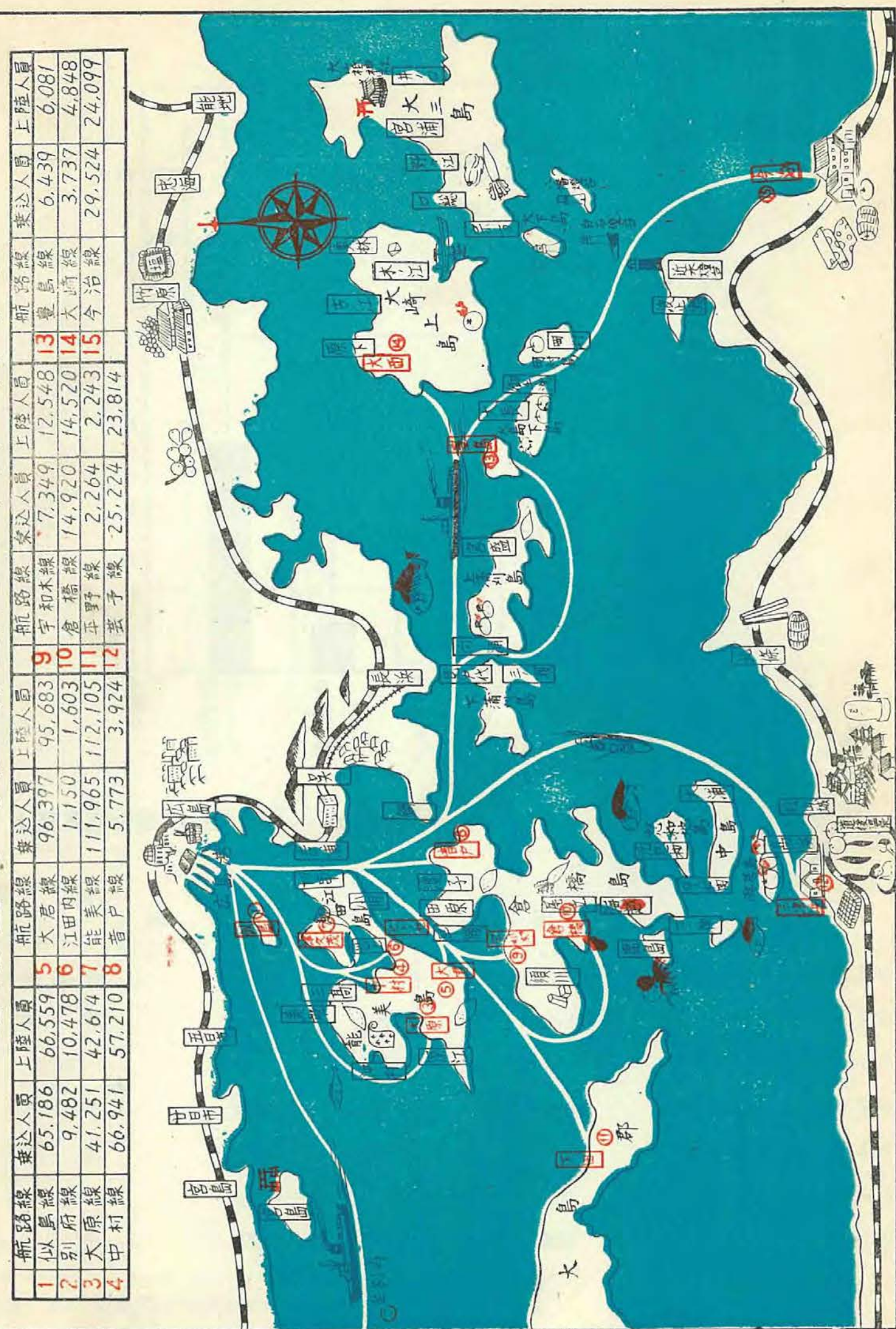
輸移出入品種別貨物トン数 (昭和26年中)

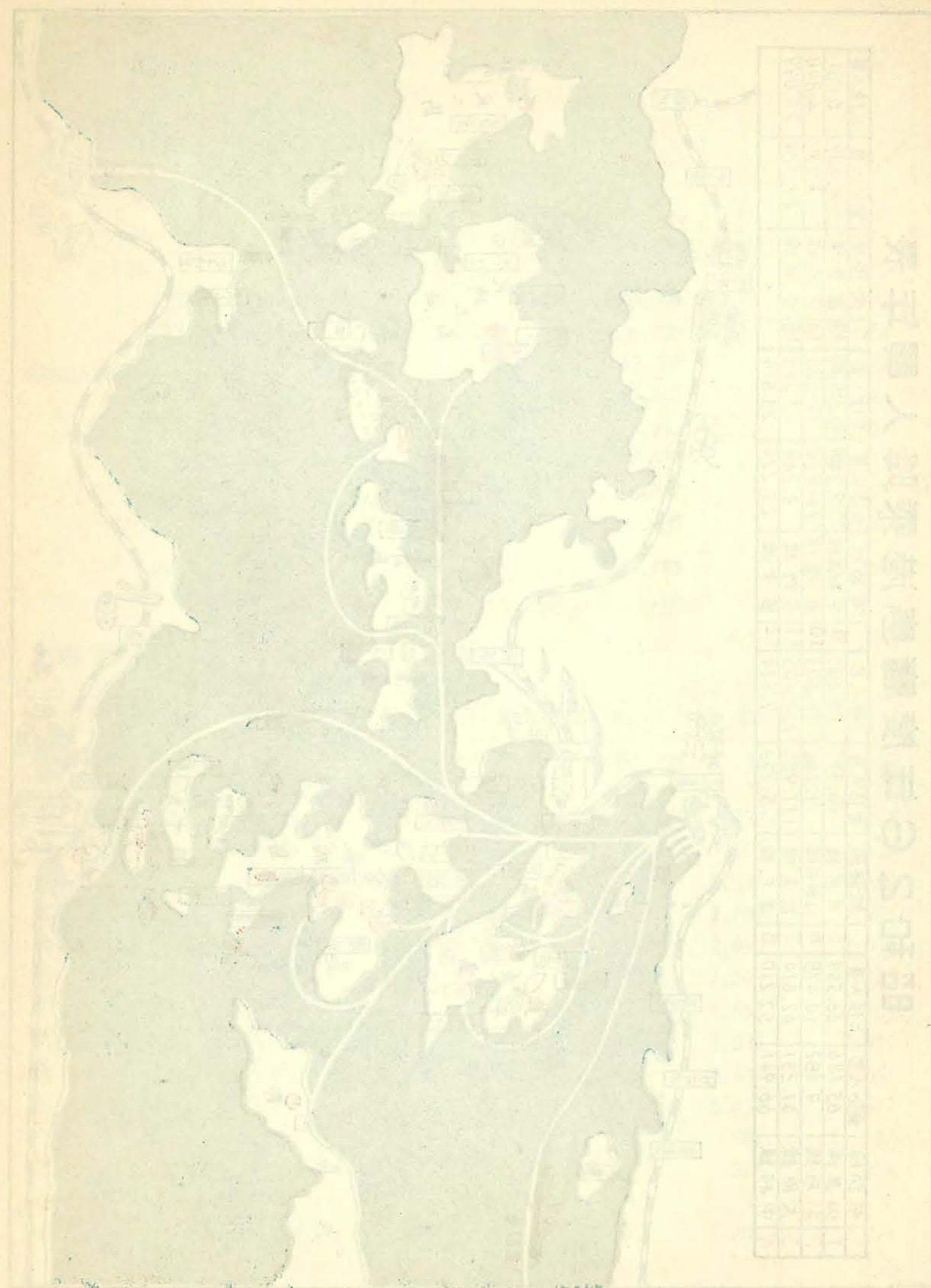
品 種 別		出 入 別	輸移出貨物トン数	輸移入貨物トン数	計
昭和25年			145,501	235,549	381,050
昭和26年	米 穀 類		12,892	85,882	98,774
	油 類		1,155	6,071	7,226
	薬 品		4,493	1,780	6,273
	石炭及びコークス		55,111	310,594	365,705
	鉱石及び同製品		1,378	6,700	8,078
	セメント		5,332	33,101	38,433
	金属及び同製品		48,441	39,807	88,248
	肥料		1,258	4,943	6,201
	木材類		35,725	12,608	48,333
	漁獲物		16	4,341	4,357
	その他		33,753	39,938	73,691
合 計			199,554	545,765	745,319

船舶乗降客数 (1ヵ月平均)

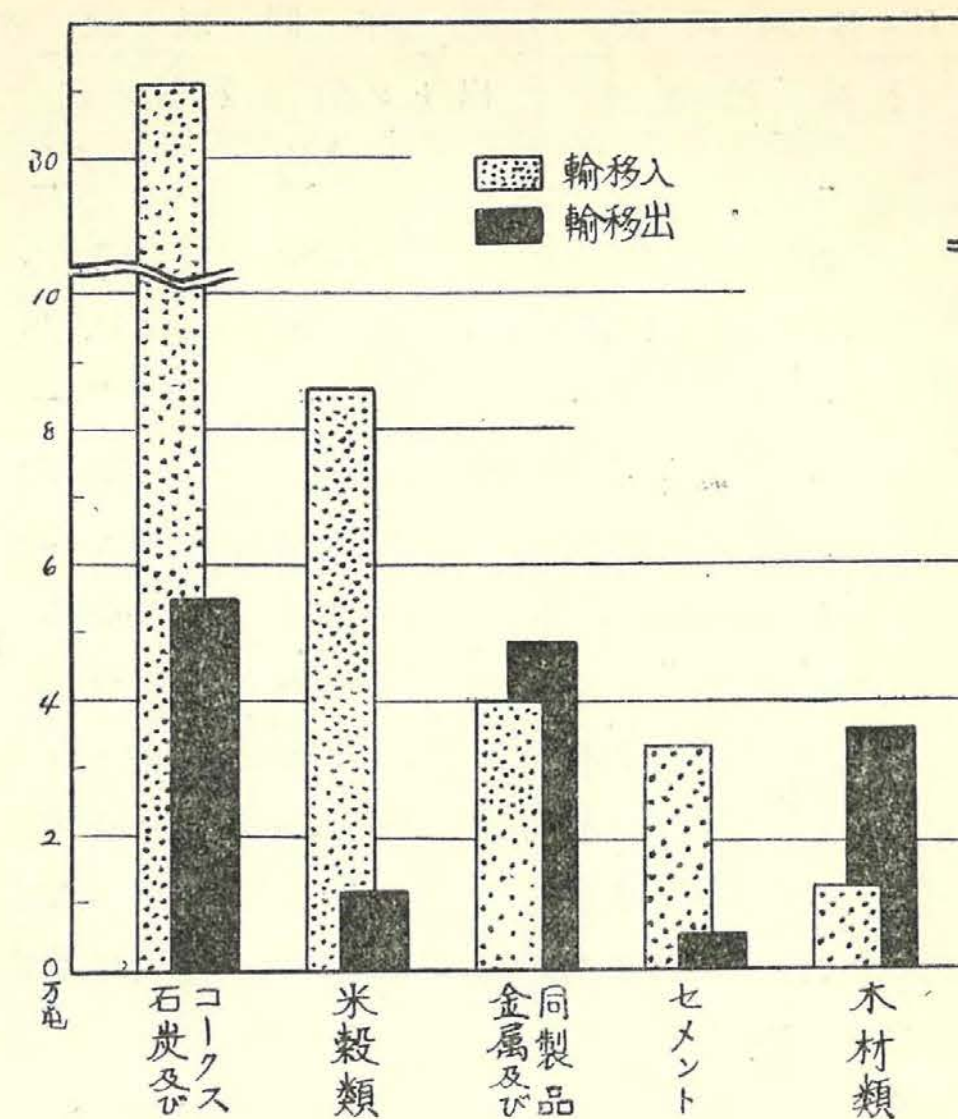
航 路 別	年 別 乗 降 別	昭 和 2 4 年		昭 和 2 5 年		昭 和 2 6 年	
		乗 客 数	降 客 数	乗 客 数	降 客 数	乗 客 数	降 客 数
別 府 線		721	583	386	482	790	873
宇 和 木	〃	484	933	571	929	612	1,046
能 美	〃	6,169	1,205	6,471	7,079	9,331	9,342
芸 予	〃	2,634	3,434	3,127	3,003	2,102	1,985
今 治	〃	2,301	2,516	2,481	2,613	2,460	2,008
倉 橋	〃	1,598	1,987	1,682	1,770	1,243	1,210
中 村	〃	8,519	9,805	5,382	5,072	5,562	4,767
大 君	〃	7,402	8,539	6,981	7,528	8,033	7,974
大 原	〃	3,291	3,259	2,903	3,463	3,437	3,551
似 島	〃	5,377	6,291	5,310	5,749	5,432	5,547
平 野	〃	—	—	118	98	189	187
大 崎	〃	—	—	186	195	311	404
その他 豊島、音戸、 江田内、切串、 蒲刈		2,550	2,601	3,089	3,614	2,205	2,094
計		41,046	46,153	38,687	41,595	41,707	40,988

昭和26年度廣島港乗降人員年表





主なる輸移出入貨物



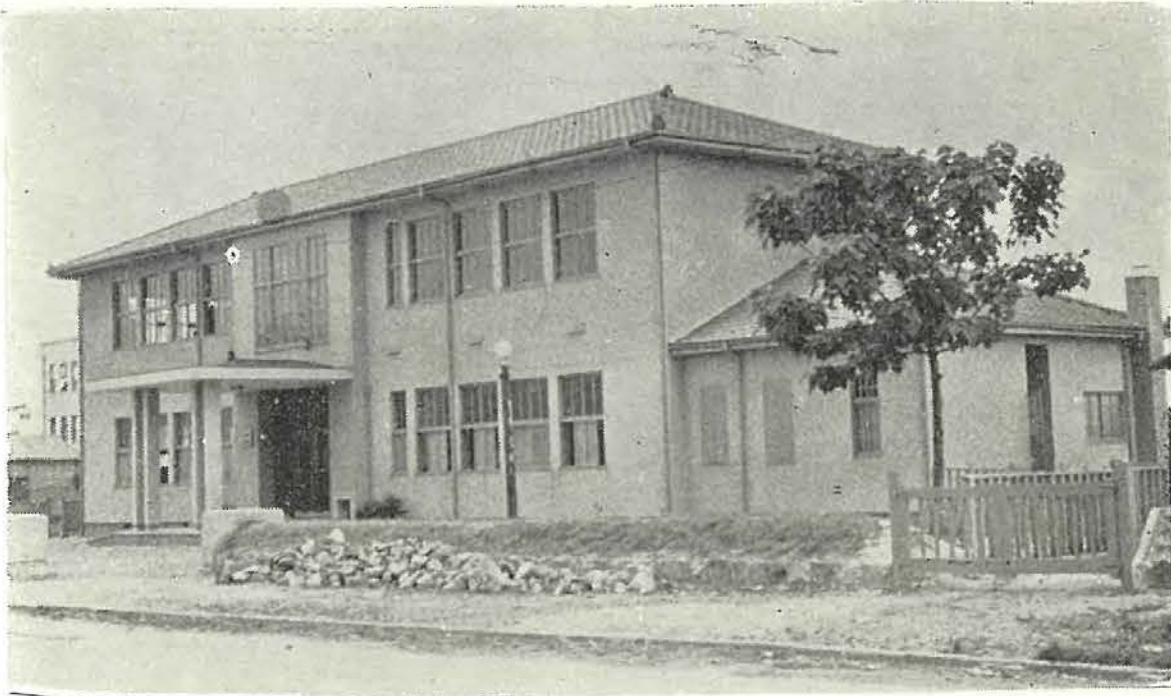
上屋及び倉庫の利用状況 (昭和26年中)

種 別	12 月 末 現 在		年 間 取 扱 数 量		
	棟 数	総床面積	出庫トン数	入庫トン数	計
上 屋	営業用	5 1,137	21,806	23,268	45,074
	専 用	1 1,524	652	718	1,370
	計	6 2,661	22,458	23,986	46,444
倉 庫	営業用	49 20,138	76,025	83,014	159,039
	専 用	15 20,606	12,606	10,830	23,436
	計	64 40,744	88,631	93,844	182,475
合 計	70	43,405	111,089	117,830	228,919

- 備考 1. 営業用とは貨物の保管料を支払うものである。
 2. 専用とは自家用のもので保管料を支払わず、又1棟総面積500m²以上のものである。

貯留場利用状況 (昭和26年中)

種 別	12 月 未 現 在		年 間 取 扱 数 量		
	箇 所 数	総 面 積	出 ト ン 数	入 ト ン 数	計
貯炭場	営業用	—	—	—	—
	専用	16	25,014	227,030	263,716
	計	16	25,014	227,030	263,716
貯木場	水上営業用	—	—	—	—
	水上専用	4	4,209	1,754	1,789
	陸上営業用	3	16,600	5,300	5,840
	陸上専用	13	59,818	47,215	42,728
	計	20	80,627	54,269	50,357
野積場	営業用	2	3,960	5,532	5,168
	専用	13	43,532	20,876	20,938
	計	15	47,492	26,408	26,106
合 計	51	153,133	307,707	340,179	647,886



人事院広島地方事務所



広島公共職業安定所



日雇労働者寄場

労働

労働事情

戦後、本市における労働事情は、灰じんに帰した本市復興による土建業の活況、平和産業の復活、占領軍関係事業及び周辺農村の盛況等により、インフレ賃金の悪循環による不安定経済下にかかわらず、失業者も表面的に現われず割合平穩裡に過ぎたが、昭和24年以降経済九原則の実現に伴う強力な経済安定政策により、企業の合理化が促進され人員の整理となり、殊に公共事業その他官公庁事業の圧縮、農村不況に伴う過剰人口の流入等により潜在失業者は次第に表面化し、職を求める失業者は急激に増加するに至つた。

この結果首切り反対、賃金値上げ等を要求して最低生活を確保しようとする労働者、定職を求めて奔走する失業者、失業応急対策事業に集まる日雇労働者等、複雑多岐にわたる労働情勢は、日々深刻となつた。

本市においては、本年6月の機構改革を機会に、失業問題に対する応急対策、恒久対策、労働者の福祉増進及び労務管理の合理化等、労働行政の積極的推進をはかるため、労政課を新設し労働問題の解決に当つている。

産業別労働組合数及び組合員 (昭和26年6月現在) (広島労政事務所調)

業 種 別		組合数	組合員数	業 種 別		組合数	組合員数
建 設 工 業		14	1,488	電 気 機 械 器 具 製 造 業		5	616
製 造 工 業	金 属 製 品 工 業	2	170	そ の 他		7	725
	機 械 器 具 製 造 業	2	90	卸 小 売 業		7	1,162
	化 学 工 業	3	177	熱 光 及 び 動 力 供 給 業		6	1,830
	ゴ ム 製 品 製 造 業	4	544	金 融 保 険 業		35	3,766
	紡 織 工 業	1	99	医 療 保 険 業		2	228
	木材及び木製品工業	2	14	運 輸 通 信 業	陸 運 業	10	3,343
	印 刷 製 本 工 業	3	443		水 運 業	3	120
	ガ ラ ス 及 び 土 石 製 品 製 造 業	2	272		通 信 業	1	472
	食 料 品 製 造 業	4	356	公 務 員 及 び 団 体		4	656
	石油及び石炭製造業	1	16	そ の 他		4	95
業	輸 送 設 備 製 造 業	4	3,868	合 計		127	20,652
	第一次製品製造業	1	102				

組織別労働組合及び数組合員数

(昭和26年6月現在)

	組合数	組合員数		組合数	組合員数
合 計	185	39,733	国家公務員団体	30	6,695
一般労働組合	127	20,652	地方公務員団体	7	2,703
公共企業労働組合	21	9,633			

労働組合組織状況

組 織 別	規 模 別	50人未満	50人	100人	500人	1,000人	計
			100人未満	500人未満	1,000人未満	以上	
労働組合法の適用を受けるもの	組合数	(9)	(6)	(7)	(1)	(3)	(26)
	加入者数	62	35	46	4	6	153
公企業労働関係法、地方公務員法及び国家公務員法の適用を受けるもの	組合数	(217)	(368)	(1,914)	(606)	(5,824)	(8,929)
	加入者数	1,631	2,452	10,419	2,964	12,115	29,581
合 計	組合数	(3)	(6)	(4)	(1)	(—)	(14)
	加入者数	10	17	27	15	3	72
	組合数	(86)	(377)	(986)	(589)	(—)	(2,038)
	加入者数	284	1,137	5,906	10,076	4,356	21,759
合 計	組合数	(12)	(12)	(11)	(2)	(3)	(40)
	加入者数	72	52	73	19	9	225
	組合数	(303)	(745)	(2,900)	(1,195)	(5,824)	(10,967)
	加入者数	1,915	3,589	16,325	13,040	16,471	51,340

備考 () 内は隣接町村の所在事業場を示す。

労働紛争要求別表 (昭和26年1月～7月)

要 求 別	月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	計
労働協約	—	—	—	—	—	—	—	3	3
賃金増額	—	—	4	5	2	3	2	16	16
賃金支払	—	—	1	—	—	—	—	—	1
夏期手当	—	—	—	—	—	—	—	5	5
賞与その他賃金要求	—	2	—	—	—	1	—	—	3
組合に対する不当干渉	—	—	—	—	—	—	1	—	1
人事に関する事項	—	—	—	—	—	—	—	1	1
解雇反対及び復職要求	—	—	1	—	—	—	—	2	3
合 計	—	2	6	5	2	5	13	33	33

職業紹介状況 (一般の部)

(広島公共職業安定所調)

年 月 別	新 規 求 人			紹 介			就 職		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和25年	6,083	4,405	10,488	7,961	5,910	13,871	4,574	3,647	8,221
〃 26 〃	6,930	4,311	11,241	11,483	7,135	18,618	5,896	4,405	10,301
1 月	558	287	845	726	443	1,169	247	219	466
2 〃	731	432	1,163	941	658	1,599	331	341	672
3 〃	828	326	1,154	1,287	670	1,957	467	411	878
4 〃	610	337	947	1,232	553	1,785	597	364	961
5 〃	648	358	1,006	991	515	1,506	625	375	1,000
6 〃	496	404	900	994	534	1,528	493	412	905
7 〃	646	409	1,055	814	571	1,385	611	419	1,030
8 〃	597	383	980	930	609	1,539	554	337	891
9 〃	581	399	980	979	660	1,639	560	454	1,014
10 〃	467	410	877	973	711	1,684	540	395	935
11 〃	476	290	766	924	657	1,589	519	354	873
12 〃	292	276	568	692	554	1,246	352	324	676

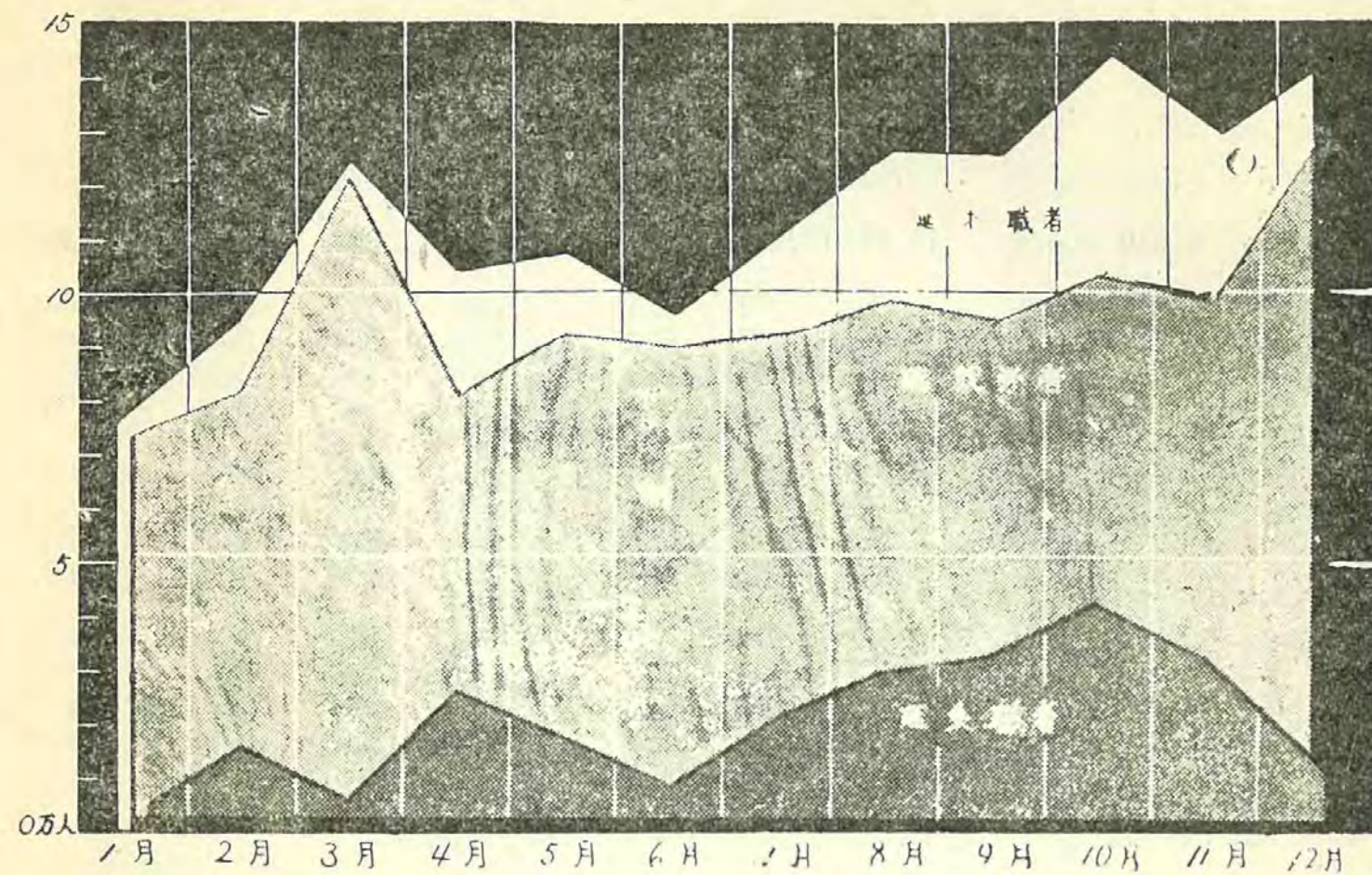
備考 一般とは常用、臨時を言ふ。但し昭和25年は常用のみである。

職業紹介状況 (日雇の部)

年 月 別	新 規 求 人			紹 介			就 職		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和25年	554,348	373,197	927,545	546,326	371,917	918,243	541,680	369,596	911,276
〃 26 〃	655,448	517,249	1,172,697	657,436	517,480	1,174,916	640,750	512,439	1,153,189
1 月	39,831	34,364	74,195	41,141	34,441	75,582	39,008	34,189	73,197
2 〃	44,904	36,806	81,710	44,914	36,816	81,730	44,823	36,513	81,336
3 〃	70,153	52,330	122,483	70,173	52,347	122,520	69,342	51,969	121,311
4 〃	46,122	35,261	81,383	46,293	35,285	81,578	44,915	35,062	79,977
5 〃	50,653	41,649	92,302	50,842	41,709	92,551	50,018	41,602	91,620
6 〃	48,976	41,505	90,481	49,139	41,547	90,686	47,552	41,289	88,841
7 〃	51,168	41,210	92,378	51,273	41,210	92,483	50,346	41,130	91,476
8 〃	56,094	44,126	100,220	56,094	44,127	100,221	54,797	43,516	98,313
9 〃	56,412	41,876	98,288	56,412	41,876	98,288	53,341	41,133	94,474
10 〃	59,040	45,628	104,668	59,040	45,628	104,668	58,102	45,015	103,117
11 〃	57,501	43,103	100,604	57,521	43,103	100,624	55,832	42,717	98,549
12 〃	74,594	59,391	133,985	74,594	59,391	133,985	72,674	58,304	130,978

備考 昭和26年は臨時を含まない。

日雇労働者の状況

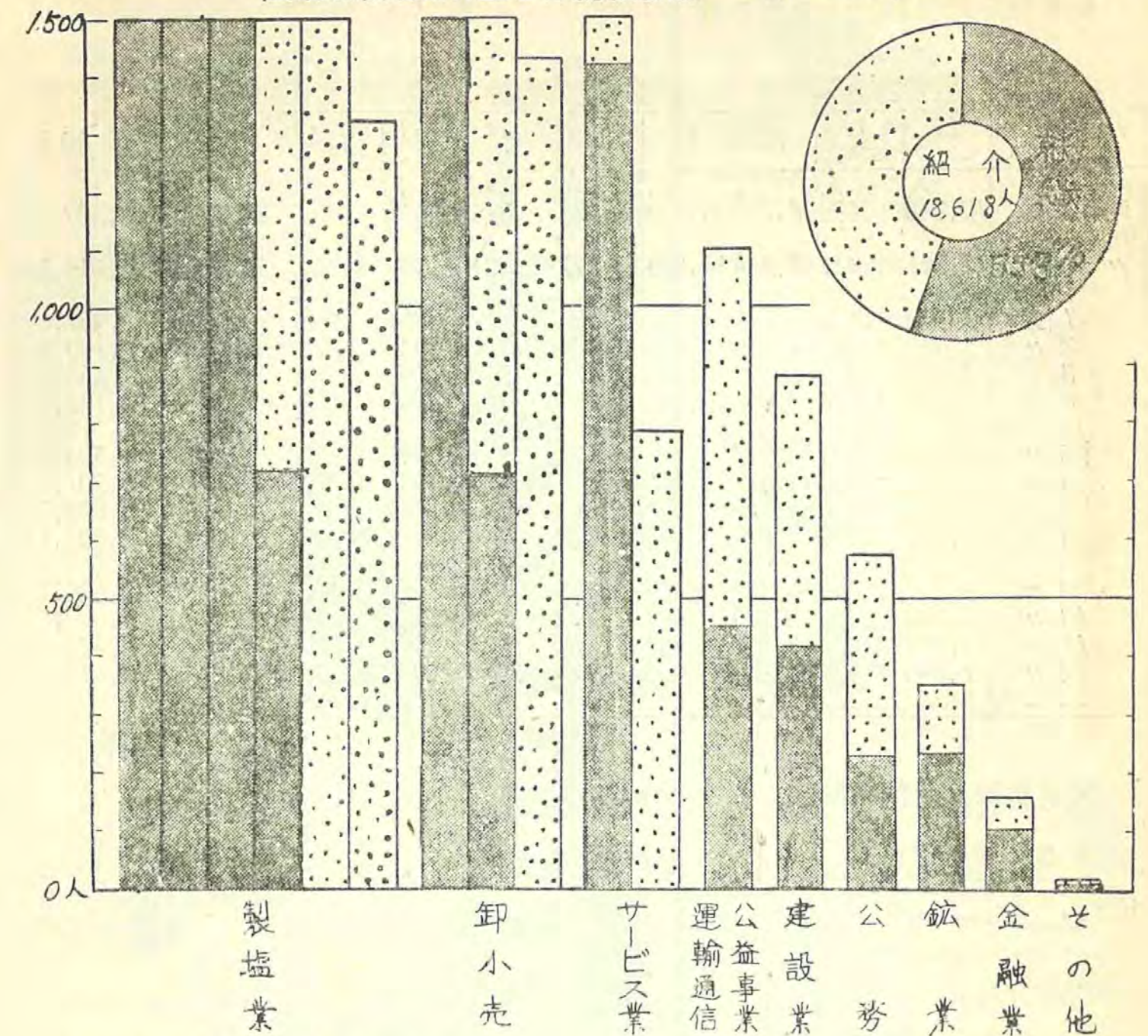


産業分類別、紹介、就職状況 (昭和26年中)

産業分類別	紹介		就職		就職率	
	一般	日雇	一般	日雇	一般	日雇
農業及び狩猟業	人	人	人	人	%	%
林業及び畜産業	1	109	1	109	100	100
漁業及び水産養殖業	—	—	—	—	—	—
建設業	354	5,264	235	5,074	66	96
製造業	880	1,025,820	415	1,006,729	47	98
卸売及び小売業	8,820	31,138	5,221	30,281	59	97
金融及び保険業	4,426	1,792	2,213	1,744	50	97
不動産業	155	—	104	—	67	—
運輸通信及びその他の公益事業	3	4	1	4	33	100
サービスの業務その他	2,287	50,895	1,420	50,834	62	100
その他	576	331	230	304	40	92
合計	14	—	8	—	57	—
合計	18,618	1,174,916	10,301	1,153,189	55	98

備考 一般とは常用、臨時を言う。

産業別職業紹介並びに就職者数 (昭和26年中)



失業保険給付状況 (一般の部)

年月別	離職票受付件数			初回受給者数			給付実人員			保険金支給総額
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
昭和25年	人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
26年	4,214	1,692	5,906	3,780	1,511	5,291	—	—	—	136,900,487
1月	3,011	1,431	4,442	2,737	1,272	4,009	18,082	8,191	26,273	102,026,110
2月	228	83	311	305	132	437	1,769	788	2,557	9,541,983
3月	238	81	319	190	81	271	1,717	639	2,356	7,234,416
4月	205	99	304	202	76	278	1,549	617	2,166	8,324,284
5月	235	117	352	233	114	347	1,545	585	2,130	6,816,628
6月	234	106	340	215	97	312	1,316	568	1,884	7,097,313
7月	240	92	332	191	105	296	1,245	580	1,825	7,956,573
8月	273	130	403	294	98	392	1,332	605	1,937	8,581,497
9月	329	145	474	313	150	463	1,434	649	2,083	9,910,578
10月	294	138	432	225	101	326	1,478	745	2,223	8,504,989
11月	252	133	385	228	98	326	1,607	829	2,436	9,969,777
12月	223	142	365	187	106	293	1,550	777	2,327	9,577,207
合計	260	165	425	154	114	268	1,540	809	2,349	8,510,865

失業保険給付状況（日雇の部）

年 月別	区分 初回失業認定件数			初回受給者数			手帳交付数			保 險 金 支 給 総 額
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
昭和25年	10,265	8,498	18,763	6,212	5,878	12,090	10,626	5,468	16,094	16,329,180
「 26 「	20,997	22,077	43,074	15,630	17,177	32,807	12,605	6,755	19,360	25,154,580
1 月	1,713	1,472	3,185	1,457	1,232	2,689	884	268	1,152	2,829,380
2 月	1,412	1,202	2,614	1,177	1,001	2,178	1,031	629	1,660	1,140,870
3 月	1,796	1,445	3,241	1,105	73	1,178	1,195	554	1,749	468,010
4 月	1,433	1,608	3,041	1,381	1,592	2,973	1,046	520	1,566	2,132,830
5 月	1,649	1,928	3,577	1,327	1,608	2,935	1,299	620	1,919	1,784,270
6 月	1,456	1,783	3,239	1,181	1,408	2,589	1,036	471	1,507	1,201,350
7 月	1,527	1,914	3,441	1,419	1,613	3,032	1,129	570	1,699	2,473,800
8 月	1,853	2,175	4,028	1,544	1,473	3,017	910	424	1,334	2,505,180
9 月	1,921	2,260	4,181	1,489	1,850	3,339	902	427	1,329	2,635,140
10 月	2,463	2,361	4,824	2,070	2,259	4,329	1,234	993	2,227	3,493,540
11 月	1,879	1,958	3,837	1,562	1,878	3,440	936	646	1,582	3,474,980
12 月	1,895	1,971	3,866	918	1,190	2,108	1,003	633	1,636	1,015,230

失業対策事業就労状況

（労政課調）

月 別	区 分 就 労 延 人 員			作業日数	1人当平均 稼動日数
	市 営	県 営	計		
昭和26年 1月	36,609	17,251	53,860	22	16
2 月	38,773	17,843	56,616	22	19
3 月	52,503	27,226	79,729	28	28
4 月	44,496	14,856	59,352	24	19
5 月	52,084	15,885	67,969	23	22
6 月	52,658	15,061	67,719	23	22
7 月	49,864	16,082	65,946	24	20
8 月	54,503	17,078	71,581	26	21
9 月	47,107	16,984	64,091	24	18
10 月	55,409	17,890	73,299	27	19
11 月	54,649	14,326	68,975	24	17
12 月	68,236	23,884	92,120	26	23
合 計	606,891	214,366	821,257	293	244

市職員

市民/85人に/人



医 師

市民453人
に/人



消防吏員

市民1,084人に
/人



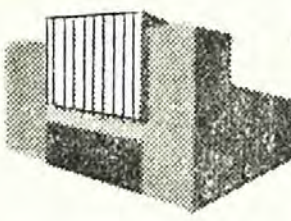
警察官

市民534人に/人

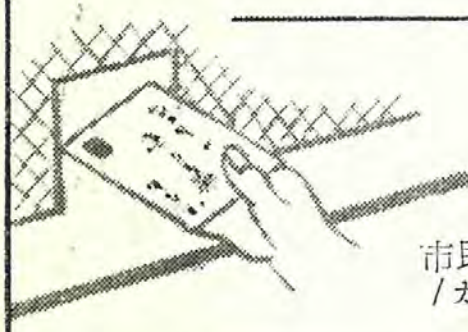


映画演劇

1人/年間に
16.6回

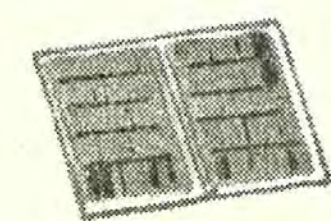


郵便
市民/人
/ヵ月5.8通



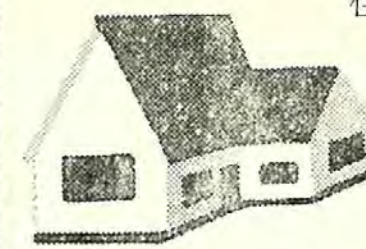
新 聞

1世帯に
1.5部



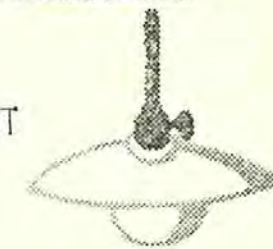
住 宅

1戸に4.6人



電 灯

1世帯に6.4灯



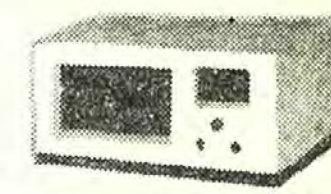
配水量

1人/日に360ℓ



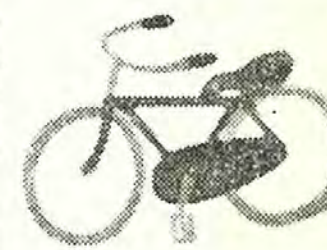
ラジオ

1.6世帯に
/台



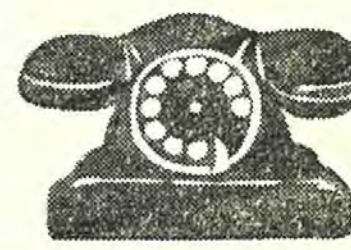
自転車

2.1世帯に
/台



電 話

5.8世帯に
/台



出 生

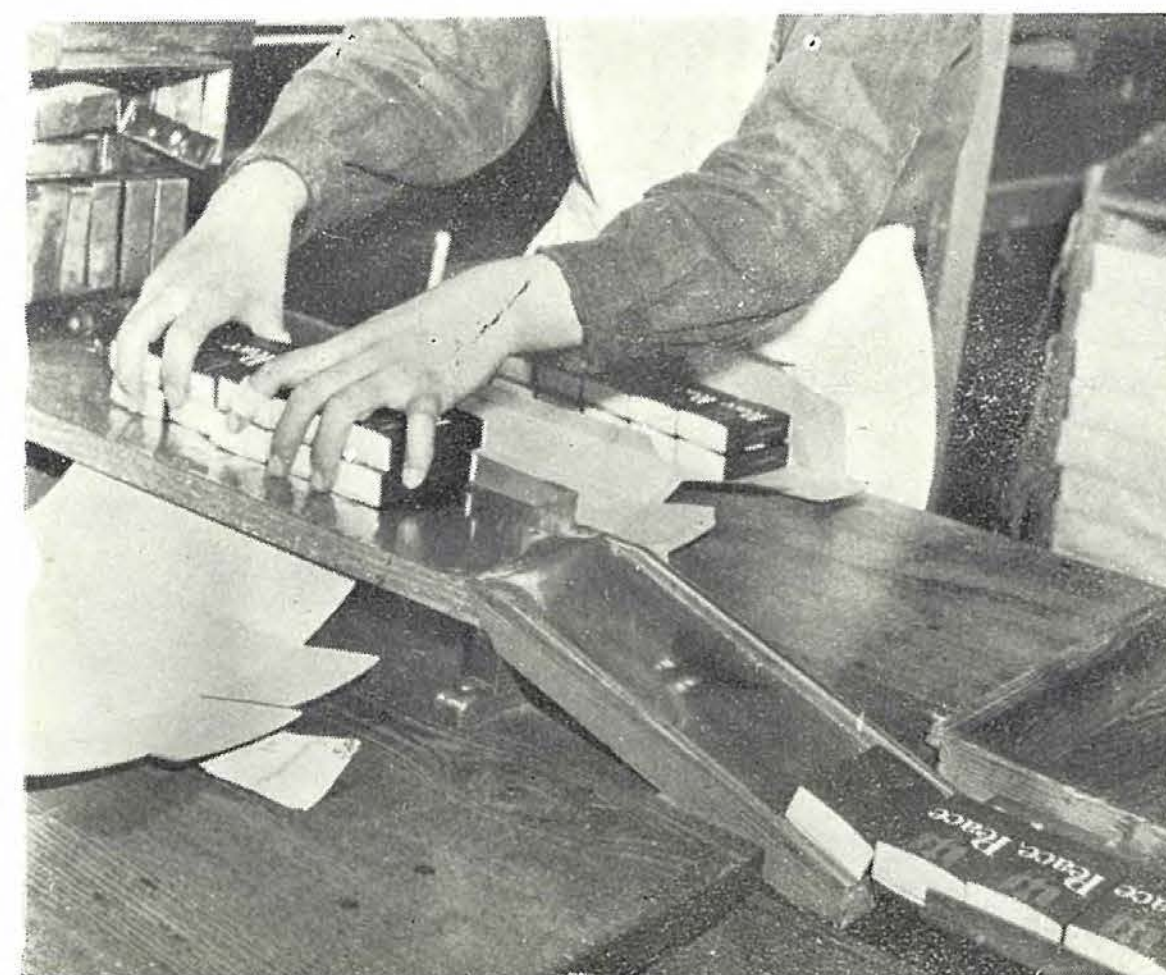
1日に17.8人
市民1,000人につ
き1年に22.1人



市民の生活文化



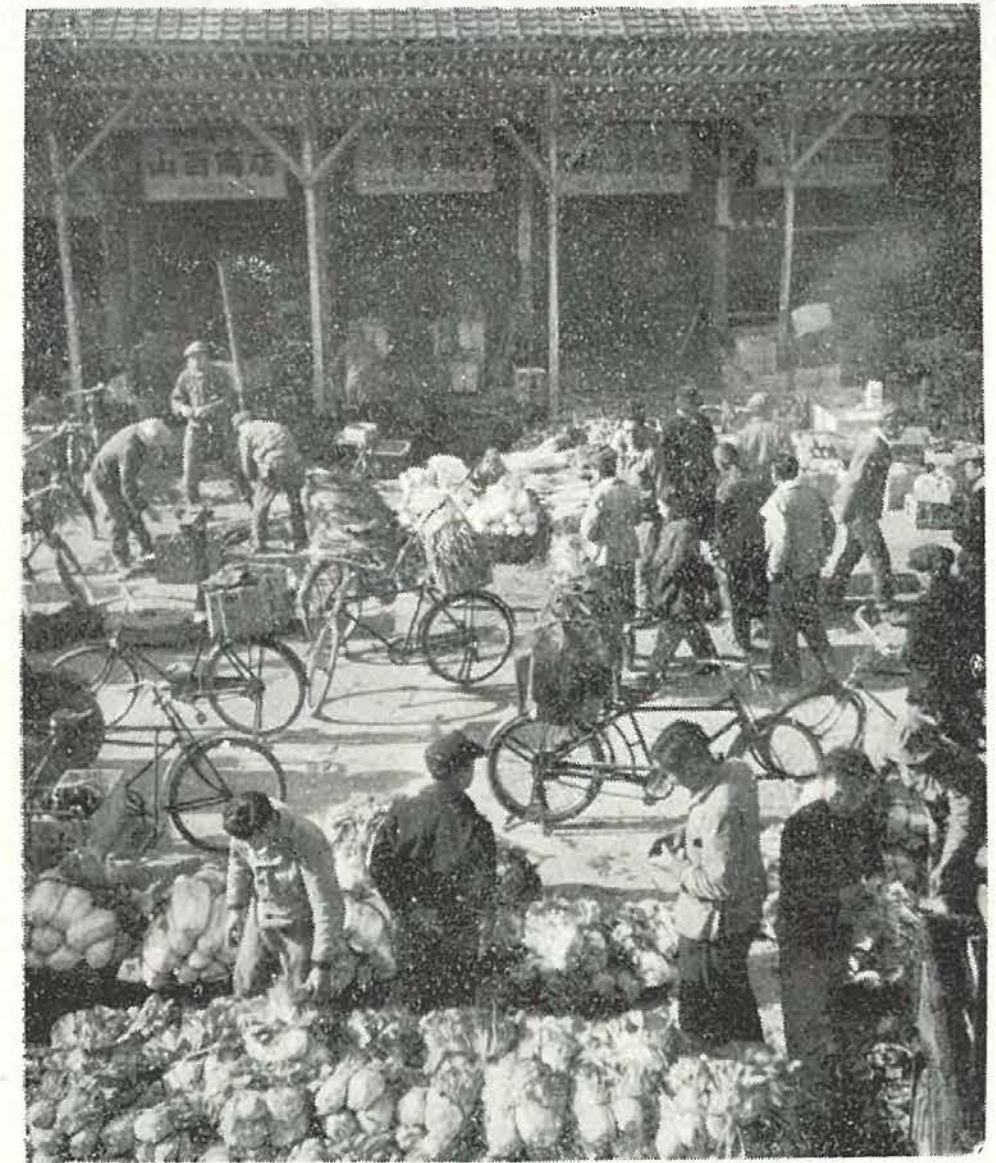
日本専売公社広島地方局



タバコの包装



広島中央卸売市場



同取引風景



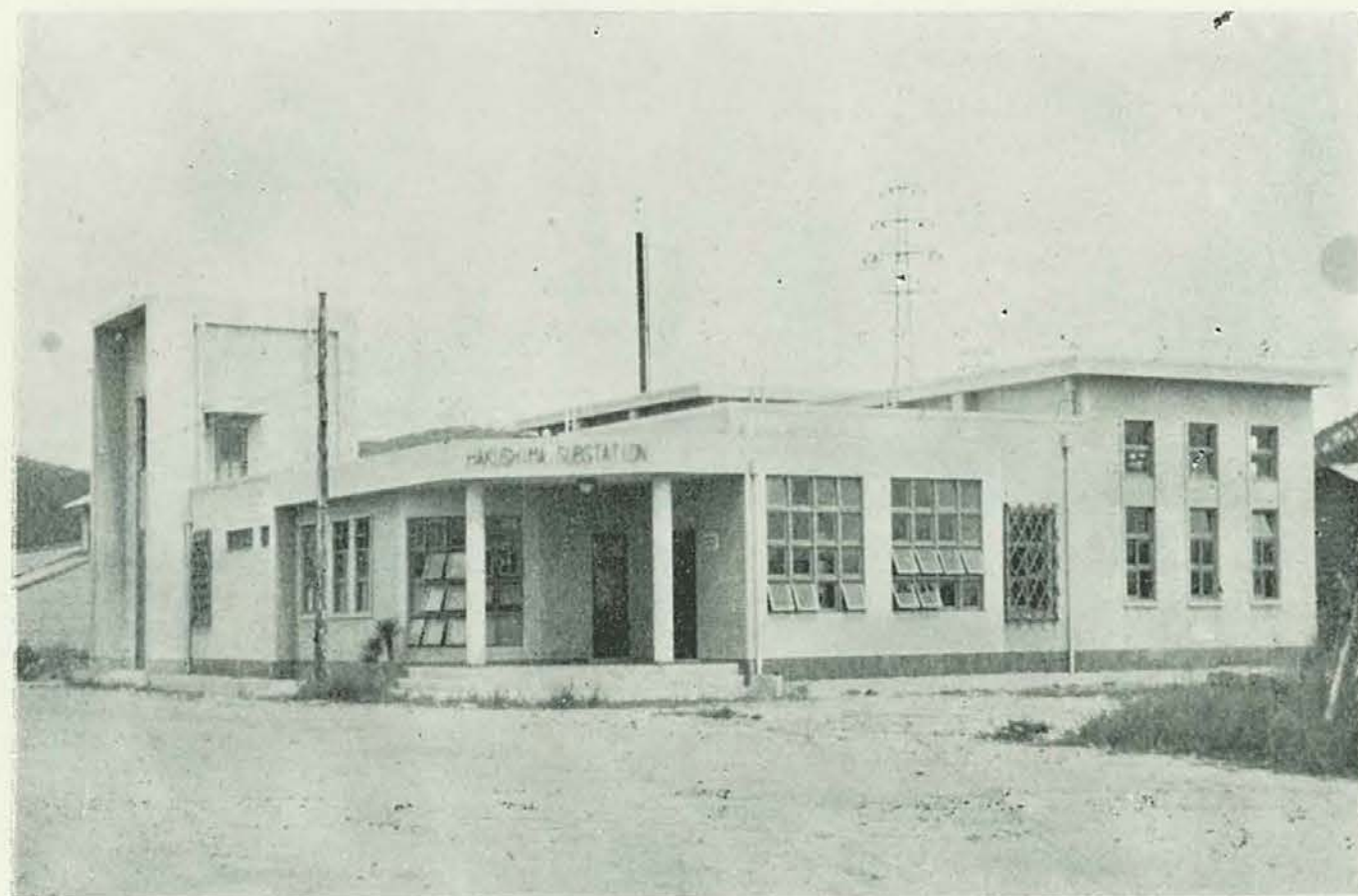
広島中央魚市場



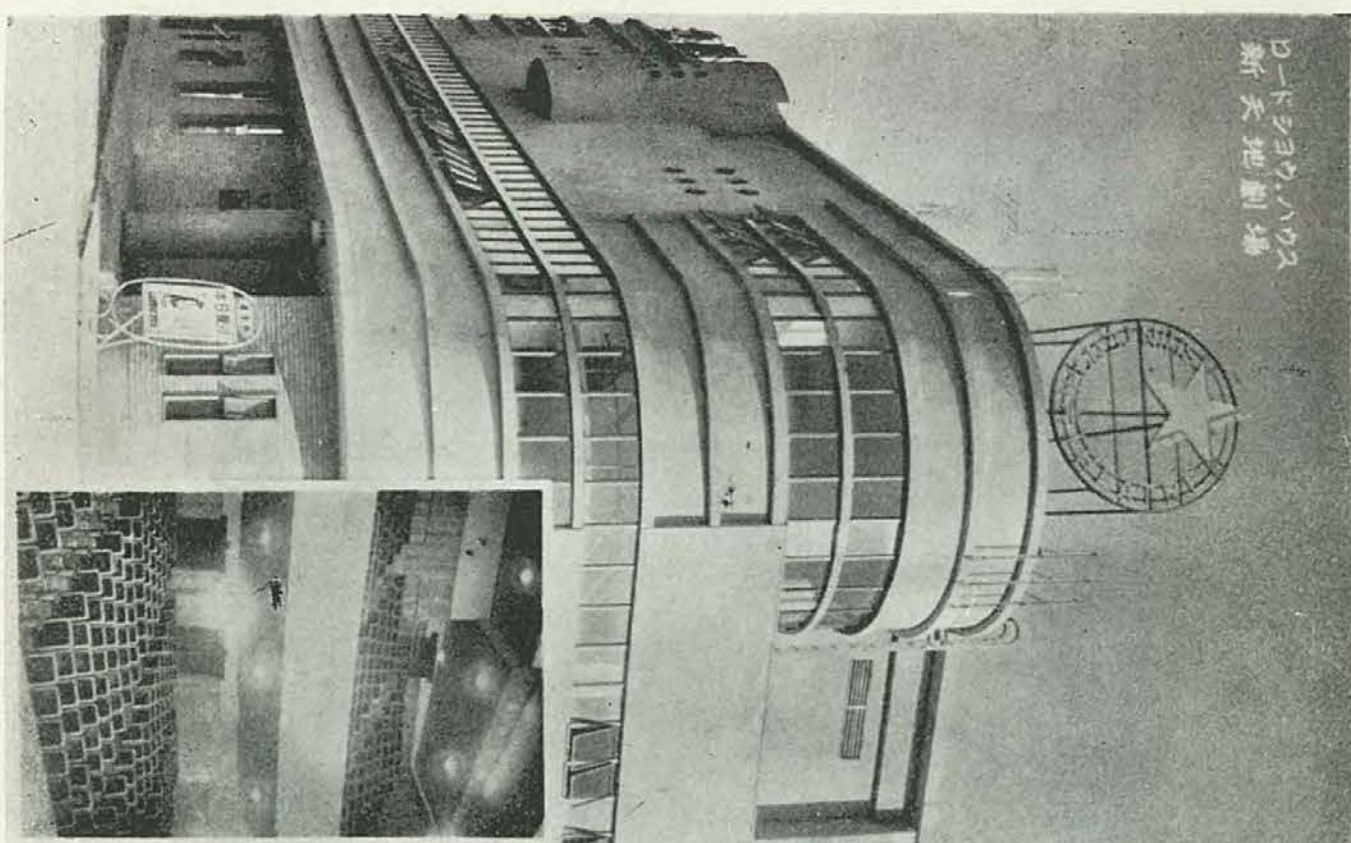
東洋座



中国電力株式会社本店



同 白 島 変 電 所



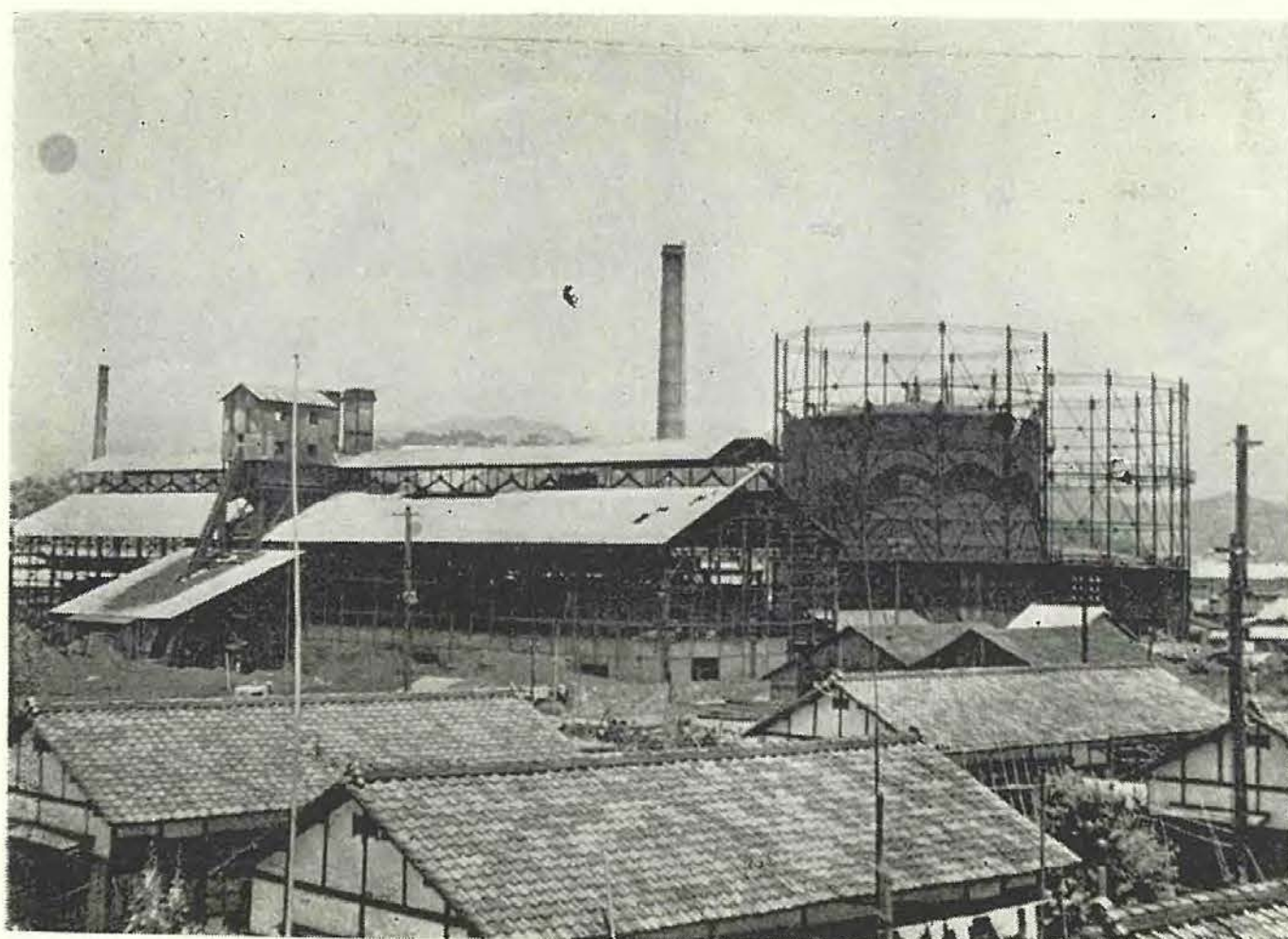
新 天 地 劇 場



ラ ッ キ ー 劇 場



広島瓦斯株式会社



同 ガ ス タ ン ク

市 民 生 活

消 費 生 活

物 價 と 家 庭 経 済

昭和25年中の市内自由物価は、一般的には漸騰傾向を示したが、市民の家庭経済は昭和25年頃より次第に明るくなつて来た。即ち、主食を除いたほとんどの物資は、統制を解除されて街の店頭で豊富に並べられ、購買者は買漁りから選択へ、更に販売者は現金から月賦販売へと往年の自由経済時代に移行しつつある。特に、綿織物は大幅に暴落し、毛織物は潤沢になつて、戦後の国防色は完全に一掃され、道行く人々の姿はとみに明るさを加えて来た。

しかし、別表に示しているごとく、生計費の中に占める食料費の割合は逐年減少しつつあるが、依然として生計費の過半を占めている。これは文化生活面の向上へ振向けるゆとりが未だ充分になく、生活水準の低さを物語っているものと言えよう。

広島市自由物価小賣価格指数

(広島商工会議所調)

年 月 別	食料品	衣料品	身廻品	雑 品	建築材料	燃料品	総平均指数
昭和21年平均	46.3	42.3	36.8	54.5	52.0	64.2	49.4
〃 22 〃	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
〃 23 〃	152.1	185.5	161.7	190.9	194.5	266.8	191.9
〃 24 〃	172.3	226.7	178.7	205.1	202.9	242.0	203.8
〃 25 〃	137.7	158.4	124.6	140.1	169.4	215.1	157.4
昭和26年 1 月	135.9	199.6	143.5	140.7	199.6	258.2	179.6
2 〃	143.6	215.5	152.2	161.0	222.2	245.9	190.0
3 〃	147.0	215.5	154.4	172.7	236.0	249.6	195.9
4 〃	153.9	198.6	154.4	177.0	231.9	253.7	194.9
5 〃	146.1	180.1	152.4	177.5	224.2	259.8	190.0
6 〃	137.1	178.7	148.8	177.0	221.7	299.6	193.8
7 〃	134.2	173.2	144.3	174.5	220.4	299.6	191.0
8 〃	153.9	157.0	145.5	173.3	214.3	299.6	190.6
9 〃	153.4	168.5	147.4	176.8	220.3	307.6	195.7
10 〃	153.3	183.0	150.2	175.3	223.0	325.6	201.7
11 〃	146.1	179.7	152.4	173.4	226.7	338.4	202.8
12 〃	161.1	168.8	149.6	165.8	227.1	336.4	201.5
昭和26年平均	147.1	184.9	149.6	170.4	222.3	289.5	194.0

備考 本表は昭和22年の1ヵ年間平均を100とする。

昭和26年広島市自由物價小賣價格

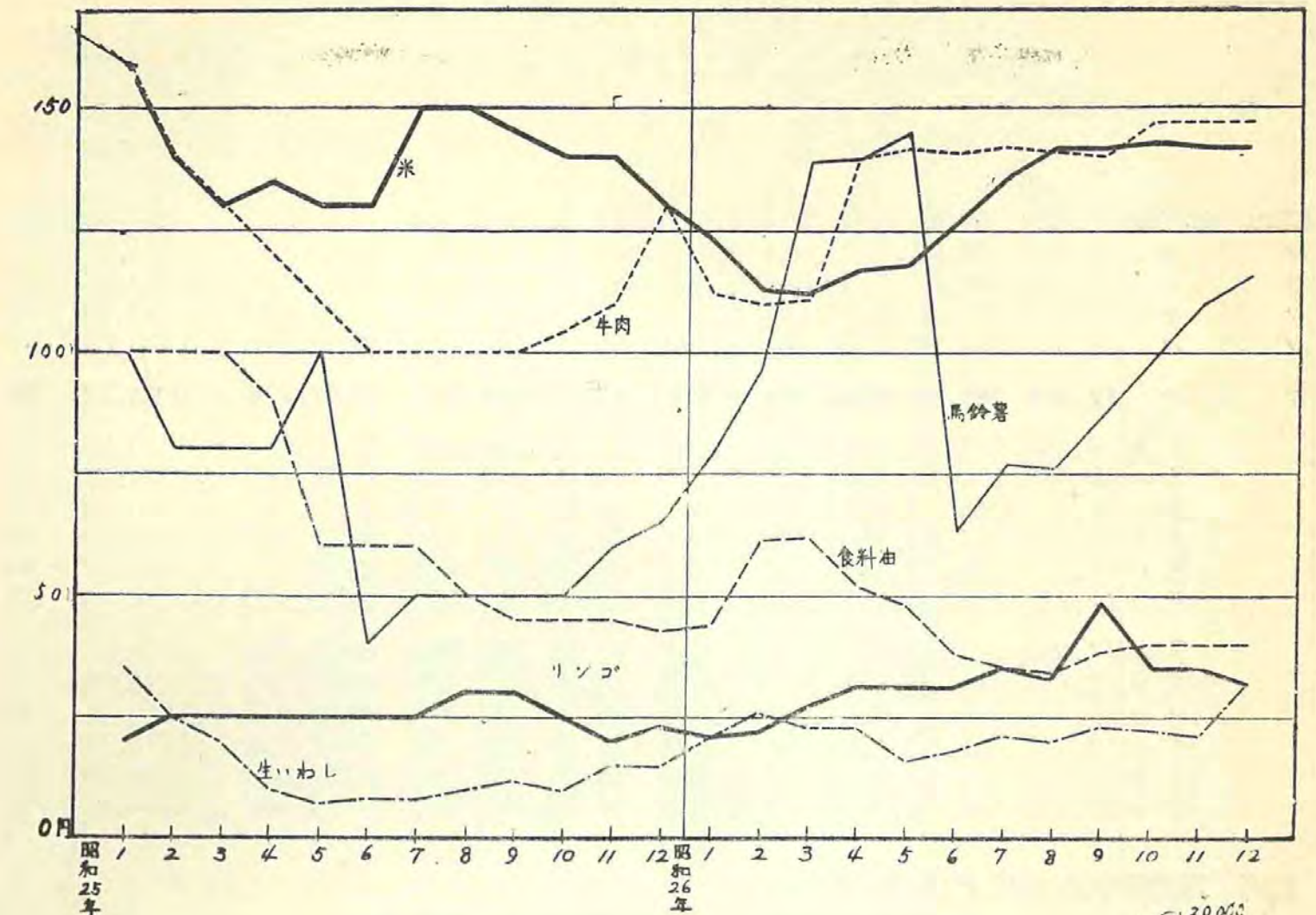
(単位=円)

(総理府統計局調)

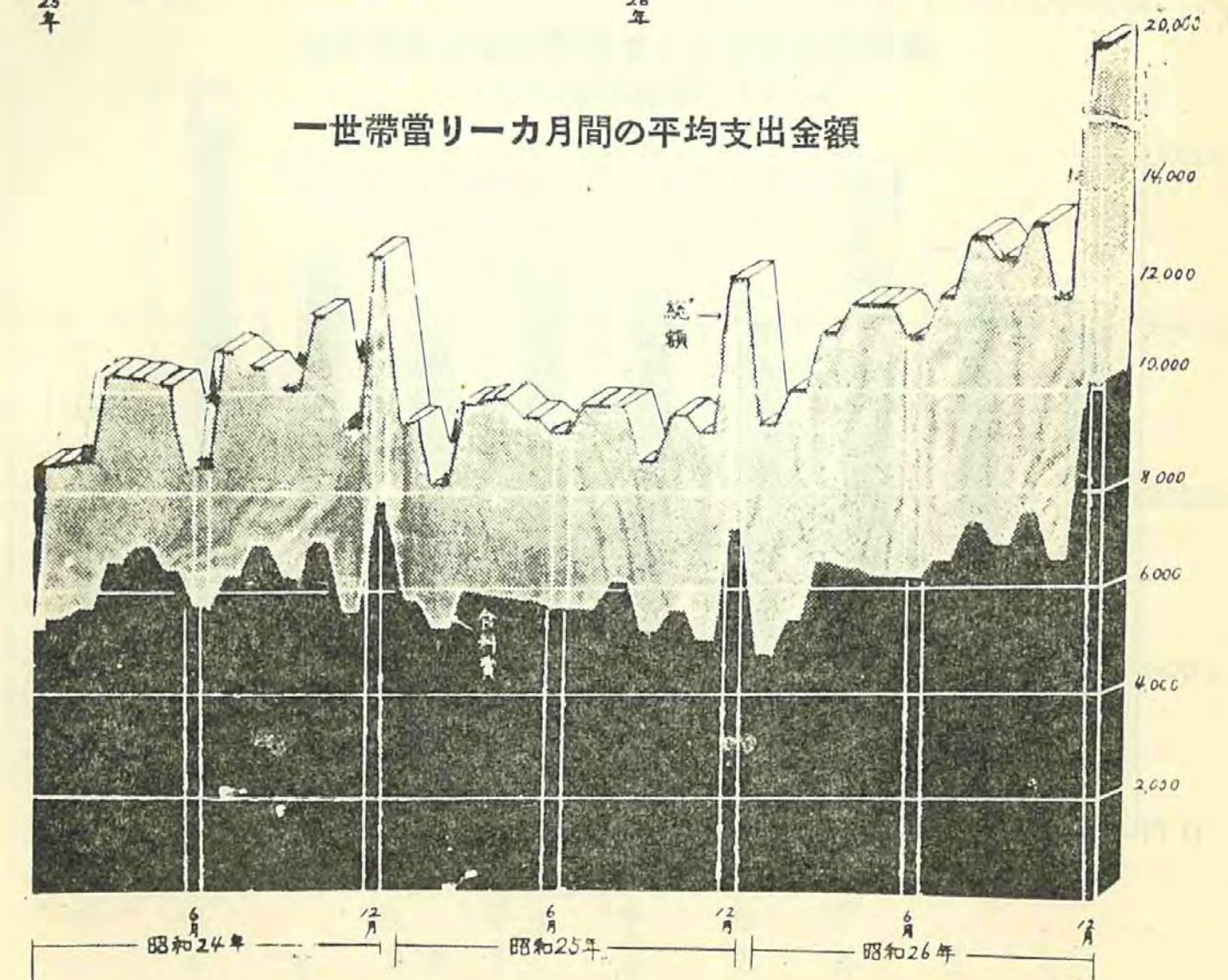
品名	単位	月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
精米	1 升	123	113	112	117	118	127	136	142	142	143	142	142
小麦粉	1 貫	222	217	213	213	226	220	212	219	228	229	231	231
食パン	1 斤	33	33	33	32	32	32	22	25	25	25	24	24
いむ	100匁	21	26	23	23	16	18	21	20	23	22	21	32
煮干	1 匁	73	77	87	104	128	116	100	77	78	81	82	81
牛肉	1 匁	112	110	111	140	142	141	142	141	140	147	147	147
豚肉	1 匁	120	120	129	147	148	150	149	152	152	156	154	151
牛乳	1本(1合)	10	10	11	12	12	12	13	13	13	13	13	13
鶏卵	100匁	88	72	72	74	72	74	86	99	105	110	97	96
甘しよ	1 貫	47	52	56	57	56	63	64	121	—	83	76	83
馬鈴しよ	1 匁	79	97	139	140	145	63	77	76	87	98	110	116
大根	100匁	3	4	5	3	—	—	5	—	—	8	5	4
玉ねぎ	1 匁	9	11	17	24	10	5	6	6	7	6	7	9
干のり	10枚	46	44	49	49	49	49	50	51	52	56	56	55
豆腐	100匁	15	15	15	15	15	15	14	13	13	13	13	15
醤油	1びん(2立)	108	109	121	128	127	130	172	171	171	172	171	171
味噌	100匁	25	27	28	28	28	28	29	32	31	30	29	29
砂糖	1 斤	183	184	161	148	156	154	92	92	93	91	77	74
食用油	1 合	44	61	62	52	48	38	35	34	38	40	40	40
りんご	100匁	21	22	27	31	31	31	30	33	38	35	35	32
木綿地	1ヤール	202	247	254	213	208	174	157	134	139	135	131	127
毛織地	1 匁	1,878	2,178	2,367	2,189	1,993	1,850	2,017	1,994	2,013	2,044	2,111	2,167
縫糸	5 匁	31	34	37	38	35	35	33	30	31	30	30	30
毛糸	1ポンド	2,406	2,639	2,633	2,786	2,643	2,383	2,583	2,333	2,181	2,163	2,119	2,161
靴下(男子用)	1 足	81	90	94	94	86	76	74	71	67	72	74	77
木炭	1 俵(15kg)	273	230	208	244	273	273	274	280	299	302	297	288
薪	1 束	29	29	29	30	31	31	30	31	31	32	32	32
ペーパー	1 コ(フルマル印)	197	266	243	245	247	246	253	254	250	250	254	246
なくず紙	100枚	9	10	12	13	13	12	12	12	12	12	11	11
石けん	1 コ	30	30	34	35	37	37	39	38	39	39	39	40

備考 小売物価統計調査報告による。

主なる食料品の市内自由物價小賣價格



一世帯當リーカ月間の平均支出金額



広島市における一世帯當り一カ月間の平均支出金額月別状況

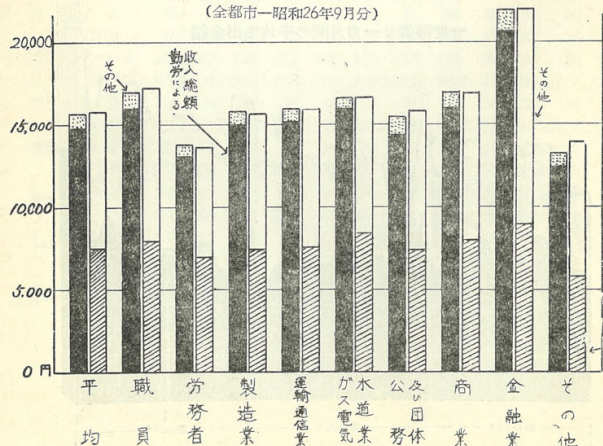
(昭和26年中)

区 年 月 別	分	合 計		内 容						貯 蓄 金 及 貯 蓄 金 の 増 減				一平均世帯人員	被世帯人員
		金額	昭和25年を100として対比	食 料		非 食 料		合計の100分比	被服費	光熱費	住居費	雑費			
				主食	非主食	主食	非主食								
昭和2年平均		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
22	ク	2,221	50.5	619	978	1,597	71.9	185	58	141	240	22	172	172	172
23	ク	4,397	100.0	1,171	1,933	3,050	69.4	390	162	198	597	79	4.45	172	172
24	ク	7,274	165.4	1,740	2,865	4,605	63.3	833	302	336	1,198	208	4.35	180	180
25	ク	10,072	231.4	2,582	3,633	6,215	61.7	964	387	474	2,032	673	4.42	180	180
26	ク	9,535	216.9	2,332	3,468	5,800	60.8	1,031	425	382	1,897	880	4.39	159	159
	ク	12,376	281.6	2,614	4,202	6,816	55.0	1,684	573	505	2,798	2,296	4.53	98	98
1	月	9,388	215.1	1,568	3,126	4,694	50.0	1,360	629	288	2,417	1,979	4.22	96	96
2	月	10,048	228.5	2,066	3,421	5,487	54.6	1,013	610	510	2,428	2,304	4.31	96	96
3	月	11,718	266.5	2,593	4,016	6,609	56.4	1,417	590	352	2,747	2,504	4.30	96	96
4	月	11,779	267.9	2,361	4,180	6,541	55.5	1,551	529	351	2,807	2,049	4.42	96	96
5	月	11,172	254.1	2,380	3,937	6,317	56.5	1,409	502	332	2,612	2,244	4.57	96	96
6	月	11,139	253.3	2,451	3,888	6,339	56.9	1,563	400	280	2,557	2,129	4.66	96	96
7	月	11,959	272.0	2,601	4,053	6,654	55.6	1,643	462	405	2,795	2,655	4.77	96	96
8	月	13,153	299.1	2,644	4,872	7,486	56.9	1,441	570	400	3,255	2,470	4.76	96	96
9	月	12,725	289.4	2,941	4,089	7,030	55.2	1,590	470	722	2,913	2,311	4.75	96	96
10	月	13,425	305.3	3,131	4,561	7,692	57.3	1,532	558	789	2,854	2,388	4.58	96	96
11	月	11,957	271.9	2,558	4,011	6,569	54.9	1,620	562	603	2,603	1,963	4.54	96	96
12	月	20,055	455.1	4,099	6,277	10,376	51.7	4,073	996	1,019	3,591	2,544	4.49	96	96

備考 総理府統計局C.P.S.による。

産業別世帯當り一カ月間の収入及び支出

(全都市一昭和26年9月分)



消費者物価地域差指数

(昭和26年中)

都 市 別	1 月 ~ 3 月		4 月 ~ 6 月		7 月 ~ 9 月		10 月 ~ 12 月	
	綜 合	食 料	綜 合	食 料	綜 合	食 料	綜 合	食 料
東 名 古 屋 京 阪 神 大 仙 島	100	100	100	100	100	100	100	100
防 今 府 治 岡 崎 長	92.6	92.1	93.5	94.6	93.2	94.7	92.1	93.6
廣 島	100.5	101.0	100.9	101.5	102.5	104.1	100.2	103.2
	90.1	89.9	90.4	89.0	87.4	85.2	86.2	83.5
	80.2	79.6	83.0	81.5	87.1	87.0	84.2	83.0
	85.1	85.3	91.5	91.5	92.3	93.4	89.5	92.1
	82.1	83.7	87.1	88.4	87.4	88.5	89.8	91.7
	90.3	89.5	94.5	94.4	96.4	96.8	97.1	97.9
	85.1	85.0	92.7	90.4	94.2	91.1	93.8	93.4
廣 島	87.4	88.7	94.4	96.7	93.9	97.0	94.1	96.1

備考 1. 昭和25年1月~2月平均は東京100に対し、広島は総合91.0食料92.7であつた。

2. 総理府統計局C. P. I. による。

広島市における煙草消費数量

(単位=千本)

(日本専売公社
広島地方局調)

品 種 別	昭和25年 1 月	昭和26年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
朝 日	1,468	62	88	62	55	56	61
光 緒	3,946	192	264	350	519	728	477
新 生	46,216	3,597	4,317	4,652	12,106	11,515	12,853
ゴールデンバット	71,331	1,040	1,333	1,466	2,524	941	—
ツッピ	132,286	12,739	13,728	15,202	10,107	9,320	8,690
ハキのり	162,188	14,761	15,944	5,787	12,420	11,186	12,071
ツッピ	7,593	—	—	—	—	—	—
ハキのり	10,886	3,185	102	818	1,322	974	371
ツッピ	17,477	29	4	564	3	1,599	377
ツッピ	24	—	—	—	—	—	—
ツッピ	622	34	33	30	82	112	56
合 計	454,037	35,639	35,813	28,931	39,138	38,431	34,926
営業所数	307	—	—	—	—	—	—

品 種 別	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
朝 日	521	269	183	183	236	312	2,088
光 緒	816	1,408	698	1,315	1,258	3,128	11,153
新 生	14,325	20,694	4,465	12,656	13,313	17,554	132,037
ゴールデンバット	—	—	—	—	—	—	7,304
ツッピ	8,921	16,142	4,518	9,155	10,520	11,568	130,610
ハキのり	10,513	19,221	1,542	14,029	10,567	9,151	137,182
ツッピ	—	—	—	—	—	—	—
ハキのり	1,532	34	380	388	416	548	10,040
ツッピ	411	1,182	292	2,322	842	650	8,275
ツッピ	96	40	45	35	75	41	679
合 計	37,135	58,980	12,113	40,083	37,227	42,952	439,368
営業所数	—	—	—	—	—	—	589

広島市における塩販賣高月別状況 (単位=キログラム)

年別 月別	昭和25年			昭和26年		
	小口販売	大口消費者販売	計	小口販売	大口消費者販売	計
1月	74,093	—	74,093	128,296	101,160	229,456
2月	61,240	—	61,240	86,782	115,600	202,382
3月	58,520	—	58,520	73,200	156,440	229,640
4月	51,197	69,760	120,957	74,442	94,610	169,052
5月	74,330	54,080	128,410	104,644	130,200	234,844
6月	93,520	133,400	226,920	162,953	112,640	275,593
7月	96,437	179,920	276,357	138,381	136,040	274,421
8月	98,063	268,560	366,623	108,312	100,080	208,392
9月	84,960	126,465	211,425	97,477	130,200	227,677
10月	111,003	136,280	247,283	128,026	179,240	307,266
11月	114,965	198,715	313,680	121,982	146,360	268,342
12月	175,553	228,960	404,513	199,391	150,000	349,391
合計	1,093,881	1,396,140	2,490,021	1,423,886	1,552,570	2,976,456
営業所数	221			225		

中央卸賣市場

昭和24年秋竣工した本市の中央卸売市場は、当時中国第一を誇る最新設備を有し、市場館は1階売場968坪、2階事務所484坪、地下発酵室55坪、計1,507坪であつた。しかし、本市の復興にしたがい取扱高は逐年増加し、最早や現施設を以てしては幾多の不備欠陥が続出し、運営に大なる支障を来している現状で、市場施設の整備強化と敷地の拡張が強く痛感されるに至り、市は昭和25年末隣接用地2,008坪を買収し市場の運営に万全を期したのである。昭和26年11月には91坪の冷蔵庫を完成し、なお引き続きその増設並びに附属施設の建設を実施計画中である。

機構

管理事務所—営業者の業務監督と市場設備の管理並びに倉庫業(冷蔵庫)

市場長—管理課(庶務係、管理係)

—業務課(農産品係、水産品係)

取扱品目別業者

(中央卸売市場調)

種別	卸売会社名	仲買人	種別	卸売会社名	仲買人
そ 菜	広島中央青果株式会社	人	生鮮水産	広島中央水産株式会社	人
〃	広島総合青果荷受企業組合		〃	広島県かき商業協同組合	
〃	広島青果株式会社	11	加工水産	広島海産乾物株式会社	11
果 実	株式会社西山商店広島支店		〃	株式会社 中村角商店	
〃	丸一青果株式会社	19	〃	〃 細田商店	11
〃	株式会社 佐伯友一郎商店		〃	広島共同食品株式会社	
〃	妙見青果有限会社	10	〃	広島塩乾物株式会社	11
〃	広島連合青果株式会社		びんかん詰	中久商事株式会社	
〃	広島青果共同荷受株式会社	10	〃	合名会社 楠原政之助商店	11
つけ物	広島味噌漬物株式会社		〃	株式会社 鈴木商店	
鶏 卵	広島鶏卵販売株式会社	10	合計	21社	

備考 日用品雑貨、れん製品営業、その他の業者30人がある。

地域別入荷状況

(昭和26年中) (単位=貫)

品 種 別			そ 菜 類	果 実 類	鮮 魚 類	水 加 工 品 類	計
産 地 別							
広 島 県	広島市	島 市	973,079	1,113,894	30,686	64,694	3,770,690
		安 郡	939,331				
		佐 〃	342,075				
		安 〃	166,908				
		山 〃	6,010				
	高加御三	田 〃	19,790				
		茂 〃	3,450				
		調 〃	12,588				
		原 市	5,952				
		〃 〃	321				
福沼青神甲	山 〃	180					
	隈 郡	37					
	品 〃	8,381					
	石 〃	1,410					
	奴 〃	22,345					
双比	三 〃	13,410					
	婆 〃	46,149					
	計	2,561,416	1,113,894	30,686	64,694	3,770,690	

北海道方面				16,790	—	5,950	166,666	189,406
東北方面	青岩福	森手島	県々々	12,237	600,349	—	1,358	613,944
				65,319	—	3,617	8,651	77,587
				—	3,484	128	22,770	26,382
	秋宮山	田城形	々々々	12,353	—	—	—	12,353
				—	—	—	23,651	23,651
—				3,012	—	—	3,012	
計				89,909	606,845	3,745	56,430	756,929
関東方面	茨栃群千東	城木馬葉京	県々々々都	13,508	—	—	130	13,638
				—	—	—	158	158
				1,447	—	—	—	1,447
	計	—	—	2,094	26,107	28,201		
		—	—	—	1,388	1,388		
14,955		—	2,094	27,783	44,832			
北陸方面	新富石	潟山川	県々々	6,588	—	—	—	6,588
				—	600	—	8,916	9,516
				—	1,245	—	5,370	6,615
				6,588	1,845	—	14,286	22,719
中部方面	山長静愛	梨野岡知	県々々々	—	1,157	—	—	1,157
				27,343	138,743	—	724	166,810
				1,802	220	1,251	12,525	15,798
				81	1	—	825	907
	計				29,226	140,121	1,251	14,074
近畿方面	三大兵	重阪庫	県府県	—	—	—	20,859	20,859
				34,223	4,970	—	2,595	41,788
				426	18	750	3,041	4,235
	計				34,649	4,988	750	26,495
中国方面	鳥島岡山	取根山口	県々々々	—	56,118	—	622	56,740
				221	10,264	58,074	76,216	144,775
				3,999	169,879	—	7,422	181,300
				5,969	14,905	68,522	20,468	109,864
	計				10,189	251,166	126,596	104,728
四国方面	徳香愛高	島川媛知	県々々々	—	—	—	2,678	2,678
				720	26,741	—	20	27,481
				19,814	373,584	7,217	25,353	425,968
				1,124	37,683	2,237	3,589	44,633
	計				21,658	438,008	9,454	31,640

九州方面	福佐長熊	岡賀崎本	県 々 々 々	12,874	3,100	—	910	16,884
				20	78	—	1,415	1,513
				—	4,349	9,983	60,740	75,072
				805	—	—	—	805
	大宮鹿兒	分崎島	々 々 々	176	2,550	10	1,652	4,388
10,575				161	1,139	12	11,887	
13,967				5,940	105	12	20,024	
38,417				16,178	11,237	64,741	130,573	
外 国	合 米	湾 国	—	79,330	—	—	79,330	
			—	151	—	—	151	
			—	79,481	—	—	79,481	
そ の 他 計			1,122	35	1,266	931	3,354	
合 計			2,824,919	2,652,561	193,029	572,468	6,242,977	

月別入荷状況

(単位=貫)

月 別	品 種 別	そ 菜 類	果 実 類	鮮 魚 類	水 産 加 工 品 類	計
昭和25年		3,476,512	1,965,566	285,194	400,393	6,127,665
〃 26〃		2,824,919	2,652,561	193,029	572,468	6,242,977
1 月		180,281	211,159	22,014	50,063	463,517
2 〃		176,449	191,761	19,135	30,213	417,558
8 〃		231,691	145,328	14,631	31,363	423,013
4 〃		204,280	180,369	12,300	47,367	444,316
5 〃		267,620	195,762	18,102	40,082	521,566
6 〃		249,185	198,195	16,323	43,708	507,411
7 〃		236,686	284,543	13,201	37,783	572,213
8 〃		199,420	290,561	11,746	38,745	540,472
9 〃		237,964	199,496	14,494	43,946	495,900
10 〃		246,630	190,613	16,805	60,850	514,898
11 〃		276,291	260,860	17,151	69,834	624,136
12 〃		318,422	303,914	17,127	78,514	717,977

広島中央魚市場

本市及び周辺郡部の鮮魚消費はばく大な数であるが、その取扱の大半を供給しているのがこの市場である。魚市場としては、中国地方において第一の取扱量を示しており、波止場を備え、船より小売業者へ直結する8つの協同組合により、一元的販売方法で取引を行っている。

魚 類 入 荷 状 況

(単位=貫)

(広島中央市場商業協同組合調)

	昭 和 2 3 年	昭 和 2 4 年	昭 和 2 5 年	昭 和 2 6 年
入 荷 量	3,566,908	5,233,900	5,747,894	5,825,149

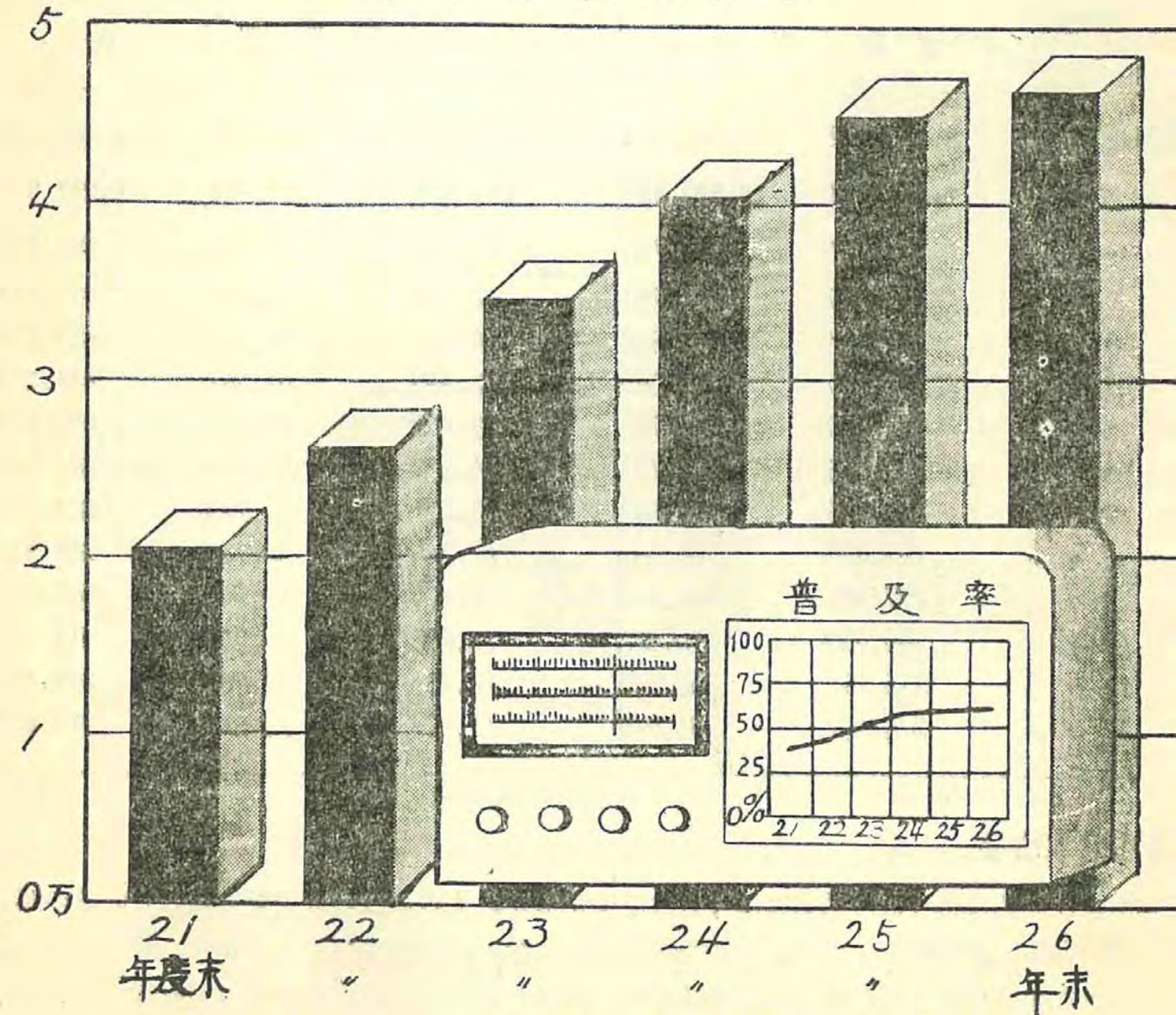
昭和26年魚類消費分布状況 (単位=貫)

市 内	郡 部	加 工	計
2,073,753	1,770,845	1,980,551	5,825,149

文 化 ・ 娯 楽

市民は、高い文化程度と健全な娯楽機関を備えた広島建設を念願している。現在映画劇場は既に戦前にも劣らぬ復興振りであり、ラジオの普及率は、市内世帯の61%を占めている。

ラ ジ オ 聴 取 推 移



市内ラジオ聴取者状況

(広島中央放送局調)

年 度 別	区 分	聴 取 契約者数	増 加 数		減 少 数		年間増加数	普及率
			加 入	転 入	廃 止	転 出		
昭和21年度末		20,338	9,317	708	4,742	1,280	4,003	39%
〃 22 〃		26,144	7,852	1,048	2,436	658	5,806	44
〃 23 〃		34,443	10,181	1,716	2,861	737	8,299	53
〃 24 〃		40,373	8,167	2,035	3,058	1,214	5,930	59
〃 25 〃		45,068	7,626	2,028	3,461	1,498	4,695	61
〃 26年12月末		46,614	4,212	1,673	3,094	1,245	1,546	61

日刊新聞購読者数

(県新聞販売連絡事務所調)

年 別	月別	1 月	2 〃	3 〃	4 〃	5 〃	6 〃	7 〃
昭和25年		118,850	117,223	117,679	120,077	119,896	119,744	121,024
〃 26 〃		133,952	126,165	126,634	126,966	127,160	123,788	123,644
年 別	月別	8 〃	9 〃	10 〃	11 〃	12 〃	年間一日平均購読者数	
昭和25年		121,710	122,748	132,004	129,170	127,046	122,264	
〃 26 〃		124,060	122,263	97,384	82,290	78,249	116,046	

備考 1. 昭和25年は毎月10日現在、26年は毎月1日現在の購読者数である。

2. 昭和26年10月以降の購読者の激減は単独発行の夕刊中国が中国新聞の夕刊となつたためによる。

市内各劇場、所在地及び入場者数

(昭和26年中)

(県税事務所調)

名 称	所 在 地	入 場 者 数	名 称	所 在 地	入 場 者 数
東 洋 座	鉄 砲 町	511,566	双 葉 映 画 劇 場	立 町	311,905
広島興映映画劇場	段原大畑町	444,642	広 島 映 画 劇 場	荒 神 町	325,304
広 島 帝 国 劇 場	鉄 砲 町	479,271	福 屋 名 画 劇 場	八 丁 堀	341,009
ラツキー映画劇場	立 町	370,799	銀座東宝映画劇場	斜 屋 町	281,579

名 称	所 在 地	入場者数	名 称	所 在 地	入場者数
平 和 劇 場	荒 神 町	266,944	有 楽 劇 場	小 網 通	177,578
太 陽 館	的 場 町	240,833	衆 楽 映 画 劇 場	己 斐 町	121,111
旭 映 画 劇 場	横 川 町	8,907	草 津 花 月 劇 場	草 津 本 町	7,741
ステーションシネマ	松 原 町	271,043	南 座	皆 実 町	139,892
文 化 映 画 劇 場	八 丁 堀	240,320	新 天 地 劇 場	堀 川 町	116,992
日 本 劇 場	荒 神 町	117,932	港 映 画 劇 場	宇 品 町	106,347
広 栄 座	大 手 町	58,968	合 計 (21館)		4,940,683

備考 新天地劇場は9月より開館した。

電 氣

市内の電気設備は、被災後たゆまない再建によつて整理段階が一応終了し、数的にはほとんど戦災前の設備に回復したが、都市計画の進ちよく、市民の文化生活に伴う電力需要及び生産力の増強による大口電力の需要率が、需給率を上廻っている。しかし建設費、補修改良費の増加、資金難等による経済的制約により、需給率が需要率に伴わない現状である。

しかし、電力資源の開発、変電及び配電設備の増強、配電体制の合理化等により、規定電圧を保持し電力損失を極力避けて、伸長する需要を充足し、無停電及び無制限供給を保つため、あらゆる困難を克服して鋭意努力が続けられている。

なお、昭和25年11月に公布された電気事業編成令に基づいて、中国配電株式会社及び日本発送電株式会社は共に解散し、昭和26年5月1日新に中国電力株式会社が設立され、その本店を小町に置き、主要事業所として市内に支店(1)、営業所(2)、サービスステーション(4)、散宿所(7)、技術研究所(1)、製作所(2)、倉庫(2)、及び変電所(7)、を設置した。

電気設備関係復興状況

(中国電力株式会社調)

年 次	区 分	電 灯 需要家数	電 灯 電灯々数	電 力 需要家数	電力容量	支持物数	線路延長	変圧器数
戦 災 前		戸	灯	戸	KW	本	km	台
昭和21年3月末現在		75,101	386,740	4,550	51,600	7,252	213	2,882
〃 22 〃		29,186	136,514	677	27,193	5,405	123	1,529
〃 23 〃		33,951	156,121	1,355	29,024	4,755	245	2,633
〃 24 〃		48,484	211,256	2,021	43,972	5,543	246	2,944
〃 25 〃		52,159	272,011	1,917	41,044	6,453	305	3,242
〃 26 〃		58,378	313,310	2,423	51,000	7,054	331	3,847
〃 26 〃		63,536	374,450	2,714	49,128	7,207	340	4,307
〃 26 年 9 月末現在		66,337	483,992	2,799	53,934	7,342	350	4,794

販 賣 電 力 量

年 月 別	電 灯		電 力		
	従 量 灯	大口電灯	小口電力	大口電力	業 務 用
昭和25年4月～12月	KWH 10,122,371	KWH 2,235,594	KWH 6,524,339	KWH 40,506,676	KWH 4,930,061
昭和26年	16,339,739	3,521,953	9,700,013	59,478,266	7,901,231
1 月	1,640,328	331,548	767,472	5,078,689	808,401
2 〃	1,681,138	362,981	728,365	4,787,050	1,117,574
3 〃	1,426,210	318,787	723,318	4,493,662	750,657
4 〃	1,461,780	339,441	776,855	5,375,358	799,609
5 〃	1,390,600	316,396	824,444	5,248,477	647,105
6 〃	1,279,048	304,807	877,288	5,491,435	644,487
7 〃	1,191,683	273,529	918,706	5,479,504	524,576
8 〃	1,226,411	271,999	962,593	5,370,991	542,984
9 〃	1,144,851	245,413	866,328	4,736,215	484,663
10 〃	1,086,192	230,609	746,704	4,061,463	466,417
11 〃	1,263,411	237,468	723,224	4,570,494	498,943
12 〃	1,548,087	288,975	784,726	4,784,928	615,815

備考 1. 昭和26年3月31日現在使用KW数2,721/KW (年間約13,600,000KWH) の定額電灯並びに臨時電灯を除く。

2. 臨時及び特殊電力を除く。

變 電 所 設 備

戦後、平和都市建設の具体化に伴つて電力需要が増加し、地域的需要の分布が戦時中に比して異つて来たので、これに対処して変電設備の増設及び移転が計画され、先ず昭和25年12月に白島変電所 (出力6,000KVA) が新設された。

次に、昭和27年度の計画として、広島港変電所 (出力13,500KVA) 増設 (出力13,500KVA増) 江波変電所 (出力3,000KVA) の移設及び増設 (出力3,000KVA増) 国泰寺町に中央変電所 (出力6,000KVA) 新設等の実現に努力しつつある。

更に、今後の市民の文化生活に伴う電力の需要及び生産増強に伴う大口電力の需要増加を勘案し、電源の開発に全力を傾注すると共に、変電設備及び配電設備の充実強化によつて、市民の需要に応じ得るよう努力している。

ガ ス

ガス施設は高須、己斐、横川、白島方面等市の西北部周辺地区へのガス供給敷設が完成して、市周辺部の敷設はほぼ終了したので、これら周辺部より市の中心部に向けその供給管拡張に努力している。

最近都市計画道路の整備が進むにつれ、家屋の建設は著るしく、そのため需要戸数も急激に増加した。本年は特にガス風呂、ストーブ、料理器などの設置が増加しつつあることは注目される。

なお、供給は24時間終日供給を実施しているが、以上の如く次第に需要量がふえてきたので、供給の万全を期するために、近く休止中のガス溜の操業を考慮している。更に電力事情の悪い渇水期の夏季等においても供給制限を行わず、却つて停電に備えたガスランプの設置をするなど、市民の文化生活向上に貢献している。

ガス施設状況

(広島瓦斯株式会社調)

区 分	発生 炉	ガス 溜	排 送機	圧 送機	脱 硫器	冷 却機	揚 炭機	押装 炭出機	敷 設	ガス 管	屋 内管
原 爆 前 設 備 数	門 8	基 2	台 3	台 2	基 3	基 4	台 1	台 1		m 264,300	m 112,302
昭和24年末現在復旧数	2	1	3	—	2	4	1	1		217,534	37,228
〃25年末 現在か働設備数	2	1	3	—	2	4	1	1		233,702	51,504
〃26年末 現在 〃	4	1	3	2	2	4	1	1		262,336	63,961
原 爆 前 と の 対 比	50%	50%	100%	100%	67%	100%	100%	100%		99%	57%

ガス消費者内訳

区 分	家 庭	商 業	工 業	医 業	公 用	合 計
昭和23年10月末現在	戸 1,925	戸 16	戸 12	戸 34	戸 13	戸 2,000
〃24〃12 〃	3,945	434	16	118	27	4,540
〃25 〃	4,445	658	20	135	32	5,290
〃26 〃	5,957	778	25	143	36	6,939

ガス生産量

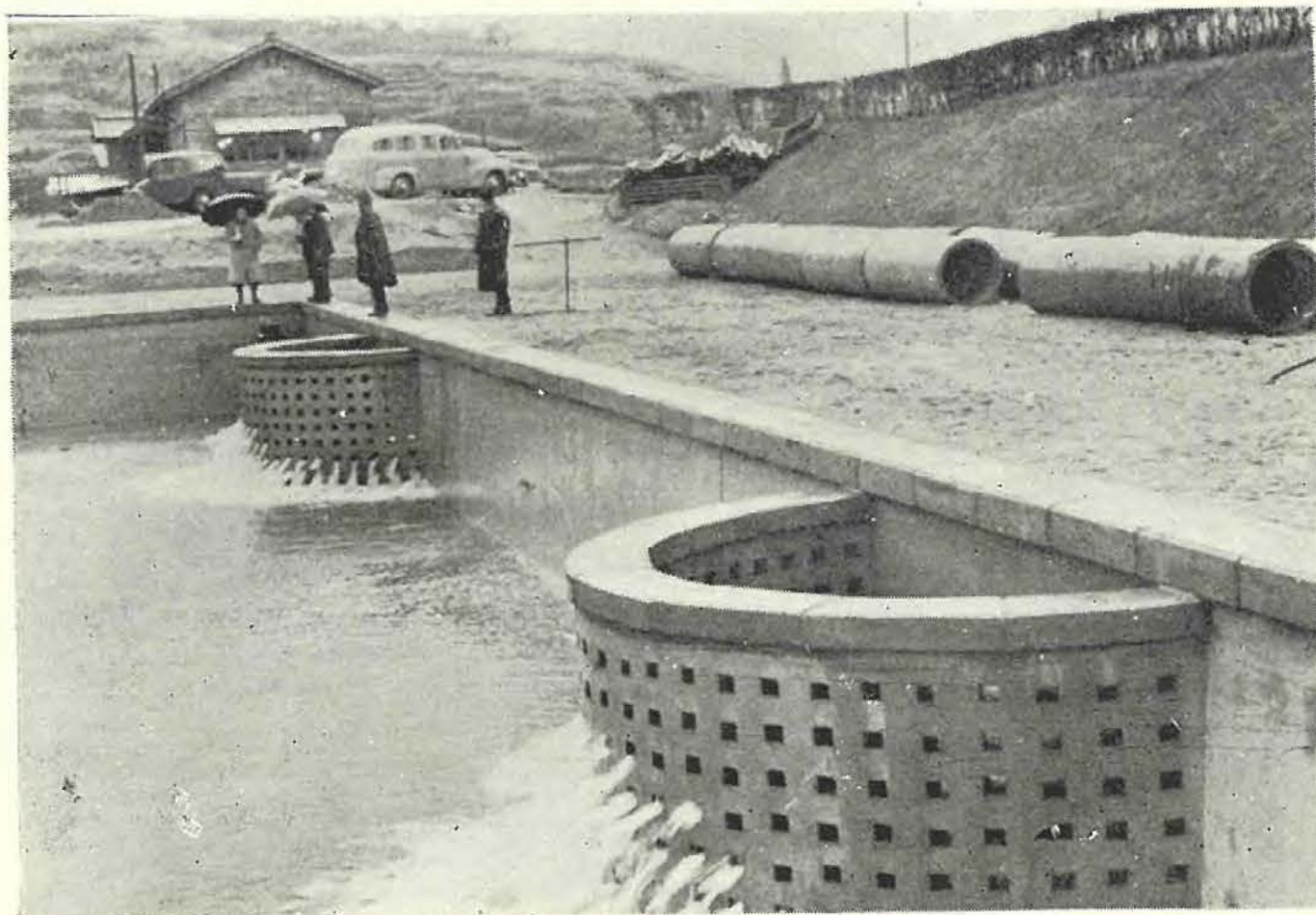
区 分	石炭消費量	ガス生産量	コークス生産量	タール生産量
設 備 能 力	トン 2,610	m ³ 1,252,800	トン 1,723	トン 131
現 在 か 働 能 力	1,290	619,200	877	65
昭和24年12月末現在	508	237,450	342	25
〃25 〃	693	391,320	464	35
〃26 〃	1,099	541,163	748	47



新築なつた市水道局庁舎



戸坂取水場



完成した9号ろ過池

上 水 道

本市水道は、明治30年軍用水道として創設せられ、以来市勢の発展に伴い数次の拡張工事を行い、昭和10年3月竣工した第3期拡張工事及び同17年3月完成した水源池応急施設工事によつて、1日最大10万立方メートルを給水しうる設備を有することとなつた。

この間、支那事変の拡大と国際情勢の緊迫により生産拡充に基く軍需工場の設立、特務給水の増大を来し、ことに広島工業港の完成を控えて工場、船舶、その他給水量の激増が予想せられるに至つたので、昭和16年度において同30年末における総人口738,000人給水人口646,000人と推定し、1日1人当り最大給水量0.3096立方メートル1日最大給水量20万立方メートルとする第4期水道拡張工事を計画し、諸設備の建設をすることとしたのであつたが、本工事着手と同時に大太平洋戦争に突入した為情勢の悪化により、工事の施行困難となりほとんど中止状態に立至つた。昭和20年8月原爆により上水道施設もまたかい滅的被害をこうむつたのである。

その後戦災復旧工事の進行と共に、これが未竣工工事の整理補修を行いつつある。しかしながら本市上水道は前記の通り、第3期拡張工事の施設が主体であり、一部は遠く創設後50余年経過の老朽施設であり、しかも戦前戦後を通じて急激な需要の増加に対応するため、非常の操作を継続して来たため、諸施設の能力は急速に衰退し、計画給水能力1日最大10万立方メートルに対し、現在では1日約6万立方メートル強が最大能力である。このため廃ち設備を一部再使用し戦時と同様無理な操作を行いつつあるが、なお給水に支障を来さず現状である。

ここにおいて、速かに前記の第4期拡張工事を平和記念都市建設の構想に基ずき計画変更を行い、昭和38年度における総人口40万人を基準とし、給水人口35万人1日1人当り最大0.340立方メートル、1日最大給水量12万立方メートルの設備を整備するより目下計画実施中である。

水道設備拡張推移

(水道局調)

区 分	起 工 年 月	竣 工 年 月	計画配水量 (1人/日)		計画配給水 人 口
			平 均	最 大	
創 設	明治29.5	明治31.8	70.79	106.19	120,000
第1期拡張工事	〃 40.3	〃 41.3	70.79	106.19	160,000
第2期 〃	大正10.5	大正13.6	99.11	148.66	250,000
旧配水池覆蓋工事	〃 13.6	〃 14.2	—	—	—
塩素滅菌設備	〃 14.1	〃 14.8	—	—	—
内燃機関すえ付	〃 15.4	昭和2.3	—	—	—
油送設備	〃 15.8	〃 2.3	—	—	—
第3期拡張工事	昭和5.8	〃 10.3	127.4	191.14	400,000
比治山ポンプ所設置	〃 14.5	〃 15.2	—	—	—
水源池応急施設	〃 14.12	〃 17.3	—	—	400,000
元宇品水圧調整場工事	〃 25.12	〃 26.3	—	—	—
大洲水圧 〃	〃 26.2.28	〃 26.3.31	—	—	—
第4期拡張継続工事	〃 26.7.10	—	230	340	350,000

水道復舊並びに補強改良事業種別

事業名	総工費	昭和26年度 迄実施額	昭和27年度以 降残工事額	摘 要
	円	円	円	
水道事業費	122,000,000	36,320,000	85,680,000	区画整理事業に伴う配水管の 移設工事（昭和25年度より5 ヵ年計画再検討）
水道復旧々	39,003,750	39,003,750	—	被災施設の復旧工事（昭和2/ 年度より5ヵ年）
水道改良々	689,400,000	31,790,000	657,610,000	第4期拡張工事の整理工事 （昭和25年度より5ヵ年計画）
水道増補改良々	8,000,000	8,000,000	—	単年度毎の改良工事（昭和24 年度実施済）
失業応急々	11,596,313	11,596,313	—	失業対策事業によるろ過池補 修工事（昭和24年度より3ヵ 年継続）
第4期拡 工事張々	846,000,000	26,870,000	819,130,000	水道改良事業を本工事に計画 変更 24,986,000円
災害復旧事業々	122,286,000	24,986,000	97,300,000	25,26年キジア、ルース、ケ イト災害 65,300,000円
合 計	1,838,286,063	178,566,063	1,659,720,000	

給水戸数及びせん数

		計 量								計
		家事用	官公署 学校用	営業用	工場用	湯 屋 営業用	船舶用	原動力工 一時用その他		
昭和現 和/2在 24月	給水せん数 給水戸数	138 138	254 254	1,718 1,718	202 202	58 58	2 6	24 24	2,396 2,400	
昭和現 和/1在 26月	給水せん数 給水戸数	896 384	9,559 266	5,857 2,638	561 189	66 66	— —	40 —	16,979 3,543	
昭和現 和/1在 27月	給水せん数 給水戸数	1,371 865	9,382 277	6,801 3,463	705 278	836 76	3 —	164 164	19,262 5,123	
		定 額						合 計		
		専 用	連 合	共 用	計					
昭和現 和/2在 24月	給水せん数 給水戸数	32,937 32,937	— 7,573	1,411 7,446	34,348 47,956	36,744 50,356				
昭和現 和/1在 26月	給水せん数 給水戸数	49,585 34,265	— 7,458	1,541 7,218	51,126 48,941	68,105 52,484				
昭和現 和/1在 27月	給水せん数 給水戸数	52,328 35,471	— 6,305	1,491 7,058	53,819 48,834	73,081 53,957				

備考

共用せん内訳 { 昭和24年/2月 公設 418 私設 995
 " 26" 1" " 604 " 937
 " 27" 1" " 586 " 905

取水、ろ過池、送水ポンプ設備状況

区分	取水設備			ろ 過 池				送水ポンプ		
	取水能力	送水能力	取水用ポンプ台数	池 数	総面積 (有効面積)	1/昼夜 標準ろ過速度	1/昼夜ろ過能力	塩素減 菌設備	台 数	名称 型式
戦前	m ³ /s 0.9	m ³ /s 0.9	4 予備(1)	10 予備(2)	16,563 (13,033)	7.2	93,838	3	7 予備(2)	5寸巻 ポンプ 横型
戦後	0.96	0.96	6 " (2)	12 " (2)	21,517 (16,563)	5.0	82,815	3 " (2)	7 " (2)	" "

口徑別量水器設置数

小口徑								大口徑							合計		
13mm		16mm		20mm		25mm		計		mm	〃	〃	〃	〃		〃	計
單匣	復匣	單匣	復匣	單匣	復匣	單匣	復匣	單匣	復匣	30	40	50	75	100		150以上	
—	2,262	—	—	—	779	—	1,011	—	4,052	—	178	99	67	33	20	397	4,449

配 水 状 況

(単位=百万石)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和15年	11.2	10.6	11.8	12.8	13.9	13.6	15.4	14.8	14.1	14.0	13.4	13.4	159.0
" 16 "	12.6	11.9	13.0	13.2	15.1	14.9	16.3	16.3	14.6	13.7	13.7	12.6	167.9
" 17 "	11.6	10.5	12.4	12.6	13.5	13.1	16.0	15.6	14.0	13.4	12.2	12.2	157.1
" 18 "	10.8	9.5	10.8	11.0	12.6	12.7	14.7	15.1	13.4	12.9	12.0	12.1	147.6
" 19 "	11.4	10.7	11.4	11.7	13.5	13.7	14.7	14.2	13.0	13.0	12.2	12.2	151.7
" 20 "	11.4	10.1	11.7	12.2	12.9	13.0	14.0	10.9	10.2	11.0	11.1	11.8	140.3
" 21 "	10.9	10.3	11.6	12.1	12.6	14.1	13.8	13.9	12.3	12.6	11.0	9.8	145.0
" 22 "	11.2	9.8	12.5	12.5	13.2	12.4	13.0	13.0	13.2	13.6	12.3	12.8	149.5
" 23 "	12.8	11.2	12.0	11.8	12.4	13.1	13.0	14.0	13.2	13.2	12.6	13.4	152.7
" 24 "	12.5	9.5	12.4	14.6	14.4	12.3	13.4	15.4	14.8	14.8	13.5	14.3	161.9
" 25 "	13.8	11.0	14.4	13.7	14.3	13.9	14.9	15.7	14.9	15.1	13.9	14.4	170.0
" 26 "	14.3	12.9	14.4	14.3	14.8	14.7	13.9	13.9	13.9	13.5	13.0	13.9	167.5

配水管

管種別 口径別	鑄鉄管延長 (鋼管を含む)	エタニット パイプ延長	水 管 橋
mm	m	m	
75	5,125	—	
100	246,931	1,750	
125	18,686	—	
150	34,694	800	
175	8,167	—	
200	8,150	—	
250	16,508	—	西大橋、横川橋、相生橋、府中大橋 計 4
300	18,422	—	御幸橋、新大洲橋 計 2
350	4,939	—	本川橋、已斐橋 計 2
400	8,395	—	元安橋、京橋、新大橋 計 3
450	13,115	—	猿猴橋、明治橋、住吉橋、万代橋 計 4
500	5,326	—	三篠橋 計 1
550	2,958	—	
600	666	—	
650	735	—	
700	—	139	
750	2,005	—	
900	155	—	神田橋、栄橋 計 2
合 計	394,977	2,689	

年度別配水状況

	年 間 總配水量	/日最大配水量		1日1人 平均配水量		年 間 有 効 水 量		
		月日	水 量	平 均 配水量	平 均 配水量	有收水量	無收水量	計
昭和21年度	m ³ 26,156,265	7.10	m ³ 82,887	m ³ 71,661	m ³ 0.251	m ³ 5,231,253	m ³ 10,462,506	m ³ 15,693,759
〃 22 〃	26,910,355	3.30	82,600	73,727	0.264	6,458,485	10,225,934	16,684,419
〃 23 〃	27,486,234	8.5	83,894	75,099	0.274	9,620,182	7,421,283	17,041,465
〃 24 〃	28,505,405	8.16	85,739	78,097	0.295	10,546,999	7,411,405	17,958,404
〃 25 〃	28,951,800	8.24	86,320	79,320	0.340	11,580,720	6,948,432	18,529,152
〃 26 〃	30,227,475	10.20	87,115	82,815	0.360	13,602,363	6,347,769	19,950,132

下水道

一、本市地勢の特異性と下水道

本市は太田川のデルタ地帯に形成せられた都市であつて、一般に地勢平たんで市街地の大部分は感潮区域に入り、高い堤防を築いて辛うじて河水の浸入を防いでいる状態である。

従つて、昇潮時に降雨が続けば他都市と比較にならない少雨量で、たちまち市内数カ所に浸水家屋の続出をみる現状で、下水道は本市にとって衛生及び保安上にとどまらず、産業の振興上よりするも、最も重要且つ緊急整備を要する施設である。

二、沿 革

本市の下水道は前述の特異な地勢のため、我が国でも最も古い歴史を有しており、明治33年に早くも事業計画を樹立し、明治41年3月に事業費1,463,000円をもつて着工し、主として旧市内一円約5/3ヘクタールの排水区域に施行せられ、大正5年5月に竣工したのである。

その後、昭和9年度迄には若干の増補改良工事を施して来たのであるが、市勢の発展に対して在来の施設では到底本来の目的を達することが出来なくなつたので、根本的な下水道計画樹立の必要を認め、昭和10年度以降、特に下水道調査費を計上して鋭意研究中のところ支那事変、ついで太平洋戦争となり、遂に原爆を受けるに及んで当時の貴重な調査資料はほとんど散逸又は焼失した。しかし、終戦後の都市復興計画に伴い再び調査、検討に数年を要して遠大な将来計画を有する近代的水道計画を樹立し、昭和24年度頃より都市復興5カ年計画事業の推進に添じた改良下水道事業に着手し、以来鋭意進行中である。

三、改良下水道の計画概要

1. 全体計画

既設下水道は旧市内約500ヘクタールの施設範囲であつて、全市域の約17%に過ぎず且つその吐口は最寄の河川に直結しているため、高水時には下水が全く排出せず、却つて河水が逆流はん濫する状態で、特に豪雨時には毎年数度にわたり多大な浸水被害を繰返している。かかる小規模、不完全な既設下水道施設に対し、戦災復興事業に伴う土地区画整理により、根本的な街路網の変更を來たしたので、戦後の本市下水道施設は全市のほとんど大部分が皆無に等しい状態となつたので、下水道全体計画を概ね次の如く樹立するに至つたのである。

全体計画の概要

(下水課調)

計画区域	排水面積	計画排水人口	排水方式	下水基準				施設			事業費概算
				降雨強度	雨量算定方式	一最汚時汚 人入水間水 一日大量最大量			管きよ	ポンプ場	
全市域 (山林その他を除く)	ヘクタール 約3,400	人 400,000	合流式	秒 時 45	ビエルク リーチー グラー公 式	ℓ 350	ℓ 490	m 約353,000	カ所 15	カ所 6	約30億円

2. 第1期下水道築造事業

全体計画を実施するには、総額30億円余の巨費を要する大事業であつて、本市財政の現状よりしては到底短時日で完成することは不可能であるので、これを第1期、第2期に分けてその重要度に応じて施行する方針とした。

即ち第1期計画においては最も急務を要する戦災区域内の街路に対し、幹枝線下水道を施行すると共に、必要な排水ポンプ場を築造せんとするものである。特に市の中心部を負担する白島、八丁堀、紙屋町、千田町等を包含する「デルタ」に対しては、公共文化施設の急速な進展が予想せられるので、下水処理場を築造して平和記念都市として適切な下水道の完備を期した。本事業は施行年度を昭和26年度以降10カ年継続事業として当局の認可を受けたもので、昭和26年度においてはその約4%を施行した。なお、昭和26年度の事業概要は次表の通りである。

第1期下水道築造事業計画概要

施行区域	排水面積 ヘクタール	計画排水人口	施設			起工年月日	竣工 予定年月日	事業費概算 円
			管きよ	ポンプ場	汚水処理場			
戦災区域の全部	約1,170	163,400	約221,100m	4カ所	1カ所	昭和26年4月1日	同36年3月31日	1,579,600,000

昭和26年度第1期下水道築造事業施行概要

種別	工種	数量	工費	完成率	摘要
管きよ築造	千田、鶴見、江波排水区幹枝線工事	4,740m	54,851,000円	3%	(昭和26、27両年度施行計画)
ポンプ場	鶴見ポンプ場築造第1期工事	1カ所	11,200,000円	12%	
合計			66,051,000円	4%	

四、施設の概要（昭和26年度末現在）

1. 管渠 暗きよ

種別	形状	延長	径別延長内訳				
			40cm未満	40cm以上	45cm以上	100cm以上	150cm以上
陶管	円形	140,900m	106,600m	11,100m	23,200m	—	—
鉄筋コンクリート管	〃	13,730	7,210	1,500	3,490	1,240	290
暗きよ	馬てい形、船形卵形	9,100	—	—	3,570	4,820	710
合計		163,730	113,810	12,600	30,260	6,060	1,000

開きよ

種別	延長	幅員別延長内訳			
		100cm未満	100cm以上	200cm以上	300cm以上
硬質構造（石積）	196,800m	38,760m	90,160m	42,630m	25,250m

2. ポンプ場

名称	ポンプ施設				排水能力	排水区域	
	型式	口径	馬力	原動力		区域名	面積
宇品抽水所	横型軸流	800mm	150馬力	電動	4台 5.80m³/s	宇品一円	207ヘクタール
庚午 〃	〃	750	100	〃	3 3.60	庚午、草津、古田	509
観音 〃	〃	750	100	〃	3 3.60	観音、天満、中広	349
御幸橋 〃	堅型軸流	800	150	〃	2 3.20	基、柳、八丁堀、平野、袋、国泰寺	338
千田 〃	〃	800	150	〃	2 3.20	千田、大手	100
大洲 〃	〃	800	100	〃	3 4.03	大洲、矢賀、蟹屋、段原	504
大河 〃	複吸式水巻	650	80	〃	3 3.12	皆実、翠、段原、霞、旭、大河	403
東雲 〃	〃	450	40	〃	2 0.82	東雲、段原	234
牛田 〃	〃	600	60	〃	1 0.71	牛田一円	124
榎町 〃	〃	600	60	〃	1 0.71	榎、堺、新市	16
常盤 〃	〃	550	60	〃	1 0.57	白島	53
広瀬 〃	〃	550	60	〃	1 0.57	広瀬	19
青崎 〃	〃	350	30	〃	3 0.65	向洋	131
合計					29 30.64		3,042

3. 樋門その他

種別	型式	構造	数量
樋門	上下開閉式 自在とびら開閉式	(鉄製とびら、電動まき揚) (木製とびら、手動まき揚)	カ所 44 12 57
吐合口計	自在とびら開閉式	木製とびら	カ所 93 93

かんがい所

名 称	ポンプ施設					かんがい能力	かんがい区域	
	型式	口径	馬力	原動力	台数		区域名	面積
空鞘かんがい所	複吸水 うず巻	mm 400	馬力 53	電動	1	m ³ /s 0.34	観音農区	86
小網	〃	300	25	〃	2	0.17	〃	86
河原	〃	400	80	〃	1	0.50	江波	79
吉島	〃	300	25	〃	1	0.19	吉島	60
新多聞	〃	350	30	〃	2	0.44	東雲	167
合 計					7	1.64		478

市政の広報活動

よい市政の実現は、市民の何人もが希望するところである。
市民に対して市政の実態、施策の目標、当面の問題等を絶えず知らせることにより、正しい認識を与え、市政への関心を高めることは、民主市政確立に不可欠の要件である。本市では、これら対市民教育の啓発活動を実践するため、昭和25年6月に広報係を設置した。
発足以来1年6ヵ月、今や漸く態勢は整備され積極的な活動を展開している。
次に昭和26年中の広報活動を略述する。

一、公聴活動

1. 市政懇談会……市民の苦情の多くは、市政に対する誤解から生ずる。また、市政の実態を市民に伝えるには、直接の話し合いが最も効果的であるので、移動市役所としての本懇談会が12月から始められた。本会は広報係の働きかけに基づいて、市内各町の有志が開催あつ旋の労をとり、小区域単位に行われ、市理事者が市民とひざを交えて直接懇談して、市民生活の身近かな問題を一つ一つ処理しているため、各方面より好評を得ている。
2. 市民の声処理……市民の苦情、相談、意見等を受付けて関係局課に連絡し、実地調査を実施して市政の改善に資している。
3. 世論調査……市政の全般にわたり、市民の市政に対する関心度、市民生活の現状をとらえ、市民の市政に対する世論動向を正しく掌握するため、1,500人を対象として17項目につき調査した。
また、市役所本庁内の係長以上を除く職員1,200名に対し、市政が民主的に運営されているか、給与等待遇一般に対する意見等について調査し事務能率改善資料の一助とした。

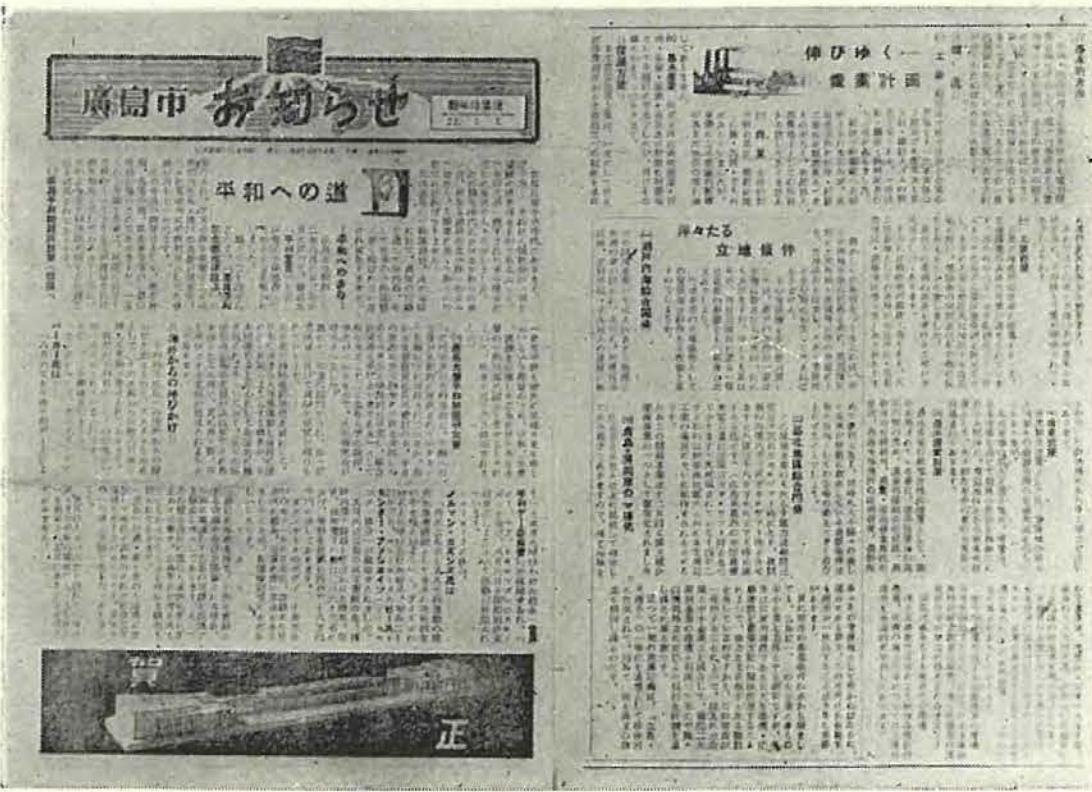
二、普及活動

1. 新聞、ラジオに記事資料の提供……市民全体に広く親しまれ、スピード、信頼感の点から、普及活動の媒体として新聞、ラジオの果たす役割は最も有効であるので、昭和26年9月以降市政全般にわたり記事資料57件を提供した。



市政懇談会

広報掲示板



機関紙「広島市お知らせ」

2. 定例記者会見……昭和26年9月以降毎週水曜日、定例的に有力新聞の記者と市側理事者の会見を行い、意見の交換をすると共に情報を提供し合い、市政推進上多大の効果を収めている。なお、この席上しばしば重要記事の資料が提供され、市政普及活動上極めて重大な役割を果たしている。
3. 定期機関紙……市の施策と現状を市民に広く知らせるため、昭和25年より毎月1回1日付でB5版『広島市お知らせ』を発行している。毎月の発行部数は76,000部で、各世帯にもれなく行渡っている。その他の刊行物としては次の2種類を発行した。
憲法施行4周年記念講演に関する「ちらし」10,000部「納税のしおり」81,000部
4. ハワイあて市政週報の発送……昭和26年12月よりハワイ、ホノルルK. G. U. 日本語放送部へ週間市政重要ニュースを取りまとめて、毎週1回定期的に発送し、同放送部より在留同胞向け放送を依頼している。

機関紙「広島市お知らせ」記事内容区分一覧（昭和26年中）（市長室調）

	1月号	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総務局関係	3件	2件	3件	4件	1件	2件	4件	4件	2件	4件	2件	4件	34件
建設局	2	2	2	3	1	—	1	4	2	1	3	1	22
厚生局	3	6	7	4	6	7	1	4	2	3	6	8	57
産業局	—	5	6	2	2	1	—	5	2	1	—	1	25
水道局	—	—	—	—	1	1	—	—	2	—	—	—	4
局外	8	3	4	3	4	5	3	2	3	5	5	7	52
市議会	2	—	1	—	—	1	2	—	—	—	—	1	7
選挙管理委員会	2	1	1	3	2	—	1	—	1	—	1	—	12
教育委員会	1	3	3	—	—	2	1	3	3	—	1	—	17
消防局	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
監査委員	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
合計	22	22	27	19	16	19	13	23	17	14	18	23	233

都市建設

1. 都市計画の概要

大正8年4月「都市計画法」の公布を期として、これに関する諸般の準備が進められ、大正12年7月都市計画法適用都市となり、更に昭和2年7月には隣接7カ町村を包含した都市計画区域が決定された（昭和4年4月隣接7カ町村は広島市に合併）。昭和5年3月先ず街路事業より着手し、昭和22年を以て大広島を完成すべく工事を進められていたが、戦争のためこの事業は中絶せられた。

昭和20年8月6日空前の原爆被災によつて、市街地は全く壊滅し、更に同年引続いて起つた水害により、市街地の荒廃は言語に絶するものがあつた。しかしながら、このことは一面模範的近代都市建設への、絶好の機会が与えられたものと言うべく、新しい観点から都市計画の樹立が要請せられ、計画人口40万人を対象として計画樹立に当つた。

昭和21年10月先ず復興都市計画街路及び復興土地区画整理の計画決定があり、更に昭和21年11月復興都市計画公園が決定され、都市計画の基礎は確立した。折から昭和21年9月「特別都市計画法」が公布せられ、同年10月同法適用の指定都市となり、都市復興の端緒となつたのである。土地区画整理については、昭和21年度より焼失都心部たる約400万坪を対象として事業に着手した。

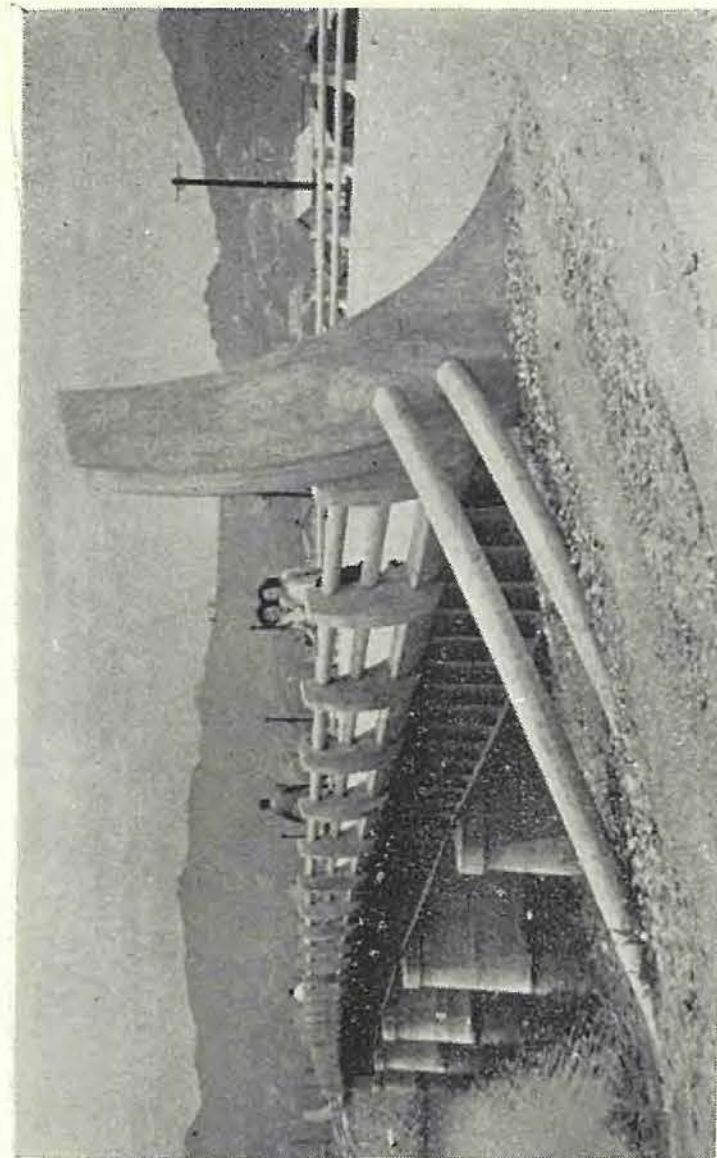
昭和24年8月6日、世界平和の理想を広島市に象徴しようとする「広島平和記念都市建設法」が公布され、ここに広島市は復興より建設の段階に移り、漸次その建設事業も成果を表わすに至つた。

広島平和記念都市建設法は、第1条においてその目的を、「恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする」と明記し、その計画及び事業は、第2条において「都市計画法第1条に定める都市計画の外、恒久の平和を記念すべき施設、その他平和記念都市としてふさわしい文化的施設の計画を含むものとする」と規定し、この建設計画を実施するのが平和記念都市建設事業であるとせられている。

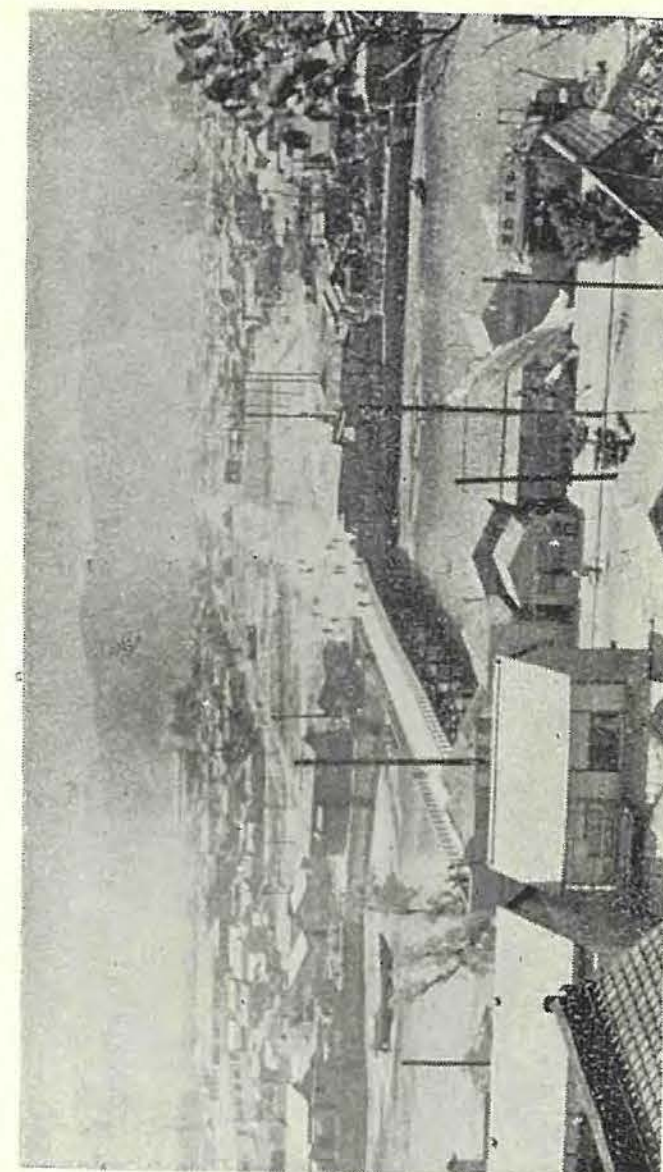
従つて、このような理想都市の建設については、高度の技術の結集と広はんな調査及び審議、並びに多大な経費を要することはもとよりであるが、現在実施中のものは其の基盤をなす緊急事業のみである。

其の主なるものは、

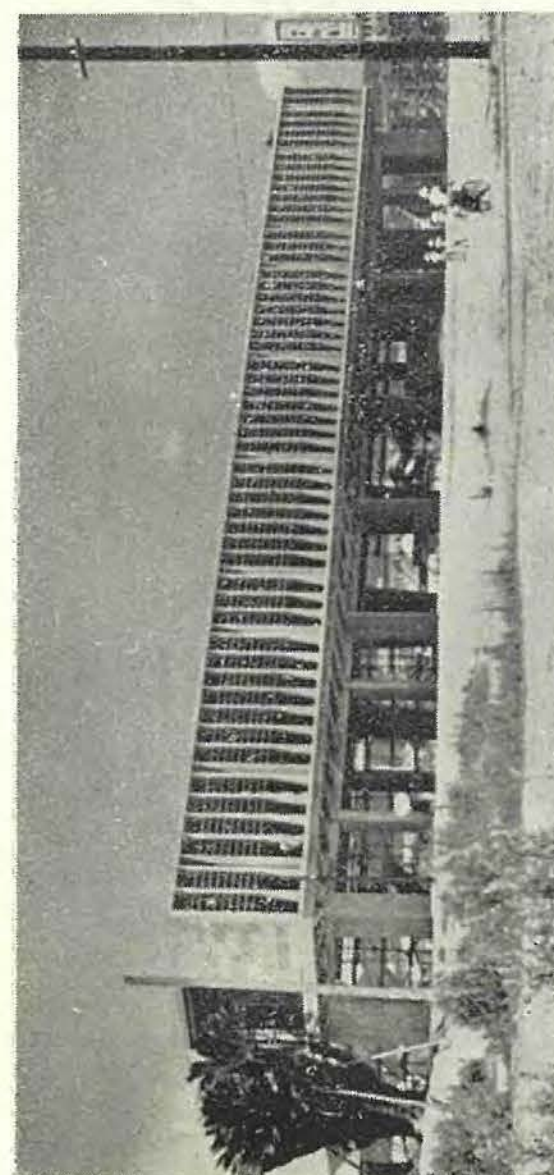
- (一)、本市の中心部に位置し、原爆の爆心地に近い中島地区約37,000坪を、平和記念公園として計画し、この公園を平和記念施設に指定せんとしている。
- (二)、広島城跡を含み、基町地区約20万坪を中央公園として計画し、公園内にリクリエーション施設や文化施設を配置する。
- (三)、本市の中央を東西に貫く100米街路を平和記念道路として計画し、交通目的の外リクリエーション、観光、防災に資せしめる。
- (四)、市内を南北に貫流している7つの川の水を生かすために、河岸緑地を計画した。
- (五)、平和記念公園、中央公園、100米街路及び河岸緑地を基盤とし、多数の公園を全市に配



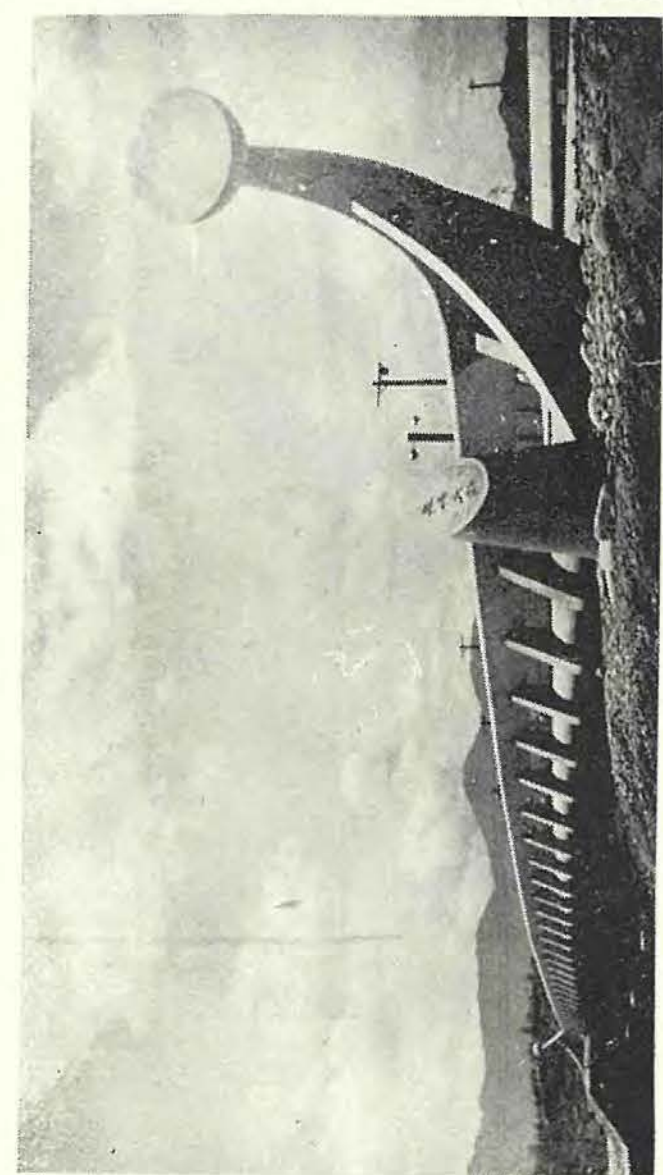
西 平 和 大 橋



100 米 道 路



平和記念館の一部 (未完成)

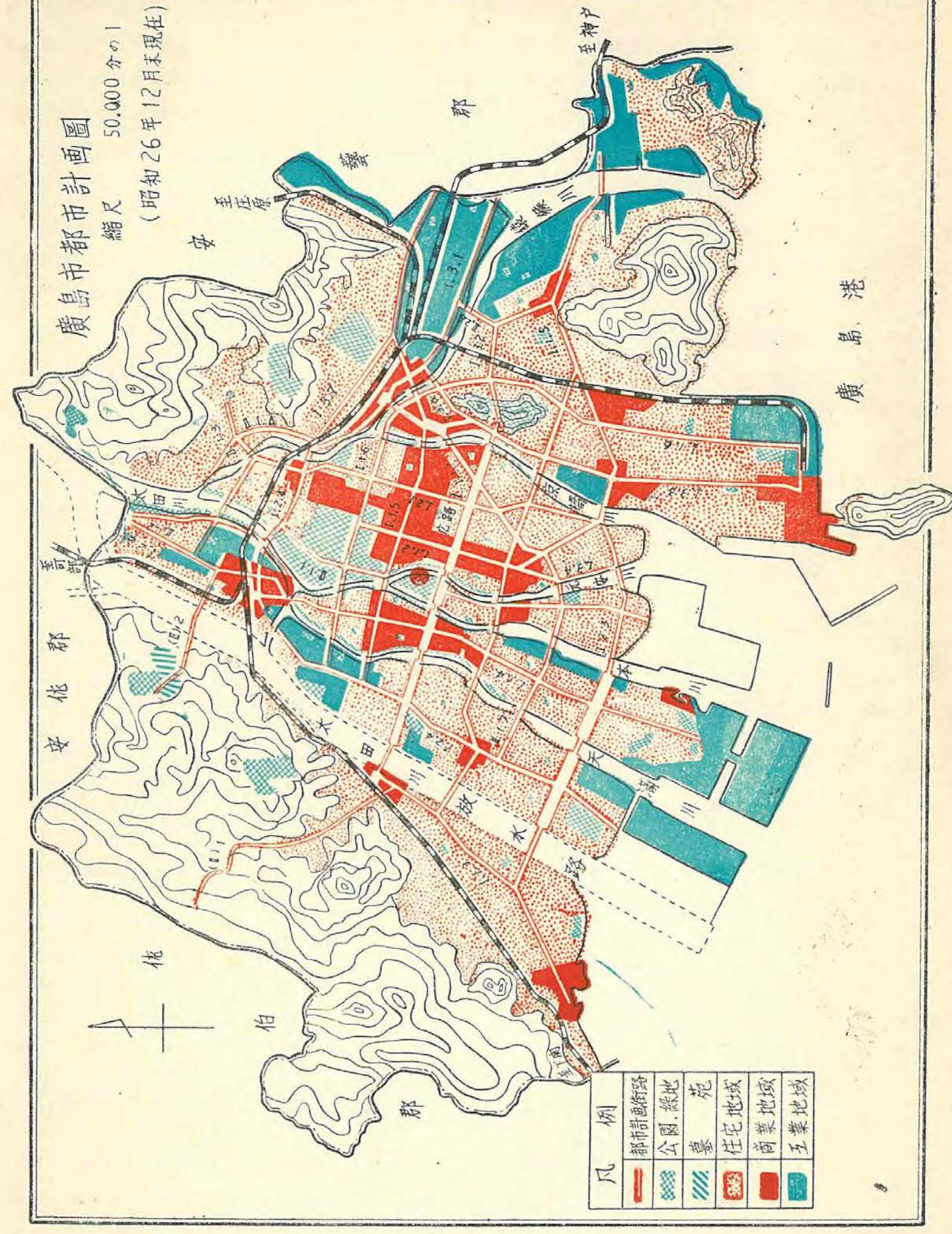


大 平 和 橋

廣島市都市計畫圖

縮尺 50,000分の1

(昭和26年12月末現在)





して公園系統を樹立し、市民生活に寄与せしめる計画である。

(六)、幹線街路網は、中国地方の中核都市としての将来の交通量、地形及び既設街路の拡張利用という点を留意して、基盤形式を採用している。更にこの水の度毎に木橋が流失し、交通がしや断された苦い経験にかんがみ、幹線街路にはすべて永久橋を架設する計画である。

(七)、市内に多数散在する墓地の移転先として、周辺の山地部に墓えんを計画した。

(八)、保健衛生上の見地から、上、下水道の整備を計画している。

特に、本市はデルタの上に位置しているので、満潮面以下の市街地が大半を占めている関係上、排水施設の整備には特に考慮が払われている。

(九)、市街地が幾多の水害に悩まされた苦い経験から、太田川改修計画を立案し、根本的な水害防止を考慮している。

以上具体的な施設計画の外、土地利用の合理的統制をはかり、健全な都市発展の基盤とするため、市域の内山地を除いた9,870,500坪にわたり住居、商業、工業の3種の地域を指定している。己斐方面山寄りの住居地域は、西方郊外の海岸沿線と共に、瀬戸内海に臨む優良住宅地としての将来性を有し、一方東部の工業地域は、その南面に良好な港湾適地を有し、また運河として利用し得る河川に臨んでおり、東方隣接町村の工場適地と緊密な連けいのもとに重要工業地帯として開発される予定である。

地域別面積 (昭和25年5月指定) (計画課調)

地域名	面積	百分比	地域名	面積	百分比
住居地域	6,246,950 ^坪	63.29 [%]	工業地域	2,453,550 ^坪	24.86 [%]
商業	1,170,000	11.85	合計	9,870,500	100

他方防火の見地より、中心市街地に対して準防火地域を指定している。

準防火地域面積 (昭和23年12月指定)

地域名	面積	摘	要
準防火地域	1,000,000 ^坪	中心市街地	

2. 広島平和記念都市建設事業計画

(一) 建設運営機関

(1) 平和文化都市建設協議会

広島平和記念都市建設法及び長崎国際文化都市建設法の趣旨にかんがみ、政府の関係各機関及び関係地方公共団体は、両都市建設事業の促進と完成をはかるため、相互間の連絡を整える機関として昭和24年9月閣議了解により、建設省に平和文化都市建設協議会を

設置した。

(2) 広島市を中心とする建設運営機関

広島市においては、市民の総意と協力とを反映する機関として、広島平和記念都市協議会を、また事業執行上における相互の緊密な連絡をはかるために、広島平和記念都市建設事業執行連絡協議会を、更に建設計画を専門的立場より立案審議する機関として、広島平和記念都市建設専門委員会を設置している。これらを昭和26年度末までに夫々次表のとおり開催した。

建設運営機関名	設置年月日	開催回数		
		昭和25年度	昭和26年度	計
建設協議会	昭和25年11月11日	2	—	2
執行連絡協議会	〃 26 〃 3 〃 10 〃	1	1	2
専門委員会	〃 25 〃 10 〃 11 〃	4	2	6

(二) 建設計画

昭和24年10月第1回平和文化都市建設協議会が開かれ、緊急を要する基礎的な事業を取上げ、これを昭和25年度より5カ年計画で完成すべく、更に継続施行を必要とする部分は、後年度事業として、次表のような事業計画案が樹立された。

区 分	昭和25年度より 5カ年計画	後 年 度	計
戦災復興施設	千円 4,132,368	千円 1,028,264	千円 5,160,632
平和記念施設	713,410	—	713,410
排水施設	473,830	—	473,830
幹線街路	2,874,748	5,125,252	8,000,000
都市公共施設	335,450	594,900	930,350
小 計	8,529,806	6,748,416	15,278,222
文化住宅施設	1,469,160	239,840	1,709,000
住居生活施設	536,900	930,300	1,467,200
厚 計	303,900	150,000	453,900
小 計	495,680	200,500	696,180
河川改修	2,200,000	—	2,200,000
港湾改修	1,596,690	4,215,300	5,811,990
小 計	3,796,690	4,215,300	8,011,990
合 計	15,132,136	12,484,356	27,616,492

この事業計画案は5カ年計画151億余円、総額においては276億余円に上るものであった。しかるにこれら事業の遂行にあたっては、その大部分を国庫補助に依存しなければならず、国家財政のすう勢は5カ年計画事業の縮少を余儀なくされ、昭和25年7月5カ年計

画事業費2,948百万円の案を得たが、昭和26年7月に至り更に検討の上次表の案を樹立し、この建設計画に基き事業を進ちよくしている。

広島市平和記念都市建設5カ年計画

区 分	昭和25年度より 5カ年計画	実 施 額			進ちよく率
		昭和25年度	昭和26年度	計	
戦災復興	千円 1,253,450	千円 248,380	千円 248,600	千円 496,980	% 40
平和記念施設	173,280	24,480	32,100	56,580	33
排水施設	69,410	9,070	6,440	15,510	22
幹線街路	530,400	65,170	60,760	125,930	24
都市公共施設	64,580	—	—	—	—
合 計	2,091,120	347,100	347,900	695,000	33

備考 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分を含む。

(三) 戦災復興事業

焼野原の広島市を復興させる計画は、先ず昭和21年土地区画整理事業から出発した。

当時計区域画400万坪にわたつて事業に着手したが、昭和24年8月国家財政の立場から再検討せられ、その面積を約2割減じて約320万坪を対象とし、その事業費は1,253,450千円に内定、昭和25年度より5カ年計画で一応完成することに決定した。

(1) 新旧在地利用状況の比較

土地区画整理施行前後比較

区 分	整 理 前		整 理 後	
	地 積	比 率	地 積	比 率
宅 地	坪 2,607,815	% 80.7	坪 1,828,057	% 56.5
学 校	164,211	5.1	199,262	6.2
公 園、緑 地	12,403	0.4	242,433	7.5
道 路	448,616	13.8	963,298	29.8
計	3,233,050	100	3,233,050	100

備考 本表は昭和26年4月現在にして、その後多少の変更あり。

(2) 事業内容

事業内容及び事業費の内訳は次表のとおりである。本表は昭和26年8月の訂正5カ年計画による。

戦災復興事業費内訳 (5カ年計画)

区 分	再 検 討	訂正5カ年	実 施 額			進ちよ く 率
	5カ年計画	計 画	昭和25年度	昭和26年度	計	
区 画 整 理	千円 457,730	千円 457,730	千円 93,317	千円 120,600	千円 213,917	47%
街 路	300,800	277,400	67,873	54,328	122,201	44
ガ ス	9,930	9,930	4,000	3,000	7,000	70
鉄 道 軌 道	11,580	14,980	7,980	5,600	13,580	91
公 共 空 地	58,410	58,410	8,190	6,000	14,190	23
河 川 水 路	—	8,000	—	—	—	—
上 水 道	110,000	122,000	17,480	18,840	63,320	30
下 水 道	305,000	305,000	49,540	40,232	89,772	29
合 計	1,253,450	1,253,450	248,380	248,600	496,980	40

備考 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分を含む。

本事業による事業実施の結果、区画整理事業中堅ろう建物の移転及び用地補償の大部分、その他各事業に夫々残事業を生ずるが、これ等については後年度事業として追加施行の計画である。以下各事業の進ちよく状況その他について略述する。

a、土地区画整理事業

事業計画面積3,212千坪は東部、西部の2地区に分割せられ、次表により実施している。

地区名	区 域	計画面積	事業執行者	執 行 機 関
東 部	元安川以東、但し中島町一部を含む	1,756,000坪	広島市長	東部復興事務所
西 部	元安川以西、但し中島町一部を除く	1,456,000坪	広島県知事	広島県広島復興事務所
合 計		3,212,000坪		

本事業は換地とこれに伴う建物電柱等の移転が主体で、昭和24年3月末迄に上記の計画面積全域にわたる仮換地の発表は一応完了した。主なる工種の進ちよく状況は次表のとおりである。

土地区画整理事業進ちよく状況

区 分	計 画 量	実 施 量		
		昭和25年度迄	昭和26年度	計
確 定 測 量	3,212,000坪	2,217,480坪	559,770坪	2,777,250坪
建 物 移 転	12,150戸	2,530戸	2,795戸	5,325戸
使用開始面積	3,212,000坪	439,000坪	264,500坪	703,500坪

b、街 路 事 業

区画整理において決定せる街路築造事業であつて、5カ年計画により幹線街路(幅20米以上)は側溝の全部を、補助街路は側溝の約50%を築造する計画である。

街路を幅員別に示せば次のとおりである。

幅員別延長内訳

街路幅員	延 長	%	街路幅員	延 長	%	街路幅員	延 長	%
m 100	m 2,876	1.3	m 30	m 17,653	7.2	m 10	m 39,987	16.2
80	250	0.1	27	3,532	1.4	8	65,564	26.7
50	500	0.2	25	4,077	1.7	6	62,998	25.7
40	10,940	4.5	20	7,915	3.2	4	4,777	1.9
36	2,490	1.0	15	21,809	8.9	合 計	245,368	100

工事の進ちよく状況は、昭和25年度末までに築造工事完了の側溝延長は49,750米にして、昭和26年度において51,880米を実施し、合計101,630米を26年度末までに完了する。

c、ガ ス 及 び 鉄 道 軌 道 事 業

区画整理による街路変更に伴う、ガスパイプ及び電車軌道の移設工事で、何れも最小限度の移設を計画し、その大半を完了している。なお鉄道軌道の計画街路中心への移設は、今後の問題として残っている。

ガス事業は、昭和25年度末までに17,250米の移設を完了、昭和26年度において7,440米を実施し、合計24,690米の移設を昭和26年度末までに完了する。

電車軌道の移設工事は昭和25年度において紙屋町交差点600米の移設工事を完了、昭和26年度においては、昭和23年度実施済206米を含めて延長1,096米の白島線の移設工事を実施する。

d、公 共 空 地 整 備 事 業

区画整理区域内の公園、緑地整備及び区画整理に伴う墓地移転用地として、三滝墓地の新設工事をなすもので、その内容は次表のとおりである。

公共空地整備計画及び工事進ちよく状況

区 分	計 画 面 積	実 施 面 積						
		昭和25年度迄		昭和26年度		計		
公 園	カ所 大小 38	坪 81,800	カ所 小 15	坪 15,890	カ所 大小 7	坪 11,320	カ所 大小 22	坪 27,210
河 岸 緑 地	—	64,490	—	4,450	—	1,700	—	6,150
三 滝 墓 地	1	58,310	—	10,980	—	7,000	—	17,980
合 計		204,600		31,320		20,020		51,340

e. 上、下水道事業

本事業において施行するものは、区画整理に伴う上、下水道管の移設工事であつて、何れも別途改良事業と相まつて工事を進ちよくしている。

上水道は昭和25年度末までに36,690米の移設を完了、昭和26年度において9,830米を実施し、合計45,520米の移設を昭和26年度までに完了する。

下水道は昭和25年度末までに7,830米を敷設、昭和26年度において4,380米を実施し、合計12,210米の敷設を昭和26年度末までに完了する。

(四) 平和記念施設

平和都市広島を象徴する事業として、中島公園及び元安川対岸細工町、旧産業奨励館の残がい有する地区を含めた約37,000坪を平和記念公園とし、同公園内に平和記念館、記念碑等を設置し、世界平和に寄与すると共に、市民はもとより、国際人交歓の一大中心地とする計画である。

即ち、平和記念館には国際会議に使用出来る集会場、原爆資料陳列室、各種平和団体の事務所を含む本館を設ける。また、本公園の中央は平和広場として約25,000坪の芝生広場とし、この広場の北端にして公園の中心に記念碑を設ける。

本事業は昭和25年度より着工し、工事は進ちよく中であつて、その5カ年計画及び進ちよく状況は次表のとおりである。

平和記念施設5カ年計画及び工事進ちよく状況

区 分	5カ年計画		実 施 額					
	数 量	金 額	昭和25年度		昭和26年度		計	
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
平 和 本 館	1,167坪	千円	—	—	465坪	千円	465坪	千円
記念館 陳列室	テラス 402	10,780	—	—	(一部)	24,000	(一部)	24,000
記念碑	439	20,000	439 (外格完成)	—	—	—	439	—
記念公園	テラス 422	20,000	テラス 422	20,000	—	—	テラス 422	20,000
合 計	1 基	3,000	—	—	1 基	3,000	—	3,000
	37,000坪	42,500	6,280坪	4,480	4,130坪	5,100	10,410坪	9,580
		173,280		24,480		32,100		56,580

(五) 排水施設

本市は太田川のデルタ上に位置し、その大半が満潮面以下の低位にあるため、排水上困難な問題が多い。区画整理事業区域内については、改良下水道計画によりその工事を進ちよく中であり、区画整理区域外に対しては幹線排水路、排水ポンプ場を計画している。昭和29年度までの5カ年計画及び工事の進ちよく状況は次表のとおりである。

排水施設5カ年計画及び工事進ちよく状況

区 分	計 画 排 水 能 力	5カ年計画		実 施 額					
		数 量	金 額	昭和25年度迄		昭和26年度		計	
				数量	金額	数量	金額	数量	金額
排水ポンプ場	m³/s		千円		千円		千円		千円
牛 田	1,420 (1カ所 口径600mm 60HP 2台)	—	5,070	1カ所	5,070	—	—	1カ所	5,070
江 波	3,200 (1カ所 口径800mm 150mm 2台)	—	24,340	—	—	1カ所 (一部)	6,440	(一部)	6,440
段 原	2,540 (1カ所 口径800mm 100mm 2台)	—	25,300	—	—	—	—	—	—
幹線排水路	390m (内径 mm 900~1,200)	—	10,700	—	—	—	—	—	—
宇 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—
翠 町	610m (巾 4m)	—	4,000	610m	4,000	—	—	610m	4,000
合 計			69,410		9,070		6,440		15,510

備考 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分を含む。

(六) 幹線街路事業

本市の幹線街路は都市計画決定に基づくもので、地形及び既設街路利用の関係より基盤型式を採用している。その路線数26本総延長8,791mである。

都市計画街路一覧 (昭和21年10月決定
25年3月一部変更追加)

路線番号	路 線 名 称	幅 員	延長	路線番号	路 線 名 称	幅 員	延長
広路 I	比治山、庚午 線	m	m	I .3.3	松 川、宇 品線	m	m
I .1.1	駅 前、吉 島	100、30	4,720	I .3.4	鷹野橋、南千田	27	3,970
I .1.2	紙屋町、御幸橋	80、50	3,180	I .3.5	中 島、吉 島	27	1,040
I .1.3	青 崎、草 津	40、25	2,790	I .3.6	比治山、蟹 屋	25	2,340
I .1.4	横 川、江 波	40、36	2,790	I .3.7	常盤橋、牛 田	27、20	820
I .1.5	天満町、矢 賀	40、30	10,590	II .1.1	相生橋、白 島	25	1,440
I .1.6	中 広、宇 品	36、30	5,120	II .1.2	三篠橋、大 芝	20	1,210
I .2.1	御幸橋、三 篠	40、30、27	5,750	II .1.3	白 島、牛 田	20	1,650
I .2.2	横 川、大 芝	26、30、25	8,040	II .1.4	常盤橋、牛 田	20	800
I .2.3	出 汐、庚 午	30、27、25	5,100	II .1.6	東 雲、大 洲	20	1,550
I .2.4	駅 前、観 音	30、20	2,000	II .1.7	吉 島、観 音	20	510
I .3.1	駅 前、大 洲	100、30	6,160	(II) 1	己斐本町、石内	20	1,840
I .3.2	比治山、東 雲	30	7,580	(II) 2	三篠本町、三滝	8、6	3,620
		25(12)	2,450	計	26 路線	8、7、6	1,740
			1,900				87,910

都市計画街路幅員延長

幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長
m	m	m	m	m	m	m	m
100	5,480	35	8,720	20	8,290	6	2,890
80	250	30	29,990	(づい道)12	180		
50	590	27	10,450	8	2,070		
40	9,850	25	8,750	7	400	合計	87,910

本幹線街路事業においては、区画整理事業区域内は路面舗装等の街路整備工事を、区域外においては街路新設工事を、その他橋りよう架設、立体交さの築造等を施行するもので、これが完成には約80億円を要する見込である。

交通量その他に応じて緊急路線を選定し、工事を実施しているもので、5カ年計画及びこれら工事進ちよく状況は次のとおりである。

幹線街路事業費内訳 (5カ年計画)

区 分	5カ年計画	実 施 額			進ちよ く 率
		昭和25年度	昭和26年度	計	
路面舗装	千円 63,530	千円 18,180	千円 6,000	千円 24,180	37%
橋りよう	3/4,150	23,280	46,300	69,580	22
幹線街路(区画整理区域外)	62,140	23,710	8,460	32,170	51
立体交さ	90,580	—	—	—	—
合 計	530,400	65,170	60,760	125,930	24

備考 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分を含む。

(1) 路面舗装

緊急路線より主として中央6米の舗装工事を実施しているもので、昭和26年度末までに完了するものは次表のとおりである。

路面舗装工事進ちよく状況

路線番号	計画幅員	昭和25年度		昭和26年度		計	
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
I. 1. 2	40	幅×長 m 5.5×1,350	千円 3,800	m —	千円 —	m 1,350	千円 3,800
I. 1. 3	40	6×1,070	4,880	—	—	1,070	4,880

I. 1. 5	40	5.25×600	3,000	—	—	600	3,000
I. 2. 1	30	6×1,050	4,200	—	—	1,050	4,200
I. 2. 4	30	—	—	6×1,205	6,000	1,205	6,000
I. 3. 5	25	5.5×1,310	2,300	—	—	1,310	2,300
合 計		5,380	18,180	1,205	6,000	6,585	24,180

(2) 橋りよう

本市を南北に貫流する7派川に、現在架設されている橋りようの中には多数の木橋があつて、過去において再三再四水害を蒙り流失したことを考慮し、永久橋を架設すべく計画したもので、その架設必要数は、木橋架換6橋を含めて37橋である。現況及び計画を示せば次表のとおりである。

橋りよう現況及び計画 (昭和26年/2月現在)

種 別	既 設	計 画	内 訳			
			完 成	工 事 中	要 新 設	架 換
幹線街路	木 橋	6	(-) 6	—	—	(-) 6
	永 久 橋	5	37	3	2	26
	計	11	37	3	2	26
補助街路	木 橋	11				
	永 久 橋	14				
	計	25				
合 計	36					

備考 補助街路の既設永久橋中2橋は戦後完成したものである。

要架設橋りようの内、緊急を要する6橋を5カ年計画で架設する計画で、昭和26年度末までの工事進ちよく状況を示せば次表のとおりである。

橋りよう工事進ちよく状況

路線番号	橋 名	昭和25年度		昭和26年度		計		摘 要
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
広路 I.	新観船橋	幅×長 m —	千円 —	幅×長 m 15×72.5	千円 17,088	幅×長 m 1部着工	千円 17,088	
I. 1. 3	新明治橋	7.5×95.0	23,280	継 続	5,524	7.5×95.0	28,804	昭和26年10月完成
I. 2. 3	昭和大橋	—	—	6×225.4	23,688	6×225.4	23,688	〃
合 計			23,280		46,300		69,580	

備考 昭和大橋は災害復旧費8,155千円を加え、総額31,843千円にて完成したものである。

上記の外、昭和25年度対日援助見返資金9,000万円をもつて広路Ⅰ.100米街路の平和大橋及び西平和大橋（何れも幅員15米）が着工せられ、昭和26年度公共事業費2,000万円を追加して、両橋は昭和26年度末までに完成する予定である。なお、これら両橋の高欄は何れも米国の著名彫刻家である、イサム・野口氏の設計によるものであり、またこの橋名は懸賞募集により昭和26年11月決定したものである。

(3) 重要幹線街路（区画整理区域外）

区画整理区域外都市計画街路の内、都市の総合整備上急施を要する路線を選定して新設整備するもので、昭和26年度末までの工事進ちよく状況を示せば次表のとおりである。

重要幹線街路工事進ちよく状況

路線番号	計画幅員	昭和25年度		昭和26年度		計	
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
I. 1. 3	30	m幅×長 m	千円	m幅×長 m	千円	m	千円
I. 2. 2	30	—	—	15×280	3,171	280	3,171
I. 2. 3	30	15×1,121	7,550	15×97	2,211	1,218	9,761
I. 3. 7	25	25×727	3,780	—	—	727	3,780
(Ⅱ) 1	6	6×1,407	8,520	—	—	1,407	8,520
(Ⅱ) 2	6	6×822	3,860	—	—	822	3,860
合 計		4,077	23,710	633	8,460	4,710	32,170

備考 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分を含む。

(4) 立体交さ

交通量より最も急施を要する白島町のⅠ. 2. 1街路及び愛宕町のⅠ. 1. 5街路と、国鉄山陽本線との交さ点を立体交さとして、拡幅並びに新設すべく5カ年計画において予定しているが未着手である。

(七) 都市公共施設

戦災復興土地区画整理区域外に存在する公園、運動場、墓地の築造、その他じんかい処理場、火葬場、動植物園等を計画するものである。5カ年計画においては中央公園其の他で148,000坪の公園、運動場の整備をなすこととしているが未着手である。

なお、昭和26年10月末第6回国民体育大会が、広島市を中心に開催せられ、国体会場として中央公園内の中央庭球場、中央排球場及び県営総合運動場の整備を実施し、その他国体会場たる学校運動場の整備をも施行した。これらはその後、市民の体位向上に大いに役立つている。その他比治山公園、江波山公園、元宇品公園等199,860坪の既設公園あり、失業対策事業等により整備を進め、一応使用可能の状態にある。また、縮景園11,700坪が復興され昭和26年4月開園された。

(八) 防火水そう施設

広島市は商店或は住宅の密集せる多くの地区を有し、また、全市的に水道の水圧が低い上に防火用水施設の不完全なる現状にかんがみ、防火に万全を期するため、火災危険度の高い地区を選定して防火水そうの設置を計画し、これを都市計画事業として施行するもので、昭和26年度より着工、5カ年計画により、65箇所を設置する計画である。計画及び工事進ちよく状況を示せば次のとおりである。

防火水そう施設5カ年計画及び工事進ちよく状況

区 分	昭和25年度より5カ年計画		昭和26年度実施		摘 要
	数 量	金 額	数 量	金 額	
防火貯水そう	65 箇所	千円 32,020	5 箇所	千円 2,020	1箇所容量40トン

備考 昭和26年度実施箇所は紙屋町、平塚町、段原東浦町、皆実町2丁目及び横川町2丁目である。

(九) 太田川改修事業

本事業は太田川放水路の開さくを根幹とするもので、これにより市内各派川の水位を安定せしめ、こう水時には河水を安全に流下させ、広島市を水害から完全に防護することを目的とする。また、一面流出土砂のたい積しつつある広島港の維持を容易にし、沼川一帯の運輸交通及び産業の発展を促す等有形無形の附随的効果は多大である。

平和都市建設を急いでいる広島市にとって、都市を水害から護るため太田川改修事業を早急に完成する必要がある。

放水路工事は昭和7年度より15カ年継続事業とし国営を以て着工され、総延長9.2軒の内約36%に当る下流3.3軒が一応完成をみたのであるが、戦争のため中止された。戦後昭和23年に工事再開を決定し、目下可部、長束方面の上流地区の工事を施工中である。

昭和26年10月中国四国地方建設局、広島県及び広島市が主体となり、太田川放水路工事の施行を円滑に推進するため、工事に伴う補償及び住宅、換地のあつ旋、その他の対策につき調査審議し、その実行をはかることを目的として「太田川放水路対策部」を広島市庁内に設置した。

以下本事業の概要を記述すると次のとおりである。

- (1) 事業費 2,205,598千円（内5,598千円は昭和24年度迄施行済）
- (2) 位置 山手川を幅280～400米開さくし、河口より6.2軒附近で本川より分派させる。
- (3) こう水処理計画 こう水時計画高水量を毎秒6,000立方米と定め、改修計画の基本としている。このこう水を放水路分派点の水門により調節し、毎秒4,000立方米を放水路に放流し、残余の毎秒2,000立方米を派川に流下させる計画である。

(十) 広島港修築事業

広島港は約55年間の長きにわたつて元陸軍海上輸送基地としてその大半を専用されて来た。

終戦後これらが開放され漸次本来の機能を回復し、昭和23年1月開港として指定された。昭和25年5月港湾法の公布となり、昭和26年1月同法施行令による重要港湾に列したのである。

ここにおいて理想的港湾としての機能を整備し、対外貿易並びに対内移出入港として活用することは、地方開発上また国家経済再建のため寄与すること甚大であり、更に西部瀬戸内海観光基地としての発展性を考えるとき、その意義はますます重要なものとなつて来た。

昭和23年4月広島港修築計画を樹立し、現在工事施工中である。本計画は第1期事業として5,000トン乃至3,000トン級ふ頭1基、物揚場の築造並びに港内しゅんせつに主力を注ぎ10,000トン級ふ頭を含む残余の工事は、第2期として施行の計画である。なお、第2期については今後検討を要請されている。これら計画総事業費は5,811,990千円、その内第1期分は1,596,690千円であり、第1期計画について略述すると次のとおりである。

(1) 主なる工種及び事業費

第1期（昭和23年度より昭和29年度迄）計画及び工事進捗状況

区 分	工 種	水 深	第1期計画		実 施 額					
			数 量	金 額	昭和25年度迄		昭和26年度		計	
					数量	金額	数量	金額	数量	金額
岸 壁	m			千円		千円		千円		千円
〃	8.1	150m								
〃	7.3	120〃								
〃	6.6	200〃			m		m		m	
物 揚 場	4.0	370〃			170		100		270	
〃	3.0	200〃								
護 岸	—	362〃								
防 波 堤	—	500〃	1,596,690			66,400		29,800		96,200
しゅんせつ	—	481,510m ³			m ³		m ³		m ³	
上 屋	—	9,850m ²			46,000		22,000		68,000	
起 重 機	—	3基								
ポンツーン	—	2〃								
道 路	—	3,899m			m				m	
					1,350				1,350	
合 計				1,596,690		66,400		29,800		96,200

(2) 計画能力

荷役取扱貨物量 260万トン（年間）………現在能力49万トン

乗 降 船 客 12,000人（1日）………現在船客約4,000人

そ の 他

観 光

『ひろしま』………

本市は、古来山紫水明温和な気候風土に恵まれ、観光面には幾多の優秀な素質を有していた。

特に市街を流れる七つの川は、山容を影し家々を写して、その壮麗さは水都の代表的存在であつた。しかるに、原爆の一せきは市内の由緒ある社寺佛閣、伝統を誇つた名勝旧蹟を壊滅し去つたのである。そして、これに代つて新たに原子力時代を告げるには、余りにも痛ましい犠牲を宿す原爆遺跡と、10数万犠牲者の無言の警告が残された。

この遺跡と、警告により世界の恒久平和を念願して立上つた市民の真剣な復興意欲は、理想的都市の建設を早めている。最近、躍進するその後の本市をわざわざ視察するため訪問する内外人は、おびただしい数に上つている。特に、訪日観光団等は必ずそのスケジュールに本市訪問を組み、母国への土産話としている。なお、本市近郊には東に旧軍港呉市、西には日本三景の一つである厳島、その他湯来温泉等があり、南は瀬戸内海に面し海陸交通の便は極めてよく、別府及び道後温泉への快適な船旅が出来る。更に、北には桜と、う飼の三次、つつじとスキーの道後山、帝釈峽及び芸北の幽境三段峽等がある。

次に本市の観光行政に協力するため、昭和22年4月広島市観光協会が発足し、市内観光ルート、ミス広島の選定及び観光客の案内等を行つている。

主なる市内の観光対象物を挙げると……

平 和 記 念 館

本館は、平和運動を推進する中枢機能となるにふさわしい施設の一部である。

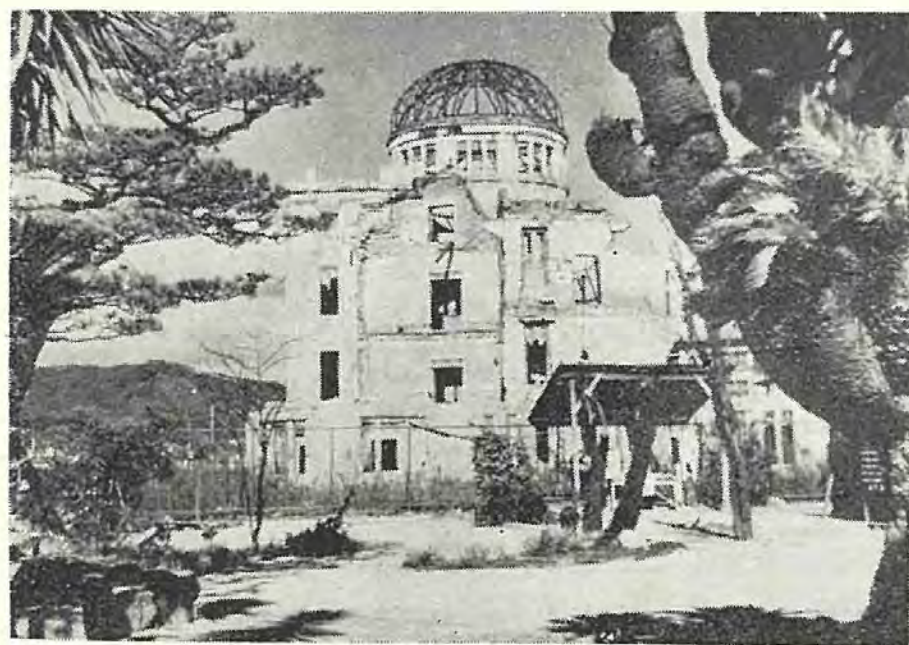
平和大通り（幅員100米）に近く、横に長い壮麗な建物で、完成後は全長250米、最高20米、幅40米となる。現在建築されているのは原爆資料陳列館で、将来はこの建物の左側に2,500人を収容出来る大集会場を、右側に平和文化運動の事務室、研究討論会用の小会議室、美術展覧会場等に使用できる会館が建築される。目下建築中の陳列館の階下は平和大通りの公園に入る玄関として通り抜けの出来るように、柱ばかりの廊下になっている。なお南側



には米国の有名な彫刻家イサム・野口氏の設計による平和大橋及び西平和大橋が、美しい姿を清流に映している。

← 原 爆 資 料 館

基町、中央公民館の傍にあり、原爆に関する種々の資料を一堂に集め、一般の観覧に供している。本館の資料は、将来平和記念館内に移される予定である。



舊産業奨励館

爆心地にあり、アトム広島の代表的記念物として、内外人の訪れは数知れず、その廃きよは当時の惨禍を如実に物語っている。

死の影像

紙屋町電停の北側大阪銀行支店の玄関敷石の上には、あのピカの瞬間、開店をまつていたであろう人の姿が、強烈な光線で焼きつけられている。原爆10景の一つである。



商工會議所

旧産業奨励館と電車を隔てた所にあり、鉄筋コンクリート建築物で、強烈な爆風によりゆがめられた壁やバルコニー等が、原爆の威力を表示している。

元護國神社跡

商工會議所裏にあり、鳥居、唐しし、その他散在する御影石の表面が、数千度の原爆熱でガラガラに焼けただれている。



不動院

市の北端牛田町、太田川の清流に臨むじん外境にあり、天正2年僧行基の開基と伝えられ、豊臣時代安国寺恵瓊が再建した。金堂は、室町時代の禅宗建築の偉作の一つであり銅装、鐘、薬師如来（木製）と共に国宝である。



東照宮

二葉の里にあり、正保3年藩主浅野光晃の創建にかかり、徳川家康の霊を祀っている。境域5,300平方米、社殿は南面し、石階51段である。往時は社殿壮麗にして、祭礼儀式は極めて盛大であつた。

三瀧観音道場

三瀧町の山林中にあり、1,000年の昔弘法大師唐国より帰朝の途次この地に立ちより、「聖観音菩薩」の種子を天然石に彫し巖くつに安置した。以来その靈験のあらたかなこと、四季山水の風致雅趣の深さより、一般信徒のつえ引く者絶えず、現在は水害、原爆の被害により、道場の荒廃甚だしいので修築工事中である。





千田廟と千田男爵銅像

往年日本の大玄関として名声のあつた宇品港は、明治17年時の県令千田貞暁によつて起工せられ、工費30万余円5カ年の歳月を経て完成した。その後4年日清戦争と共に宇品港は重要基地となり、累次の戦役事変には陸軍運輸基地として、国運の進展に大いに寄与して来た。

市民は千田県令の偉大なる業績をしのび、大正4年宇品町御幸通り北端に、高く広島湾の海波を望む銅像を建立し、後に千田びよを祀り毎年4月盛大に千田祭を執行している。

向 宇 品

瀬戸内海国立公園内にあり、植物学上貴重なる資料が多く、山頂よりは風光明媚な紺青の湾内に点在する島々と、躍動する広島港を掌中にとる如く賞観することが出来る。夏は海水浴場としても有名である。

似 島

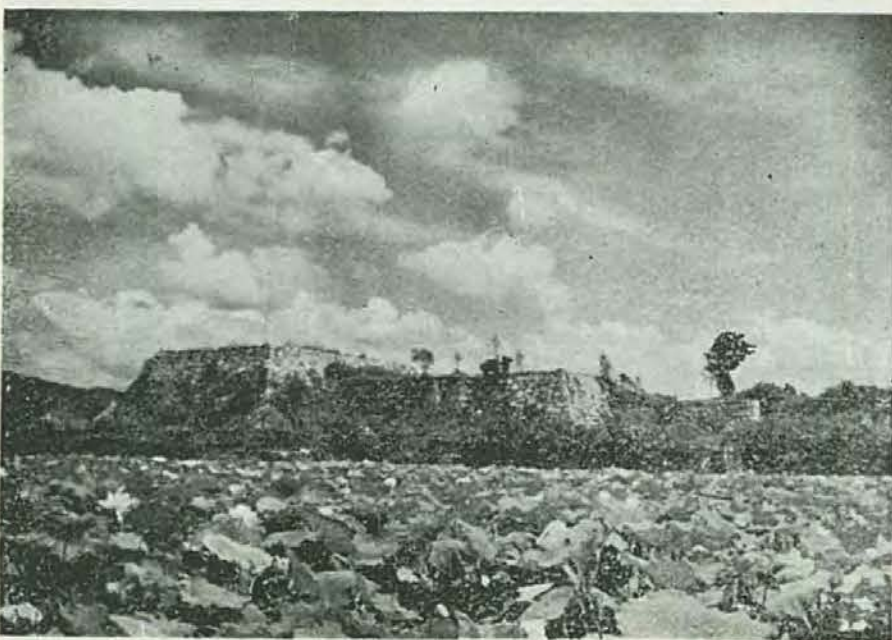
宇品港より約30分、市の南端瀬戸内海国立公園内にあり、安芸の小富士と呼ばれ、戦時中は東洋一の陸軍検疫所があつた。現在戦災孤児收容所の似島学園がある。



広島城跡

西国の雄毛利輝元が、京都聚楽第の模制をこの地に移し、2年の歳月を経て築城した広島城（在間城、鯉城、当磨城、石黒城の別名あり）5層の天主閣は、原爆により焼失した。

明治27年日清戦争の時大本営が設置され、続いて終戦まで師団司令部がここにあつた。



國 泰 寺 墓 地

国泰寺墓地の墓標は、爆風の方向に或いは反対の方向に倒れたが、電車道に面した墓標で、爆風にあふれた瞬間、レンガの破片を食わえ込んだ塔石の珍しい風景である。



比治山公園

市の東部にあり、山容が虎に似ているので臥虎山の別称がある。面積16町余四季の眺めをほしいままにした昔の面影は留めないが、市内の展望には絶好の場所で市民散策の好適地である。南側にはA・B・C・C.があり、西側山腹には山陽文徳殿及び多聞院がある。

山陽文徳殿

頼山陽の100年祭を記念するために、昭和9年10月15日本市が創建したものである。





頼家の墓

頼家一門の墓は多聞院附近にある。山陽の父春水、長男幸庵、叔父杏平等朱子学学者として藩主に仕えた人々及び母梅颯等20数基に上るが、山陽、三樹三郎の墓はここにはない。

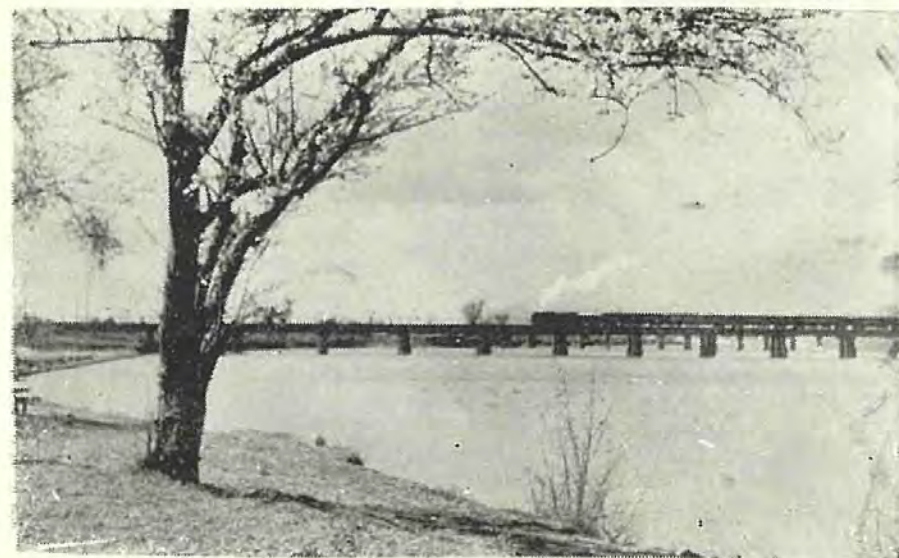
縮景園

上流川町北端にあり、旧藩主浅野家の別邸で『泉邸』として通っている。元和6年に浅野長晃が起工し、後累代の藩主が規模を広め修補した。浅野重長の時、園池を中華民国の杭州西湖の景に模して面目を更新した。境域は4町余坪あり、奇石珍木の配置は巧妙を極め、さながら幽境に遊ぶ感があり、原爆で建造物や草木が壊滅したが、現在では相当修復して行楽ににぎわっている。



長壽園

市の北端、太田川の清流に沿う約300米の堤で、桜樹多く市民の散策地として有名である。



広島市原爆による生存者調査について

昭和25年国勢調査の実施に際し、総理府統計局はA. B. C. C. より原爆生存者調査を依頼されたので、全国市町村役場の協力を得て、国勢調査と同時に調査を実施した。その結果、全国にいる生存者は157,575人で、その内本市には98,102人が生存していることが判明した。

なお、県別に見ると下表の如く広島県が124,966人（総数の約80%）で、続いて山口、東京、大阪、兵庫、福岡、岡山、島根、愛媛県の順となっている。（集計事務はA. B. C. C. において行つた。）

広島市原爆生存者（昭和25.10.1現在）

1. 都道府県内訳

府県名	生存者数	府県名	生存者数	府県名	生存者数	府県名	生存者数	府県名	生存者数
北海道	549	千葉	597	山梨	160	鳥取	584	大分	639
青森	99	埼玉	365	静岡	433	島根	1,656	佐賀	299
岩手	138	東京	2,840	愛知	929	岡山	1,755	長崎	1,013
秋田	131	神奈川	903	三重	428	広島	124,966	熊本	491
宮城	249	新潟	262	滋賀	357	山口	4,171	宮崎	421
山形	163	富山	97	京都	793	香川	673	鹿児島	568
福島	262	石川	167	奈良	232	徳島	371		
茨木	354	福井	189	大阪	2,285	愛媛	1,340		
栃木	243	長野	264	和歌山	378	高知	440		
群馬	232	岐阜	317	兵庫	1,972	福岡	1,800	合計	157,575

2. 広島県及び市内出張所別内訳

広島県			広島市	
郡	市	生存者数	出張所別	生存者数
広島	市	98,102	三篠出張所管内	6,771
呉	市	1,495	牛田	3,466
三尾	市	418	尾長	5,820
福山	市	357	基町	5,426
		223	十日市	5,160
比叡	郡	757	己斐	8,933
神	市	205	草津	6,181
深	市	209	観音	6,003
甲	市	161	舟入	4,558
芦	市	358	中央	8,001

沼双世御高	隈三羅調田	ク	347	段原比治山	ク	6,040
		ク	1,181	青崎保河	ク	6,359
		ク	404		ク	3,891
		ク	323		ク	3,377
		ク	1,760		ク	4,690
豊山安賀佐	田県佐茂芸伯	ク	1,027	皆実宇似	ク	4,630
		ク	1,452		ク	7,136
		ク	4,174		ク	1,660
		ク	1,883			
		ク	5,051			
		ク	5,079			
合	計		124,966	合	計	98,102

広島市原爆による死没者調査について

本市では、過ぐる昭和20年8月6日の原爆により死没された方々を、各市区町村役場の協力を得、全国にわたって調査を実施した。その概略は次の通りである。

調査の目的

広島市の平和記念公園内に慰霊碑が建立されるので、昭和26年8月6日の7回忌を期して全死没者の名簿を作成し、これを合祀する。

調査の時期

昭和26年5月中

調査の対象者

広島原子爆弾により直接に、または原爆の影響を直接の原因として死没された方全部を含む。

- 例 1. 原爆時に即死された方、行方不明となられた方、火災重傷等で死没された方。
 2. 原爆時に負傷し、その後それが原因で死没された方。
 3. 原爆時には傷もなく元気であつたが、その後原爆の影響で死没された方（さく裂時に広島市外にいた者も含む）等何れも該当者とする。

調査の項目

1. 死没者の氏名 2. 性別 3. 死没時の年令 4. 死没者の当時の住所 5. 死没者の当時の職業（勤務先） 6. 死没年月日 7. 直接の死因（例 爆死、圧死、焼死、重傷の結果、原爆症、行方不明等） 8. 死没の場所 9. 被爆時にいた場所

以上の9項目を設けることにより、同姓同名の死没者等も明確に区分される。

調査の結果

昭和26年8月6日の慰霊祭前日までに受理した調査票の内、審査整理済の氏名等は、死没者名簿（いろは別）正副各一冊に謹記し、名簿は慰霊祭当日合祀した。なお、その後続々と提出されている調査票は、目下審査整理中であるが、昭和27年8月6日の慰霊祭までには、夫々名簿に追記過去帳を謹製して奉納する。

調査の継続

この調査は、調査範囲が全国にわたっている関係上、未だ申告もれが相当数あるものと思わ

れるので、親せき、知人、近隣者等で死没者を御存知の方は、是非申告していただきたい。用紙は各市区町村役場にあると思いますが、不足の場合は本市あて連絡して下さい。

昭和26年市政日誌

1月 1日	新年祝賀式 中華民国貨物船台北丸入港 市政広報第11号発行（毎月1回）	(200戸) 入戸
4日	事務初式 消防出初式	2日 臨時教育委員会
8日	大橋法務総裁本市視察のため来庁	3日 臨時市議会 G.M. スチブソン氏来庁
9日	米国食糧船チャルス・イ・ダント号入港 公安委員会	5日 民事部ブッシュ博士保健所視察のため来庁
10日	米国ニューヨーク広島建設委員会ノーマン・カズンズ氏来庁	五市総務協議会 市議会全員協議会
13日	田村郵政大臣本市視察のため来庁	9日 ドイツカメラマン、ペルントローゼ氏本市視察のため来庁
15日	国体五市連絡協議会 G.H.Q. ショウト氏一行税務事務視察のため来庁	13日 公安委員会
18~19日	中国各市監査委員協議会	15日 市史編修委員会
20日	定例教育委員会 火災により保健所本館全焼 広島平和記念都市建設専門委員会	20日 定例教育委員会
21日	県知事選挙執行	21日 公安委員会 広島平和記念都市建設専門委員会
23日	広島県自治体公安委員代表者会議	善光寺尼公上人一行来庁
25日	保健所運営協議会 臨時教育委員会	23日 米国食糧船パシフィック・トランスポート号入港
27日	福山市長一行来庁	26日 臨時教育委員会
2月 1日	臨時市議会 昭和25年度建設市営住宅木造	3月1~3日 県下五市償却資産基準評価協議会
		1~7日 春季火災予防運動実施
		1~31日 第2回全日本赤ちやん集団コンクール広島市予選会
		3~5日 昭和26年度市営第1回福山競馬
		7日 自治体警察発足3週年記念式 熊本国税局長一行来庁
		10日 広島平和都市建設事業執行連絡協議会
		関西国有鉄道関西運輸支配人

大槻丈夫氏一行来庁
12日 定例市議会
C.P.新聞記者H.D.クエツグ氏来庁
13~15日 定例市議会
16~18日 予算委員会
16~18日 ハワイ祖国訪問観光団歓迎
18日 国体理事清瀬氏一行来庁
19日 県下五市国体打合会
20日 決算委員会
21日 市議会全員協議会
22~24日 定例市議会
26日 ハワイ観光団椎木班一行来庁
27~28日 定例市議会
29日 東京C.I.E.図書館長一行来庁
3日 浜井市長退任
4月1日~5月3日 昭和26年度第1回乳幼児一斉検診
4月1~30日 種痘定期予防接種
1日 米国ライス統計使節団一行来庁
3日 公安委員会
5日 順宮、清宮両内親王殿下本市視察のため御来庁
7日 韓国貨物船ジョン・デ・ウィデン号入港
14日 ロスアンゼルス南加州日系人会副会長佐々木雅美氏一行来庁
16~22日 春季清掃美化運動
17~18日 公安委員会
20日 参議員近藤事務総長一行来庁
ハワイ祖国訪問観光団歓迎
23日 市議会議員、市長選挙
25日 浜井市長就任
26日 厚生省児童局長本市視察のため来庁

め来庁
27日 ノールウェ貨物船テュードル号入港
30日 県議会議員選挙
5月1日~7月3日 腸パラ定期予防接種
5月1~3日 原爆死没者調査
1日 日赤募金開始
2日 渡辺警部補警察葬執行
3日 広島市保育連盟総会
4日 臨時教育委員会
3日 海外市場調査会岡部邦生氏一行本市視察のため来庁
9日 広島市里親会結成
10日 五市国体事務局長会
11日 専売公社総裁来庁
12日 連合国軍新聞記者シャクニー氏本市視察のため来庁
14日 ハワイ祖国訪問観光団歓迎
17~18日 県下五市収入役会議
17日 鳥取市長一行来庁
19日 ララ物資委員長辻氏来庁
広島地区日雇労務者慰安大会
21~25日 臨時市議会
26日 ハワイ祖国訪問観光団歓迎
28日 臨時市議会
3日 公安委員会
6月1日~7月3日 昭和26年度第1回母親学級開設
6月1日 昭和25年度建設引揚者住宅(40戸)入戸
鉄筋並びにブロック住宅(88戸)入戸
6日 奥田助役退任
8日 市史編修委員会
臨時教育委員会
9日 サンフランシスコ広島県人会片岡氏一行来庁

中国地区各市連合戸籍事務協議会
11~13日、16日 定例市議会
12日 ニューヨーク州在住美術者イサム・野口氏来庁
熾町中学校々舎の一部火災により焼失
13日 高山、坂田両助役就任
臨時教育委員会
16~17日、20日 市民体育大会
20日 定例教育委員会
日本Y.M.C.A.名誉顧問ヘツグ氏来庁
23~29日 職域体育大会
23日 参議員地方行政委員一行本市視察のため来庁
25日 臨時教育委員会
30日 国体オリンピックデー
7月1日 昭和26年度事業所統計調査
3日 広島市寄附財産管理委員会
6日 公安委員会
7日 財界人永野重雄氏一行本市視察のため来庁
10日 ニューヨーク州知事デューイ氏来庁
12日 ハワイ祖国訪問観光団歓迎
17日 公安委員会
20日 公営住宅法中国四国ブロック会議
23日 市議会全員協議会
県下五市監査委員協議会
24日 公安委員会
26日 衆議院運輸委員一行来庁
31日 公安委員会
国体常任委員会
8月1日 東郷線建設促進協議会結成

全日本少年野球広島市予選大会
3~4日 公安委員会
3日 教育委員会協議会
4日 定例市議会
県下五市警察長会議
6日 平和記念祭
原爆犠牲者供養祭
7日、9~10日、12日 定例市議会
7日 宇品中学校々舎新築工事竣工
8日 市議会各常任委員会
江波中学校々舎新築工事竣工
9日 プライアンド女史、アンドリュース牧師(シユーマー住宅)感謝状並びに記念品贈呈式
10日 濠洲外務大臣ケーシー氏夫人来庁
11日 公平委員会設置
13日 米国リッボン大学総長クラーク・キブラー氏来庁
14日 市議会全員協議会
27日 国立図書館長浅野氏来庁
ハワイ・ノンプロ野球団レッドソックス来庁
28日 極東軍々医少将ヒーム氏来庁
29日 カリフォルニア州知事ウォーレン氏来庁
8月31日~9月30日 第1回中国赤ちやんコンクール広島市予選
昭和26年度乳幼児選奨会
9月5日 緊急臨時市議会
6日 ハワイ祖国訪問観光団歓迎
12日 公安委員会
都市衛生協議会
ハワイ祖国訪問観光団歓迎
13日 佐藤参議院議長来庁
15日 としよりの日

	本川小学校々舎第1期新築工事竣工		甚大なる被害をうける似島中学校々舎新築移転工事竣工
17~19日	臨時市議会	16日	市議会全員協議会
17日	沖繩那覇市長本市視察のため来庁	17日	公安委員会
20日	食品衛生優良店舗表彰式	19日	市議会全員協議会
25日	百米道路橋名懸賞募集公安委員会	20日	乳幼児選奨会入選者表彰式
26日	市議会全員協議会 市史編修委員会	21~31日	秋季清掃美化並びに国体美化運動週間
27~28日	ハワイ祖国訪問観光団歓迎	21日	キジャ台風災害者住宅(10戸)入戸
27日	昭和26年度都市清掃協議会秋季理事会	24日	大津市長本市視察のため来庁
28日	広島県自公連総会 国体委員会総会	25日	国泰寺中学校々舎第2期増築工事竣工
30日	本川小学校第2、3期増築工事竣工	26日	秩父宮妃、高松宮、三笠宮各 宮殿下国体視察のため御来庁
10月 1日	市金庫銀行を引続き広島銀行 に指定業務開始 共同募金開始 大阪商工会議所議員一行本市 視察のため来庁 昭和26年商業調査	27~31日	第6回国民体育大会
2日	広島市遺族厚生連合会結成大会 公安委員会	27日	天皇、皇后両陛下第6回国体 へ行幸啓のため御来広
6日	大阪工業会々員一行来庁	11月 1日	カナダ大主教バーフツト主教 一行来広
6、8~9日	定例市議会	2日	市議会全員協議会
9日	国体全国代表者会議	6日	百米道路橋名懸賞募集審査委 員会
10日	中央市場開業2周年祝賀会 東京都副知事本市視察のため 来庁	7日	〃 入選発表
11日	通産省黄田通商監本市視察の ため来庁定例市議会	8日	シャトル市長来庁
12日	市議会全員協議会 市史編修委員会	10日	臨時教育委員会議
15日	ルース台風により市内各所に	12日	ハワイホノルル放送局田坂一 行本市視察のため来庁 公安委員会 臨時教育委員会議
		17日	島田早大総長来庁
		20日	定例教育委員会
		22日	国体記念児童作品表彰式
		23日	新穀感謝祭 勤労者慰安大会
		26日	ワープ博士来庁 ギリシヤ食糧船デモストネス

	入港		18日 山下参議院議員来庁 公安委員会
28日	スエーデン、サッカー選手団 一行来庁	19日	臨時教育委員会
	日瑞サッカー試合	20~22日 24日、26日	定例市議会
12月 1日	靖国神社事務総長来庁	20日	中華民国食糧船チーカン丸入 港
1日	臨時教育委員会	21日	公安委員会
3日	公安委員会	24日	児童福祉施設ヘクリスマスプ レゼント
4日	市史編修委員会	25日	消防本部望楼落成
7日	臨時教育委員会	26日	昭和26年度建設ブロック住宅 (40戸)入戸
8日	未引揚留守家族慰安会	28日	事務納式
10日	市議会全員協議会	31日	昭和26年工業調査
13日	原爆犠牲者援護促進会結成大 会	備考	市議会各委員会は別掲
15日	公安委員会		

附 錄

主なる官公署

名 称	所在地	名 称	所在地
(市庁関係)		中国電波監理局	基 町
広島市役所	国泰寺町	(経済安定本部関係)	
広島市保健所	富士見〃	広島管区経済局	霞町県庁内
東部復興事務所	基 〃	〃 地方経済調査局	基 町
広島市警察局	国泰寺〃	(最高裁判所関係)	
〃 東警察署	比治山〃	広島高等裁判所	基 町
〃 西警察署	大手〃	〃 地方裁判所	〃
〃 宇品警察署	宇品〃	〃 家庭裁判所	〃
〃 消防局	大手〃	〃 簡易裁判所	〃
〃 消防署	〃	(法務府関係)	
〃 中央卸売市場	水主〃	広島法務局	基 町
(県庁関係)		法務府特別審査局中国支局	上流川〃
広島県庁	霞 町	広島高等検察庁	基 〃
広島税務事務所	霞町県庁内	〃 地方検察庁	〃
県立中央児童相談所	基 町	〃 矯正保護管区本部	吉島〃
県立中央児童相談所一時保護所	〃	中国矯正保護研修所	吉島本〃
広島県醸造試験場	霞町県庁内	広島成人保護観察所	基 〃
〃 林業研究指導所	〃	〃 少年保護鑑別所	宇品〃
広島労政事務所	基 町	〃 少年観護所	〃
広島県陸運事務所	霞町県庁内	〃 少年鑑別所	〃
広島港事務所	宇品町	〃 刑務所	吉島〃
広島公共職業安定所	基 〃	〃 拘置所	基 〃
〃 公共職業補導所	宇品〃	(厚生省関係)	
〃 〃	霞 町	中国地区駐在防疫官事務所	霞町県庁内
〃 公共洋裁補導所	国泰寺〃	厚生省広島検疫所	似島町
〃 土木出張所	基 〃	引揚援護庁中部復興連絡局	仁保〃
広島県広島復興事務所	〃	広島支 部	
〃 衛生研究所	富士見〃	(農林省関係)	
広島耕地出張所	尾長〃	農林省広島食糧事務所	南蟹屋町
太田川農業水利調査事務所	〃	〃 広島統計調査事務所	宇品〃
国家地方警察広島警察管区本部	霞町県庁内	広島営林署	基 〃
〃 広島県本部	〃	(労務省関係)	
(総理府関係)		広島労務基準局	霞町県庁内
人事院広島地方事務所	基 町		

労務省婦人少年局広島職員室	霞町県庁内	広島鉄道教習所	仁保町向洋
広島労務基準監督局	大手町	日本鉄道公社	松原町
(建設省関係)	農協ビル内	山陽地方営業事務所	仁保町向洋
中国四国地方建設局	霞 町	中国地方自動車事務所	大須賀町
広島工事々務所	基 町	広島地方資材事務所	〃
(文部省関係)		〃 経理事務所	
文部省教育施設広島工事々務所	千田町	(郵政省関係)	
(通商産業省関係)		広島郵政監察局	基 町
広島通商産業局	基 町	広島郵政局	〃
〃 欽山保安監督部	上流川〃	郵政職員訓練所広島研修所	宇品〃
通商産業省工業技術庁電気試験所広島支所	三篠本〃	広島地方貯金局	千田〃
公益事業委員会事務局広島支局	基 〃	広島郵便局	基 〃
(大蔵省関係)		〃 鉄道郵便局	松原〃
中国財務局	霞 町	〃 駅前郵便局	〃
広島国税局	〃	宇品郵便局	宇品〃
税務講習所広島支所	〃	(電気通信省関係)	
広島東税務署	大手〃	中国電気通信局	基 町
〃 西税務署	水主〃	広島電気通信部	東白島〃
〃 税関支署	宇品〃	中国電気通信資材部	基 〃
日本専売公社広島地方局	皆実〃	広島搬送管理所	比治山本〃
(運輸省関係)		〃 無線管理所	基 〃
中国海運局	宇品町	〃 電気通信管理所	東白島〃
広島陸運局	二葉の里	〃 電報局	基 〃
海上保安庁		〃 駅前電報局	松原〃
第六管区海上保安本部	宇品町	宇品電報局	宇品〃
広島海上保安部	〃	広島電話局	下中〃
広島地方気象台(大阪管区)	江波〃	〃 西電話局	北榎〃
広島鉄道管理局	二葉の里	電気通信職員訓練所広島学園	宇品〃
		広島中央放送局	上流川〃

人口20万以上の都市（昭和25.10.1国勢調査による）

順位	地名	人口	順位	地名	人口	順位	地名	人口
1	東京	5,385,071	9	川崎	319,226	17	静岡	238,629
2	大阪	1,956,136	10	札幌	313,850	18	鹿児島	229,462
3	京都	1,101,854	11	広島	285,712	19	函館	228,994
4	名古屋	1,030,635	12	尼崎	279,264	20	新潟	220,901
5	横浜	951,189	13	熊本	267,506	21	堺	213,688
6	神戸	765,435	14	金沢	252,017	22	姫路	212,100
7	福岡	392,649	15	横須賀	250,533	23	岐阜	211,845
8	仙台	341,685	16	長崎	241,638	24	八幡	210,051

主なる銀行、會社

名	称	所在地	名	称	所在地
(銀行)			広島市農業協同組合		大手町
広島銀行本店		紙屋町	〃 西部農業協同組合		草津
日本銀行 広島支店		袋	住宅金融公庫 広島支所		霞町
大阪銀行	〃	紙屋	国民金融公庫	〃	県庁内
協和銀行	〃	大手	商工組合中央金庫	〃	袋
三和銀行	〃	京橋	農林中央金庫	〃	東魚屋
第一銀行	〃	大手	(保険)		尾道
千代田銀行	〃	革屋	第一生命保険相互会社 広島支店		基町
帝国銀行	〃	〃	朝日生命保険相互会社	〃	〃
東京銀行	〃	胡	明治生命保険相互会社	〃	袋
日本勧業銀行	〃	上流川	千代田生命保険相互会社	〃	大手
日本興業銀行	〃	猿楽	国民生命保険相互会社	〃	紙屋
富士銀行	〃	胡	光生命保険相互会社 広島営業所		革屋
伊予銀行	〃	平田屋	大同生命保険相互会社 広島支店		的場
山口銀行	〃	〃	日新生命保険相互会社	〃	袋
富士信託銀行	〃	紙屋	第百生命保険相互会社	〃	八丁堀
広島相互銀行		八丁堀	中央生命保険相互会社	〃	基町
呉相互銀行 広島支店		紙屋町	大和生命保険相互会社	〃	小
西日本相互銀行	〃	革屋	富国生命相互会社	〃	袋
広島信用金庫		横川	東邦生命保険相互会社	〃	革屋
〃 商工信用組合		堺	協和生命保険株式会社	〃	基

日本生命保険相互会社 広島支店	大手町	野島証券 株式会社	山口町
東京生命保険相互会社	袋	佐藤証券	銀山
太陽生命保険相互会社	八丁堀	一心証券	〃
平和生命保険株式会社	基町	興隆証券	〃
東京海上火災保険株式会社	袋	土井証券	山口
大阪住友海上火災保険株式会社	革屋	内田証券	〃
安田火災海上保険株式会社	研屋	三金証券	銀山
日本火災海上保険株式会社	大手	吉池証券	鉄砲
大正海上火災保険株式会社	八丁堀	八幡証券	銀山
千代田火災海上保険株式会社	大手町	広栄証券	〃
日産火災海上保険株式会社	〃	丸山証券	〃
同和火災海上保険株式会社	基	若葉証券	〃
日動火災海上保険株式会社	国泰寺	芸備証券	山口
富士火災海上保険株式会社	中島本	ウツミヤ証券	銀山
日新火災海上保険株式会社	尾道	春陽証券	〃
興亜海上火災運送保険株式会社	大手	第一呉証券	〃
大東京火災海上保険株式会社	立	日興証券	山口
大成火災保険株式会社 広島営業所	猿楽	山一証券	立
共栄火災海上保険相互会社 中国支社	西引御堂町	野村証券	革屋
(証券)		大和証券	西魚屋
中川証券 株式会社	山口町	日本勧業証券	上流川
広島証券	銀山		
鎌田証券	山口		
長尾証券	〃		

主要生産工業事業所一覽（従業員50名以上）

事業所名	所在地	従業員数	製造(加工)品名
(食料品)			
合名会社楠原政之助商店	上天満町	70人	味噌、醤油、漬物
丸新醤油株式会社	吉島本町	78	醤油
松尾糧食工業株式会社	宇品町14丁目	96	飴菓子
広島糧工株式会社	〃	88	乾パン、乾菓子
三星製菓株式会社	西瀬屋町	92	ビスケット、飴菓子
ワイズ株式会社	三篠本町2丁目	136	飴菓子
佐伯糖化工業株式会社	南観音町	195	飴菓子、乾菓子
鈴木化学工業株式会社	皆実町1丁目	124	アミノ酸、澱粉

事業所名	所在地	従業者数	製造(加工)品名
ビガー本舗広島工場	皆実町官有	115	飴菓子
日本純正食品工業株式会社	宇品町	146	水産缶詰
草津煉製品工業組合	草津南町	58	蔬菜 "
(機械器具)			蒲鉾、生魚類
有限会社石田鉄工所	中広町	100	碎土機
津田式ポンプ製作所	南観音町	122	金属建具
株式会社新興金属工業所	大洲町4丁目	111	手動ポンプ
佐伯工業株式会社	舟入幸町	60	動力ポンプ
中野工業株式会社広島工場	皆実町2丁目	80	動力ポンプ
(ゴム製品)			手動ポンプ
株式会社新興ゴム工業所	舟入川口町	177	ボールト、ナット
大東ゴム工業株式会社	大洲町	117	穀物処理機械器具
長谷川ゴム株式会社	舟入川口町	141	総ゴム靴、地下足袋
興亜ゴム株式会社	楠木町2丁目	84	総ゴム靴
東亜ゴム工業株式会社	〃 1丁目	59	ゴム製草履
井畑ゴム工業株式会社	東雲町	77	総ゴム靴
野口ゴム工業株式会社	段原日ノ出町	93	ゴム製品
明星ゴム工業株式会社	楠木町4丁目	117	ゴム靴、地下足袋
(紡績製品)			ゴム靴
藤野線業株式会社	東蟹屋町	189	ゴム底布靴
山陽綿業株式会社	尾長町	67	〃
梶川工業株式会社	翠町	74	綿糸
(電気機械器具)			
中国電力大洲製作所	大洲町	317	変圧機、蓄電器
高密興業株式会社	三篠本町3丁目	53	映写機
中国電力出汐製作所	出汐町	226	一般照明
(輸送用機械器具)			電気硝子加工品
広島日産自動車株式会社	三篠本町3丁目	112	三輪車体、トラック
株式会社宇品造船所	元宇品町	134	鋼製タンカー
藏田金物株式会社大洲工場	大洲町	59	内燃機関部分品
川田鉄工所	仁保町堀越	50	普通自動車部分品
西日本重工広島造船所	江波町地先	2,317	オートバイ部分品
〃	観音町	1,795	鋼製貨物船新造
大和重工広島工場	南観音町	145	蒸気タービン
市場製作所	〃	50	紡績機械
			木炭銑
			機械用鼠銑鑄物
			機械用鼠銑鑄物

(その他の製品)			
日本ミシン針製作所	楠木町4丁目	135	ミシン針
万国製針株式会社	〃 2丁目	175	縫針
広島製針株式会社	横川町官有	100	〃
三宅製針株式会社	上天満町	280	〃
住野工業株式会社	打越町	130	甲 馳
田村播七製針所	楠木町4丁目	83	縫針
吉村製針商会	横川町2丁目	75	縫針、ミシン針
(紙及び類似品)			
三友製紙株式会社	楠木町4丁目	133	塵紙、仙華紙
瀬川工業株式会社	堺町4丁目	77	セメント袋
〃	南観音町	63	石灰袋
(印刷出版及び類似品)			
株式会社中本本店	西白島町	56	雑 誌
文化印刷株式会社	舟入仲町	52	事務用印刷物
山陽鋳力印刷株式会社	舟入川口町	65	金属印刷物
広島県印刷所	霞町	52	菓子缶
株式会社中国新聞社	上流川町	481	県定期刊行物
広島図書株式会社	南観音町	259	日刊紙
共同印刷図書株式会社	翠町	147	雑誌、書籍
中本印刷株式会社	大洲町/丁目	117	事務用印刷物
(ガラス及び土石)			
広島ガラス工業株式会社	大洲町	177	非日刊紙、ラベル
富士ガラス工業株式会社	皆実町2丁目	51	ガラス容器
(皮革及び皮革製品)			
大橋工業株式会社	三篠本町3丁目	117	紳士靴、婦人靴
(木材及び木製品)			
株式会社桐原容器工業所	舟入川口町	103	洋樽、和樽
(家具及び建具)			
株式会社熊平製作所	宇品町	133	金属事務所用家具
(金属製品)			
熊野製缶株式会社	江波町	75	石油罐
巢守金属工業株式会社	水主町	54	鑑 札
(化学薬品及び製品)			
中国塗料株式会社	吉島本町	87	船底塗料
日本理化学工業株式会社広島工場	舟入川口町	62	油性 〃
			圧縮酸素
計	64	10,982	

主要事業所一覧 (従業員50名以上)

事業所名	所在地	従業員数	事業所名	所在地	従業員数
(漁業及び水産養殖業)			広島在官瓦施伺工業協同組合	西天満町	51
西日本水産興業株式会社	宇品町	100	株式会社左官工業藤原組	鶴見町	138
(建設業)			中国電気工事株式会社	立町	89
株式会社武田組広島営業所	横川町2丁目	65	〃 広島営業所	研屋町	149
有限会社榎木組	楠木町2丁目	59	中国電力株式会社広島支店	南竹屋町	265
日本ブロック建設株式会社	東白島町	81	〃 広島東営業所	〃	164
西日本興業株式会社	鉄砲町	85	日本電設工業株式会社広島支店	上大須賀町	114
大之木建設株式会社広島出張所	空鞆町	54	若山工業株式会社	織町	80
株式会社共立組	皆実町/丁目	61	合資会社吉本協運広島出張所	江波町埋立地	77
株式会社大林組広島支店	国泰寺町	101	株式会社柴田惣兵衛商店	研屋町	62
神垣工業株式会社	西魚屋町	80	田中組	江波町埋立地	63
宮川建設株式会社	雑魚場町	84	(製造業)		
株式会社湯川組	千田町3丁目	88	棉原礦産詰工業株式会社	上天満町	55
松本建設株式会社広島営業所	舟入幸町	170	日本詰工業株式会社	鷹匠町	65
〃	稲荷町	63	社団法人江波製菓授産場	江波町	65
鉄道建設工業株式会社広島営業所	上大須賀町	56	上仙栄養化学株式会社	南蟹屋町	55
大成建設株式会社広島支店	大手町/丁目	110	日産製菓株式会社	三篠本町3丁目	66
広島工業株式会社	八丁堀	232	株式会社セビロヤ洋服店	打越町	56
株式会社竹中工務店広島支店	下柳町	322	広島県被服工業協同組合	己斐町	60
株式会社藤田組広島支店	千田町3丁目	559	西本木材株式会社	西天満町	50
広島鉄道工業株式会社	松原町	376	鉄用品工業株式会社	平野町	55
〃 広島支店	〃	222	有限会社週間広島新聞社	己斐町	60
清水建設株式会社広島支店	八丁堀	622	株式会社増田兄弟活版所	空鞆町	52
株式会社戸田組広島支店	河原町	689	広鉄印刷株式会社	大須賀町	52
西日本復興建設株式会社	上大須賀町	89	広島軽金属工業株式会社	大洲町/丁目	70
株式会社大方工業所	宇品町	50	社団法人江波鉄工授産所	江波町埋立地	56
広島農林建設株式会社	皆実町/丁目	173	明電工業株式会社	仁保町青崎	50
株式会社仲間組広島営業所	大手町8丁目	311	三興鋼針株式会社広島支店	中広町	57
広島中央官工企業組合	織町	52	田坂製針株式会社	西観音町2丁目	72

合名会社青木滝次郎商店	吉島本町	60	広島山佐運輸株式会社	三川町	52
(卸・小売業)			日通己斐支店	己斐町	142
広島トヨタ自動車株式会社	広瀬北町	82	〃 広島支店	西蟹屋町	261
ふじ家庭薬品株式会社	宝町	54	〃 宇品支店	宇品町	156
広島県繊維製品商業協同組合	西魚屋町	96	〃 広島支店	西蟹屋町	477
株式会社小田政商店	研屋町	96	〃 広島自動車所	大洲町	325
十和株式会社	稲荷町	73	日本郵便通送株式会社広島支店	宇品町	58
小川工業株式会社	出汐町	50	株式会社松谷組	江波町	53
森製菓株式会社	南千田町	56	瀬戸内海汽船株式会社	宇品町埋立地	51
株式会社ヒロスイ	草津南町	50	〃 宇品支店	〃	74
広島県豊産農業協同組合連合会	大手町8丁目	153	内国商船株式会社	荒神町	55
中国電気実業株式会社	鉄砲町	54	広島港運株式会社	宇品町	112
旭産業株式会社	南観音町	111	芸備倉庫株式会社	西蟹屋町	57
橋本鋼材株式会社	〃	63	山九産業運輸株式会社広島支店	宇品町	81
山尾石炭株式会社	宇品町	51	広島中央放送局	上流川町	210
山陽木材防蟻株式会社	舟入川口町	68	中国電力株式会社	小町	838
広島県販売農業協同組合連合会	大手町	188	〃 広島西営業所	〃	144
株式会社福屋	八丁堀	271	広島ガス株式会社	基町	494
広島県弁当株式会社	松原町	58	〃 広島工場	皆実町/丁目	67
日本食堂株式会社広島営業所	〃	74	吉田組	江波町埋立地	65
広島いすゞ自動車株式会社	西蟹屋町	59	(サービス業)		
有限会社東西堂新聞舗	横町	68	株式会社みづま工務	八丁堀	65
(運輸通信及びその他の公益事業)			合名会社北野商会	宇品町	78
広島電鉄株式会社	千田町3丁目	1,771	広島商工会議所	基町	83
〃 郊外自動車課	基町	241	丹那漁業協同組合	仁保町	167
株式会社広島タクシー	下柳町	212	広島県同船援護会	宇品町	127
広島バス株式会社	大洲町	204	復興建設技術協会中国支部	霞町	85
合同自動車株式会社	西蟹屋町	63			
山九産業運輸株式会社広島支店現場事務所	南観音町地先	71			

広島名産

縫針 ミシン針 ゴム製品 かん詰 除虫菊製品 製綿 和かさ 佛壇 木製品 機械

工具

かき羊かん 桜羊かん ゆず羊かん くり羊かん 味付のり のしかき 生かき 広島

菜 かきめし 川魚料理 かき船料理 清酒

昭和27年7月20日 印刷

昭和27年7月31日 発行

編集 広島市総務局調査課

発行所 広島市役所

印刷所 旭印刷株式会社

広島市大手町八丁目

電話西③ / / 76番

【非 賣 品】

